

令和6年度版『しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ』 年間指導計画・評価の視点表

2023年9月

○本表では、5・6・10・11月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。（「学習月」欄の「■」のところです。）
○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
4月	どうとくで がくしゅうする こと どうとくでは こんな まなびかたを するよ	適時	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることをとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		* 友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 * 友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。	—
4月②	1 がっこう だいすき 「がっこうは たのしいね」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	一緒に生活をするみんなが笑顔で過ごせるようにするために自分ができることを考えることをとおして、学校生活を送るうえで大切なことに気づき、よりよい学校生活や集団生活を送ろうとする心情を育てる。	1. 学校生活について考える。 ○学校でどんなことをしているときが楽しいですか。 2. 『がっこう だいすき』を見て、学校生活で大切にすることは何かを考える。 ○絵の中の子どもたちは、それぞれどんな気持ちで過ごしているでしょうか。 ★みんながにこにこ顔で過ごしているのはどうしてでしょう。 3. 学校生活で大切にすることについて、自分のこととして考える。 ○みんながにこにこ顔で過ごしていくために、大切なことはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを発表しましょう。	【多面的・多角的に考える】 * よりよい学校生活を送ることのよさに気づき、よりよい学校生活や集団生活を送るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 学校生活や友達のよさを理解し、学校や集団生活を送るために必要なことについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活、学級活動
	2 あいさつの ことば 「あいさつを しよう」 【B 礼儀】	1	挨拶をする際、相手にどのような言葉をかけたり、どのような態度で接したりすればよいか考えることをとおして、言い方や態度によって挨拶の伝わり方が違うことに気づき、言った側も言われた側も気持ちのよい挨拶をすすんでしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 挨拶について考える。 ○いつも、どのような挨拶をしていますか。 2. 『あいさつの ことば』を見て、挨拶をする理由について考える。 ○どうして挨拶をするのでしょうか。それぞれの場面で考えてみましょう。 ★どのような言い方や態度で挨拶をすると、自分の気持ちが伝わる挨拶になるでしょうか。 3. 今後の挨拶について、自分のこととして考える。 ○あなたは、これからどんなことを心がけて挨拶をしていきますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを発表しましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 挨拶をすることの大切さに気づき、お互いに気持ちのよい挨拶をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 相手や場面に合わせた挨拶をすることの大切さを理解し、それぞれの場面でのふるまい方について、自分との関わりで考えることができているか。	生活、学級活動、挨拶運動
5月③■	3 きもちの よい せいかつ 「きもちよく くらす」 【A 節度、節制】	1	自分の一日について考えることをとおして、毎日気持ちのよい生活を送るためには、時間を守ったり、身のまわりを整えたりすることが大切であることに気づき、すすんで規則正しい生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の一日の生活について考える。 ○あなたは、教科書の子どもたちのように気持ちのよい生活を送れていますか。自分の一日を振り返ってみましょう。 2. 『きもちの よい せいかつ』を見て、気持ちのよい生活について考える。 ○もし、これらのことをしなかったら、どうなるでしょう。 ★きちんとした生活を送ると、どんないいことがあるでしょうか。 3. 気持ちのよい生活を送ることの大切さについて、自分のこととして考える。 ○気持ちのよい生活を送るために、あなたが気をつけていきたいことは何ですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを発表しましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 時間を守ることや、身のまわりを整理・整頓することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 基本的な生活習慣を身につけることで快適な毎日が過ごせることに気づき、これからの生活について、自分との関わりで考えることができているか。	生活
	4 なかなおり 「ともだちと なかよく」 【B 友情、信頼】	1	友達とのやりとりを体験的に学ぶことをとおして、素直に謝ることの大切さに気づき、友達とよりよい人間関係を築こうとする判断力を育てる。	1. 友達と仲直りするときについて考える。 ○謝るときに大切なことはどんなことでしょうか。 2. 『なかなおり』を読んで、友達と仲直りするためにはどうすればよいかについて考える。 ○「ぼく」になって、謝ってみましょう。 ○「ぼく」になって、もう一度謝ってみましょう。 3. 友達と仲直りすることの大切さについて確かめる。 ★友達と仲よくするためには、どのようなことに気をつけたらいいのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さに気づき、どうしたら友達と仲よくすることができるかについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 相手の立場や状況を踏まえて素直に謝ったり、友達と仲よくしたりすることの大切さを理解し、友達と仲よくすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
6 月 ④ ■	5 これって いいのかな 「きまりを まもる」 【C 規則の尊重】	1	約束やきまりを守ることについて考えることをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、約束やきまりを守って生活していこうとする判断力を育てる。	1. きまりを守ることについて考える。 ○学校や地域には、どんな約束やきまりがありますか。 2. 『これって いいのかな』を見て、約束やきまりについて考える。 【かんがえよう】 ○約束やきまりを守っている人、守っていない人はどこにいますか。それを見て、どう思いますか。 ★約束やきまりは、どうしてあるのでしょうか。 3. 約束やきまりについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたは、約束やきまりを守れていますか。それは、どのような約束やきまりですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○約束やきまりを守ることについてどう思いましたか。	【多面的・多角的に考える】 *約束やきまりを守ることの大切さに気づき、約束やきまりを守り、みんなが使う場所や物を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *約束やきまりを守ることについて考えることをとおして、約束やきまりを守って生活することの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。	生活、学級活動
	6 かぼちゃの つる 「わがママを しなないで」 【A 節度、節制】	1	かぼちゃがしたことについて考えることをとおして、わがママや自分勝手な行動をしないで、よく考え、節度ある生活を送ろうとする判断力を育てる。	1. つるを伸ばしたかぼちゃのことを考える。 ○つるを伸ばしたかぼちゃはどうなっていくのでしょうか。 2. 『かぼちゃの つる』を読んで、わがママや自分勝手な行動をしないことの大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○みんなが言っていることを聞かずに、かぼちゃがつるを伸ばし続けたのは、どうしてでしょう。 ★どうすればよかったか、かぼちゃに教えてあげましょう。 3. わがママや自分勝手な行動をしないことの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○かぼちゃからどのようなことを学びましたか。みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の周囲の人も快適な気持ちにするための行動や考えをもととする気持ちを高め、わがママをしないためにはどのようにすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *わがママや自分勝手な行動をせずに節度ある生活を送ることの大切さを理解し、自分の生活を振り返ったり、見つめたりするなど、自分との関わりで考えることができていますか。	生活
	7 ハッピーチェンジ 「よい ところに きづく」 【A 個性の伸長】	1	友達のよいところについて考えることをとおして、よいところを見つけることの大切さに気づき、すすんで友達のよいところを見つけようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 同じコップを見ても受け取り方が違うことについて考える。 ○コップを見て、気づいたことはありますか。 2. 『ハッピーチェンジ』を読んで、友達のよいところを見つけることの良いことについて考える。 【かんがえよう】 ○三人には、どのようなよいところがありましたか。 ★「ハッピーチェンジ」をすると、どのようなよいことがあるのでしょうか。 3. 「ハッピーチェンジ」を自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○「ハッピーチェンジ」をしてみて、新しく気づけたよいところはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを発表しましょう。	【多面的・多角的に考える】 *友達のよいところを見つけることの良いことに気づき、友達や自分のよいところについて、多面的・多角的に考えることができていますか。〔 【自分のこととして考える】 *友達や自分のよいところを見つけ、それを大切にすることについて、自分との関わりで考えることができていますか。	学級活動
7 月 ②	8 おふるばそうじ 「じぶんで きめた ことを やる」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	お風呂場掃除に対するあきらの姿勢について考えることをとおして、自分のやるべき仕事や勉強などに気づき、それらをすすんで行おうとする判断力を育てる。	1. 自分のやるべき仕事について考える。 ○みなさんは、学校やおうちで、どんな仕事をしていますか。 2. 『おふるばそうじ』を読んで、自分でやるべき仕事をするのよさについて考える。 【かんがえよう】 ○お風呂場掃除を褒められたとき、あきはどのような気持ちだったのでしょうか。 ★どうしてあきは、お風呂場掃除を続けられるのでしょうか。 3. 自分のやるべき仕事をするの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○これから自分の仕事をどのような気持ちでやっていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分のやるべき仕事の大切さに気づき、自分で決めたことをしっかりと行うためにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *自分のやるべき仕事や勉強の大切さを理解し、どうすれば自分で決めたことを行い、続けていけるかについて、自分との関わりで考えることができていますか。	生活、学級活動、当番活動
	9 おじいちゃん だいすき 「だいすきな かぞく」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	まひろとおじいちゃんの心の交流について考えることをとおして、家族の大切さに気づき、家族のためにすすんで役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族について考える。 ○おうちの人は、みんなのためにどんなことをしてくれているでしょう。 2. 『おじいちゃん だいすき』を読んで、家族の大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○まひろは、どのような気持ちで手紙を書いたのでしょうか。 ★おじいちゃんに会えたとき、まひろはどのような気持ちだったのでしょうか。 3. 家族の大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○家族のためにがんばりたいことを考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族とのつながりや家族のよさに気づき、家族を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *家族を大事にするの大切さを理解し、家族のためにすすんで役に立とうとするについて、自分との関わりで考えることができていますか。	国語、生活

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
9月③	ユニット:じょうほうと むきあう					
	10 くまさんの おちゃかい 「すなおな ころで」 【A 正直、誠実】	1	さるさんの行動について考えることをとおして、うそやごまかしをせず、素直に謝ることの大切さに気づき、うそやごまかしのない明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. さるさんの行動について考える。 ○さるさんは、どうするのでしょうか。 2. 『くまさんの おちゃかい』を読んで、ごまかしをせず素直に謝ることの大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○紙いっばいに絵を描いたとき、さるさんはどのような気持ちだったのでしょうか。 ★下を向いたさるさんは、どのようなことを思いましたか。 【やってみよう】 ○くまさん、きつねさん、さるさんの役になって、最後の場面を三人で演じてみましょう。 3. 素直に謝ることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○さるさんに、どのようなことを伝えたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *うそやごまかしをしないことよさに気づき、うそやごまかしをしないためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *うそやごまかしをせず素直に謝ることよさを理解し、うそやごまかしのない明るい生活をしていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。	図画工作、情報モラル教育
	〈コラム〉 よく たしかめてから つたえよう	—	『くまさんの おちゃかい』で学習したことを踏まえて、情報を正しく伝えること大切さについて気づかせる。			
11 にちようびの できごと 「れいぎを たいせつに」 【B 礼儀】	1	友達の行動について考えることをとおして、礼儀正しくすること大切さに気づき、礼儀正しくしようとする判断力を育てる。	1. 礼儀について考える。 ○友達の家へ行ったとき、気をつけていることはありますか。 2. 『にちようびの できごと』を読んで、礼儀正しくすること大切さについて考える。 【むんだいを みつける】 ○友達の行動で、気になったところありますか。 ○気になったのは、どうしてですか。 【かみけつほうほうを かんがえる】 ○友達はどうすればよかったですか。 【はなしあって かんがえる】 ○みんなで話し合って気づいたことはなんですか。 【かんがえた ことを いかす】 ○あなたは友達の家へ行ったとき、どのようなことを大切にしたいですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *礼儀正しくすること大切さに気づき、礼儀正しくするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *気持ちのよい挨拶、言葉づかい、動作によってお互いが気持ちよく生活できることに気づき、礼儀を大切に生活する心かけることよさについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活	
12 すてきな きょうしつ 「みんなと たのしく」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	楽しい学校生活について考えることをとおして、友達のよさに気づき、みんなとともに楽しい学校生活を送っていかうとする心情を育てる。	1. 楽しい学校生活について考える。 ○楽しい学校生活にするために、何ができるでしょうか。 2. 『すてきな きょうしつ』を読んで、楽しい学校生活を送ることよさについて考える。 【かんがえよう】 ○「すてきな きょうしつ」とは、どのような教室でしょうか。 ★みんなが喜んでくれたとき、「わたし」はどのようなことを考えたのでしょうか。 3. 楽しい学校生活を送ることよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○学校で楽しく過ごすために、どのようなことができるでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *楽しい学校生活を送ることよさに気づき、楽しい学校生活を送るためにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *友達とともに楽しい学校生活を送ること大切さを理解し、みんなと楽しくすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動	
10月④	13 二わの ことり 「ともだちの ために」 【B 友情、信頼】	1	友達について考えることをとおして、友達を思うこと大切さに気づき、友達を大切にしようとする心情を育てる。	1. 友達について考える。 ○友達といて楽しかったのは、どんなことでしょうか。 2. 『二わの ことり』を読んで、友達大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○みそさざいは、どうしてうぐいすのうちから抜け出して、やまがらのうちへ向かったのでしょうか。 ★喜ぶやまがらを見て、みそさざいはどのような気持ちになったのでしょうか。 3. 友達を大切にすることについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○友達がいてよかったなと思ったり、うれしいなと思ったりしたことはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○これから、友達とどのように生活していきたいですか。	【多面的・多角的に考える】 *友達のことを思うこと大切さに気づき、友達のためにできることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *友達のことを思って行動すること大切さを理解し、友達を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	14 なんて いったのかな？ 「よいと おもう ことを すすんで」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	いろいろな場面における言動を考えたり、やってみたりと、体験的に学ぶことをとおして、どのような行動をすべきか考え、よいと思うことをすすんで行い、友達に対してもはたらきかけようとする判断力を育てる。	1. 『なんて いったのかな？』を読んで、よいと思う行動について考える。 ○なんて言ったのでしょうか。想像してみましょう。 2. よいと思う行動をすることの大切さについて考える。 ○まゆさんと女の子になって、言ってみましょう。 ○さとるさんとかずゆきさんになって、言ってみましょう。 3. よいと思う行動をすることの大切さについて確かめる。 ★よいこととよくないことをきちんと区別するためには、何が大切なのでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *よいと思うことを行うことの大切さに気づき、よいと思うことをすすんで行うためにはどうすればよいかについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを行うことの大切さを理解し、よいと思うことをすすんで行い、友達に対してもはたらきかけていこうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	安全教育
ユニット:いじめをなくす						
	15 いっしょに あそぼう 「だれとでも なかよく」 【C 公正、公平、社会正義】	1	仲間はずれについて考えることをとおして、誰とでも仲よくすることの大切さに気づき、みんなと仲よくしていこうとする心情を育てる。	1. 仲間はずれについて考える。 ○「仲間はずれ」とはどんなことでしょうか。 2. 『いっしょに あそぼう』を読んで、誰とでも仲よくすることの大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○どうして、「わたし」はびっくりしたのでしょうか。 ★「わたし」は、どうすればいいと思いますか。 3. 誰とでも仲よくすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○「仲間はずれ」をしないために、大切なことはどんなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *仲間はずれをしないことの大切さに気づき、誰とでも仲よくするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *仲間はずれをしないでみんなと仲よくすることの大切さを理解し、誰とでも仲よくすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動、法教育
11月④■	16 ダメ！ 「ゆうきを だして」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	りすくんの気持ちや行動について考えることをとおして、よいと思うことは勇気をもって行うことの大切さに気づき、よいことと悪いことを区別して、すすんでよいと思うことを行おうとする実践意欲と態度を育てる。	1. よいと思う行動をすることについて考える。 ○嫌だな、やめてほしいなと思ったことはあるでしょうか。 2. 『ダメ！』を読んで、よいと思う行動をすることの大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○りすくんは、どうしてまくんに「ダメ！」と言えなかったのでしょうか。 ★りすくんが「ダメ！」とはっきり言えるようになったのは、どうしてでしょうか。 3. よいと思う行動をすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○今まで、勇気を出してきちんと言えたことはありますか。そのとき、どのような気持ちになりましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *よいと思うことを行おうとすることの大切さに気づき、よいと思う行動をするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *よいことと悪いことの区別をして、よいと思う行動をすることの大切さを理解し、勇気を出してよいと思う行動をすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語
	〈コラム〉 いじめる いじめられる	—	『いっしょに あそぼう』や『ダメ！』で学習したことを踏まえて、知らず知らずのうちにいじめにつながる行為をしてしまうこともあることに気づいたり、嫌だと思うことについては気持ちを表したりすることの大切さに気づかせる。			—
	17 たのしかった ハイキング 「しぜんの なかで」 【D 自然愛護】	1	身近な自然について考えることをとおして、自然のよさや不思議さに対する理解を深め、自然に親しみ、動植物を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 身のまわりの自然について考える。 ○自然の中で遊んだことはありますか。 2. 『たのしかった ハイキング』を読んで、自然のよさについて考える。 【かんがえよう】 ○木の幹に耳を当てたり、落ち葉の布団に入ったりしたとき、「ぼく」は、どのような気持ちだったでしょうか。 ★山や川、野原など、自然のどのようなところがよいか話し合ひましょう。 3. 自然のよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○自然の中でどのような遊びをしたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○身のまわりにある自然の中で、自分が好きなものを友達と伝え合ひてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自然のもつ不思議さや生命力などに気づき、自然に親しみ、動植物を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自然のもつ不思議さや、自然とともに生きていることなどを理解し、自然を大切にしようとするについて、自分との関わりで考えることができているか。	生活

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	18 きいろい ベンチ 「きまりを まもって」 【C 規則の尊重】	1	たかしさんとてつおさんの行動について考えることをとおして、約束やきまりを守ることの大切さに気づき、みんなが使う物を大切にしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. いろいろな約束やきまりについて考える。 ○約束やきまりはどうしてあるのでしょうか。 2. 『きいろい ベンチ』を読んで、きまりを守ることの大切さについて考える。 【 <u>もんだいを みつける</u> 】 ○お話の中で、よくないなと思ったことはありますか。 ○どうして、そのようなことをしたのでしょうか。 【 <u>かいけつほうほうを かんがえる①</u> 】 ○二人はどうすればよかったのでしょうか。 【 <u>かいけつほうほうを かんがえる②</u> 】 ○ベンチの上に上がろうとしている二人に、どのように声をかけますか。 【 <u>かんがえた ことを いかす</u> 】 ○みんなが気持ちよく過ごすために、大切なことはなんでしょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【 多面的・多角的に考える 】 * 約束やきまりを守ることの大切さに気づき、約束やきまりを守るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【 自分のこととして考える 】 * 約束やきまりを守って生活することの大切さを理解し、みんなが使う物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活、法教育
12月③	19 けしごむくん 「ものを たいせつに」 【A 節度、節制】	1	けしごむの使い方を考えることをとおして、身のまわりの物を大切にすることのよさに気づき、常に大切にしていこうとする心情を育てる。	1. 自分が持っている消しごむについて考える。 ○みんなは、どんな消しごむを持っているでしょう。 2. 『けしごむくん』を読んで、物を大切にすることについて考える。 【 <u>かんがえよう</u> 】 ○うさぎのけしごむや白いけしごむの作文を聞いて、どのように思いましたか。 ★どうして、白いけしごむは、おじいちゃんのけしごむになって幸せだったのでしょうか。 3. 自分の使っている物を大切にすることについて、自分のこととして考える。 【 <u>ふかめよう</u> 】 ○みなさんの持っている物が、幸せな気持ちで卒業できるようにするために、どのようなことができるでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【 多面的・多角的に考える 】 * 物を大切にすることのよさに気づき、物を大切に使うとはどのように使うのかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【 自分のこととして考える 】 * 身のまわりの物を大切にすることのよさを理解し、物を大切にするためにはどうしたらよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語
	20 くりのみ 「あいてを おもいやって」 【B 親切、思いやり】	1	きつねとうさぎの行動について考えることをとおして、自分だけでなく相手の立場にも気づき、思いやりをもって親切にしようとする心情を育てる。	1. 相手を思いやることについて考える。 ○他の人のことを考えて、何かをしたことはありますか。 2. 『くりのみ』を読んで、相手を思いやることの大切さについて考える。 【 <u>かんがえよう</u> 】 ○きつねは涙を落としながら、どのようなことを考えていたのでしょうか。 ★このあと、きつねはどうしたらいいでしょう。 3. 相手を思いやることの大切さについて、自分のこととして考える。 【 <u>ふかめよう</u> 】 ○うさぎのように、困っている人のことを考えることができますか。どのようなことができるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【 多面的・多角的に考える 】 * 相手を思いやることの大切さに気づき、思いやりのある行動を取るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【 自分のこととして考える 】 * 相手を思いやって行動することの大切さを理解し、相手のことを考えて親切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語
	21 にっぽんの ぎょうじ 「でんとうや ぶんかに したしむ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	昔から伝わるいろいろな行事について考えることをとおして、日本には季節ごとにさまざまな行事があることを知り、親しみをもつとともに、わが国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。	1. 昔から伝わるいろいろな行事について考える。 ○行事には、どんなイメージがありますか。 2. 『にっぽんの ぎょうじ』を読んで、昔から伝わる行事の大切さについて考える。 【 <u>かんがえよう</u> 】 ○昔から伝わる行事には、どのようなものがあるでしょう。 ★みなさんが大切にしていきたい日本や地域の行事はなんですか。それはどうしてですか。 3. 昔から伝わる行事の大切さについて、自分のこととして考える。 【 <u>ふかめよう</u> 】 ○今まで、どのような気持ちで行事に参加してきましたか。また、これからどうしていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【 多面的・多角的に考える 】 * 昔から伝わる行事のよさに気づき、さまざまな行事に対して親しみをもつとともに、日本や地域の伝統的な行事を大切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【 自分のこととして考える 】 * 国や地域に伝わる行事のよさを理解し、季節ごとのさまざまな行事を守り、親しみをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。	音楽、伝統文化教育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
1月 ③	ユニット:いのちを たいせつに する					
	22 ハムスターの あかちゃん 「いのちが もつ ちから」 【D 生命の尊さ】	1	ハムスターの赤ちゃんの成長する様子について考えることをとおして、生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえない生命を大切にしようとする心情を育てる。	1. 身のまわりにいる動物について考える。 ○みなさんの身近に、どんな動物がいるでしょう。 2. 『ハムスターの あかちゃん』を読んで、命の大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○生まれたばかりのハムスターの赤ちゃんをどう思いますか。 ★赤ちゃんには、どのような力がつまっているのでしょうか。 3. 命の大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたなら、ハムスターの赤ちゃんに、どんな言葉をかけてあげたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○これから生き物とどのように関わっていきたいですか。	【多面的・多角的に考える】 *生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、生命を大切にするにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *生命のたくましさやすばらしさを理解し、かけがえない生命を大切にするということについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活
	23 ひとつぼし 「よい ところに きづく」 【A 個性の伸長】	1	友達や自分のよいところについて考えることをとおして、友達や自分に対する理解を深め、自分のよさを実感し、自分の長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。	1. 「ひとつぼし」とは何かについて考える。 ○「ひとつぼし」とは、なんのことでしょう。 2. 『ひとつぼし』を読んで、一人一人のよいところを見つける大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○ソラくんの「ひとつぼし」は、なんだったでしょう。 ★ソラくんの「ひとつぼし」の素敵なところは、どこですか。 3. 一人一人のよいところについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○みなさんの「ひとつぼし」はなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *友達や自分のよいところに気づき、自分のよいところを伸ばしていくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *友達や自分のよいところを理解し、自分のよさを伸ばしていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語、学級活動
	〈コラム〉 ひとりに ひとつの いのち	—	『ハムスターの あかちゃん』や『ひとつぼし』で学習したことを踏まえて、一人一人の命に気づき、それぞれの命を輝かせていくことの大切さに気づかせる。			
2月 ④	24 せかいの しぐさ 「せかいに めを むけて」 【C 国際理解、国際親善】	1	世界のいろいろなしぐさについて考えることをとおして、国やしぐさの違いを知ることに大切さに気づき、すすんで世界の国々を理解しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 世界の仕草について考える。 ○なんのしぐさをしているのでしょうか。 2. 『せかいの しぐさ』を読んで、世界のいろいろなことを知るよさについて考える。 【かんがえよう】 ○日本のしぐさと似ているところ、違うところはどこですか。 ★ほかの国のしぐさを知ると、どんなよいことがありそうですか。 3. 世界のいろいろなことを知るよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○他には、どんなしぐさを覚えてみたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *世界の国々を理解することの大切さに気づき、すすんで世界の国々を知るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *世界のいろいろな国を知ることに大切さを理解し、すすんで世界のことを知ろうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動、国際理解教育
	25 あのね 「うそや ごまかしを しない」 【A 正直、誠実】	1	チッチの行動について考えることをとおして、うそやごまかしをせず、正直でいることの大切さに気づき、うそやごまかしのない明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. うそをついたり、ごまかしたりしないことについて考える。 ○もし、おもちゃが落ちていたら、あなたならどうしますか。 2. 『あのね』を読んで、うそをついたり、ごまかしたりしないことの大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○チッチは赤い車を知っているのに、どうして「知らない！」と言ってしまったのでしょうか。 ★どうしてチッチの胸は、ちくちく痛くなったのでしょうか。 3. うそをついたり、ごまかしたりしないことの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたは、ごまかしたり、うそをついたりすることはありませんか。どうしたら、いつも素直な自分でいられるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *うそやごまかしをしないことの大切さに気づき、うそやごまかしをせず正直でいるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *うそやごまかしをしないで正直でいることの大切さを理解し、うそやごまかしのない明るい心で生活することについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語、法教育
〈コラム〉 ◆しょうじきな ころ	『あのね』で学習したことを踏まえて、正直でいることの大切さについて理解させる。				—	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	26 はしの うえの おおかみ 「あたたかい ところで」 【B 親切、思いやり】	1	おおかみの行動について考えることをとおして、優しい気持ちをもって、すすんで親切な行動をしようとする心情を育てる。	1. 親切にしたり、されたりした経験を想起する。 ○親切にしたり、親切にされたりすると、どんな気持ちになるでしょう。 2. 『はしの うえの おおかみ』を読んで、親切な行動をすることの大切さについて考える。 【 <u>もんだいを みつける</u> 】 ○お話を読んで、いいな、よくないなと思ったのはどのようなことですか。 ○いいなと思ったのはどうしてですか。また、よくないなと思ったのはどうしてですか。 【 <u>かみけつぼうぼうを かんがえる</u> 】 ○よくないなと思ったことについて、あなたがおおかみだったらどうしますか。 【 <u>はなしあつて かんがえる</u> 】 ○おおかみが、くまと同じことをしたのはどうしてでしょう。 【 <u>かんがえた ことを いかす</u> 】 ○周りの人と生活するとき、大切なことはなんでしょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 温かい心で相手に接することのよさに気づき、親切にするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 優しい気持ちで相手に接することのよさを理解し、思いやりの心を持ち、親切に行動することについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語
	27 おとうさん ありがとう 「ありがとうの きもち」 【B 感謝】	1	仕事が忙しい中でも「わたし」の世話をしてくれるお父さんに対する気持ちを考えることをとおして、日頃お世話になっている人々を尊敬し、感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 感謝する気持ちについて考える。 ○いつもどんな人にお世話になっていますか。 2. 『おとうさん ありがとう』を読んで、感謝の気持ちをもつことの大切さについて考える。 【 <u>かんがえよう</u> 】 ○お父さんが手を握ってしてくれた間、「わたし」はどのような気持ちだったでしょう。 ★(おとうさん、ありがとう。)と心の中でつぶやいたとき、「わたし」はどのようなことを考えていたのでしょうか。 3. 感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分のこととして考える。 【 <u>ふかめよう</u> 】 ○あなたは家族に「ありがとう」と思ったことはありますか。それは、どのようなときですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【 <u>つなげよう</u> 】 ○身のまわりにある「ありがとう」を見つけて、みんなで発表してみよう。	【多面的・多角的に考える】 * 感謝をする気持ちをもつことの大切さに気づき、日頃お世話になっている人々に対して感謝の気持ちを表すためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 日頃お世話になっている人々に感謝をする気持ちをもつことの大切さを理解し、感謝の気持ちをもつことについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活、社会参画教育
	28 こくばんとうばん 「みんなの やくに たつ」 【C 勤労、公共の精神】	1	「わたし」の迷う気持ちや行動について考えることをとおして、人の役に立つ仕事をするのが自分の喜びにつながることに気づき、自分もすすんで働くこととする実践意欲と態度を育てる。	1. みんなの役に立つことのよさについて考える。 ○あなたはどんなことを考えて、当番をしているでしょう。 2. 『こくばんとうばん』を読んで、みんなの役に立つことのよさについて考える。 【 <u>かんがえよう</u> 】 ○しんさんの誘いに迷っていた「わたし」が、断ったのはどうしてでしょう。 ★(さいしよは、あまり こくばんとうばんが すきでは なかったけれど……。)の続きの言葉を考えよう。 【 <u>やってみよう</u> 】 ○顔を見合わせてにっこりと笑ったあと、「わたし」とあおいさんはどのようなことを話すのでしょうか。「わたし」とあおいさんの役になって、やってみよう。 3. みんなの役に立つことのよさについて、自分のこととして考える。 【 <u>ふかめよう</u> 】 ○あなたは、どのようなときに、仕事に取り組んでよかったと思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * みんなのために働くことのよさに気づき、みんなのためにすすんで働くこととするためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 責任をもってみんなのために働くことのよさを理解し、責任をもってすすんで働くことについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動、当番活動、キャリア教育
	＜コラム＞ ◆しごとを して みて			『こくばんとうばん』で学習したことを踏まえて、当番や係の仕事をするための大切さについて理解させる。		—
3月②	29 七つの ほし 「うつくしい ところ」 【D 感動、畏敬の念】	1	自分よりも相手のことを思いやる女の子の行動などについて考えることをとおして、美しいものや清らかなもののよさに気づき、すがすがしい心をもととする心情を育てる。	1. 周りのことを考えて行動することについて考える。 ○自分が困っているときに、周りのことも考えられるでしょう。 2. 『七つの ほし』を読んで、美しい心のよさについて考える。 【 <u>かんがえよう</u> 】 ○女の子は、自分もつらいのに、なぜ水を飲むのを我慢したり、犬に水を飲ませたりしたのでしょうか。 ★お話の中で、美しいと感じたところはどこですか。それは、どうしてですか。 3. 美しい心のよさについて、自分のこととして考える。 【 <u>ふかめよう</u> 】 ○みなさんの生活の中で、美しいと感じる行動には、どのようなものがありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 美しいものや清らかなもののよさに気づき、美しい心をもつためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 身のまわりの美しいものや清らかなものからそのよさを理解し、心の美しさについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	30 もりの ゆうびんやさん 「はたらく よろこび」 【C 勤労、公共の精神】	1	働くくまさんの姿について考えることをとおして、心をこめた仕事が相手の喜びにつながり、相手から喜ばれたり感謝されたりすることが働く喜びにつながることに気づき、すすんでみんなの役に立とうとする心情を育てる。	1. 当番や係の仕事をするときの気持ちについて考える。 ○当番や係の仕事をするとき、どんな気持ちで取り組んでいますか。 2. 『もりの ゆうびんやさん』を読んで、働くことのよさについて考える。 【かんがえよう】 ○くまさんの仕事の仕方、素敵だと思えるところを見つけましょう。 ★手紙を読んだとき、くまさんはどんなことを考えたのでしょうか。 3. 働くことのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○働くことのよさはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *働くことのよさに気づき、すすんでみんなの役に立つにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *働くことやみんなの役に立つことのよさを理解し、みんなのためにできることについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語、キャリア教育
適時	31 いのちのはじまり 「いのちを たいせつに」 【D 生命の尊さ】	1	おへその役割について考えることをとおして、生命の尊さや生きていることのすばらしさに気づき、受け継がれた生命を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 命について考える。 ○命は、いつから始まっているのでしょうか。 2. 『いのちのはじまり』を読んで、命の大切さについて考える。 【かんがえよう】 ○お母さんは、私たちがおなかにいるとき、どのようなことを考えながら過ごしていたのでしょうか。 ★生まれる前からお母さんのおなかの中で命が始まっていたことを知って、どのようなことを考えましたか。 3. 命の大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○生まれる前から始まっている命を、これからも大切にしていけるために、できることはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *生命の大切さに気づき、生命を大切にしていけるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *命のつながりや生命の大切さを理解し、生命の大切さやすばらしさについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活
適時	32 「ありがとう」のくすり 「ありがとうの きもち」 【B 感謝】	1	かとうさんの思いや、「ぼく」の心情や行動について考えることをとおして、日頃お世話になっている人の存在や、その人々が自分に寄せてくれている善意に気づき、感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	1. お世話になっている人について考える。 ○いつもお世話になっている人はいるでしょうか。 2. 『「ありがとう」のくすり』を読んで、感謝をすることのよさについて考える。 【かんがえよう】 ○かとうさんは、毎朝どんな思いで見守りをしているのでしょうか。 ★「ぼく」の手紙には、どんな思いがこめられているのでしょうか。 3. 感謝をすることのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○身のまわりに、かとうさんのような人はいますか。その人にどんな言葉をかけたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *感謝の気持ちを伝えることの大切さについて、日頃から世話をしてくれている人たちの気持ちを想像しながら、感謝の気持ちを表すにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *感謝の気持ちを伝えることが相手にうれしい気持ちにさせることを理解し、自分のこれからの振る舞いや生き方について、自分との関わりで考えることができるか。	生活、社会参画教育
適時	33 るすばん 「かぞくの ために」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	留守番をする「ぼく」の気持ちを考えることをとおして、家族の大切さに気づき、家族を大切に、家族のためにすすんで役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族について考える。 ○家族からしてもらってうれしかったことは、どんなことですか。 2. 『るすばん』を読んで、家族のためになにかをすることについて考える。 【かんがえよう】 ○留守番を引き受けたとき、「ぼく」はどのような気持ちだったでしょう。 ★帰ってきたお父さんに褒められた「ぼく」は、どのようなことを考えていたでしょう。 3. 家族のためにできることをしていくことについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○家族のために、あなたはどのようなことができますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族の大切さに気づき、家族のためにすすんで役に立つにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *家族とのつながりや家族の大切さを理解し、家族のためにできることについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活
適時	34 ねんがじょう 「むかしから つたわる ふんか」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	年賀状について考えることをとおして、昔から伝わる風習や文化のよさに気づき、これからも大切にしていこうとする心情を育てる。	1. 年賀状をやりとりした経験について考える。 ○年賀状を書いたり、もらったりしたことはありますか。 2. 『ねんがじょう』を読んで、昔から伝わる風習や文化のよさについて考える。 【かんがえよう】 ○年賀状をもらうとうれしいのは、どうしてでしょう。 ★「ぼく」が、年賀状を書きたくなかったのはどうしてでしょう。 3. 昔から伝わる風習や文化について確かめ、そのよさについて自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたが年賀状を書くとしたら、誰に、どのような気持ちをこめて書きますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *昔から伝わる年賀状の歴史を知り、日本や地域の伝統や文化、風習のよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *年賀状のよさを理解し、自分だったら誰にどんな気持ちをこめて書くかを考えるなどして、伝統や文化を大切にしていけることについて、自分との関わりで考えることができるか。	生活、伝統文化教育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	[しりょう] みに つけよう れいぎ・マナー	適時	礼儀正しいお辞儀の仕方やよい姿勢を知るとともに、なぜ礼儀正しくすることやよい姿勢で学習に臨むことが大切なのかについて考えることをとおして、日常生活のさまざまな場面で礼儀正しくふるまおうとしたり、姿勢を正して生活しようとしたりする実践意欲と態度を育てる。		【多面的・多角的に考える】 *お辞儀をする意義やお辞儀で伝わるものについて理解し、礼儀やマナーを守る大切さについて考え、礼儀やマナーを守って生活していくことについて多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *正しいお辞儀の仕方を身につけ、場面や相手に応じて実践してみたいという気持ちを高めながら、礼儀やマナーを守って生活していこうとすることについて自分との関わりで考えることができているか。	—
適時	がくしゅうを ふりかえろう	適時	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。		*心に残った話(教材)とそれを選んだ理由について、友達と互いの考えを交流し、自分の学びを振り返ることができているか。 *一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて友達と意見を交流することで、一年間の学びの自己評価ができているか。	—

令和6年度版『小学どくとく2 はばたこう明日へ』 年間指導計画・評価の視点表

○本表では、5・6・10・11・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。（「学習月」欄の「■」のところです。）
○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
4月	どとくとくで 学しゆうする こと どとくとくでは こんな 学び方を するよ	適時	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		*友達との対話をとおして自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 *友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。
4月 ③	1 春が いっぱい 「しぜんを かんじる」 【D 自然愛護】	1	身のまわりの春について考えることをとおして、自然のすばらしさや動植物との接し方に気づき、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	1. これまで春について感じたことを想起する。 ○春になると、どうして心がわくわくするのでしょうか。 2. 『春が いっぱい』を読んで、身のまわりにある春のよさについて考える。 【考えよう】 ○みなさんのまわりにある春をたくさん見つけて、発表しましょう。 ★見つけた春の中で、いちばん好きな春を理由と一緒に紹介しましょう。 3. 自然のよさについて確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○他の季節の素敵などころもみんなで見つけて、発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自然のすばらしさに気づき、身近な動植物や光や風などの自然について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *優しく、温かい心で身近な動植物に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
	2 知らない 人にも 「気もちの よい あいさつ」 【B 礼儀】	1	知らない人(来訪者)にも挨拶をしたほうがよいのかというこおtについて考えることをとおして、挨拶が相手に与える影響や挨拶がもっている力に気づき、相手をさわやかな気持ちにさせる挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 挨拶をする場面を想起し、相手について考える。 ○みんなは普段、誰に挨拶をしていますか。 2. 『知らない 人にも』を読んで、相手をさわやかな気持ちにさせる挨拶のよさについて考える。 【考えよう】 ○知らない人にも挨拶をしたほうがよいのでしょうか。 ★相手をさわやかな気持ちにさせる挨拶とは、どんな挨拶でしょう。 3. 挨拶の大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたは、どのようなことを大切に、挨拶をしていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *挨拶がもっている力に気づき、知らない人(来訪者)にも挨拶をすることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *知らない人(来訪者)にも挨拶をすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
	3 「つよいこころ」 「強い 心とは」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	勇気を出して行うことについて考えることをとおして、物事のよいことと悪いことを区別し、よいと思うことを行う「勇気」を出すために必要なことに気づき、強い心をもってすすんでよいと思うことをしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 勇気を出して行動した経験について考える。 ○みんなは、勇気を出して何かをやり遂げたことがありますか。 2. 『「つよいこころ」』を読んで、勇気を出して正しいと思うことを行うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○それぞれの勇気をどう思いますか。 ★勇気を出すためには、何が必要なのでしょうか。 3. 勇気を出して行うために大切なことについて確かめ、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○みなさんにとって、高めたい「つよいこころ」は、どのような心ですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *勇気にはさまざまな種類があり、自分が正しいと信じているところにしてがって行動することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *よいことと悪いことを区別し、よいと思うことをすすんで行うことの大切さを理解し、勇気を出して正しいことを行うことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
5月 ③ ■	4 あいさつの しかた 「いろいろな あいさつ」 【B 礼儀】	1	友達や先生、お客さんとのやりとりを体験的に学ぶこととおして、時と場面に応じた挨拶の仕方を理解し、時と場面や相手に応じた挨拶ができるようにする判断力を育てる。	1. 今までにしてきた挨拶の仕方について考える。 ○みんなはどのような挨拶の仕方をしていますか。 2. 『あいさつの しかた』を読んで、人や場面に合わせた挨拶の大切さについて考える。 ○「ぼく」、みなとくん、ひろきくんになって、挨拶の場面をやってみましょう。 ○「ぼく」、吉田先生、お客さんになって、挨拶の場面をやってみましょう。 3. 人や場面に合わせた挨拶の大切さについて確かめる。 ★どのような場面で、どのような挨拶の仕方があるか、考えてみましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *時と場面に応じた挨拶をすることの大切さについて理解を深め、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *礼儀正しい挨拶の仕方を理解し、時と場面に応じて実践しようとするについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
6月④	5 お月さまと コロ 「すなおな 心で」 【A 正直、誠実】	1	謝りたいのになかなか謝れなかったコロが、謝ろうと決めるまでの心情を考えると、素直な気持ちでいることの大切さに気づき、素直で明るい気持ちを大切にしていこうとする心情を育てる。	1. 素直になれなかった経験について考える。 ○謝りたいのに、謝れなかったことはありますか。 2. 『お月さまと コロ』を読んで、素直な心でいることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○(あやまらなくちゃ。)と思ったのに、なかなか言えなかったコロは、どんなことを考えていたのでしょうか。 ★コロが謝ろうと決めたのは、どのような気持ちからでしょう。 3. 素直な心でいることのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたが今までに素直になってよかったなと思ったことを、コロに話してみよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *素直で明るい気持ちでいることの大切さに気づき、素直で明るい気持ちでいることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *素直で明るい気持ちで生活することのよさを理解し、素直になるとよいことがあるということについて、自分との関わりで考えることができているか。
	6 あと 少し 「ねばり強く やりぬく」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	二重跳びができるようになりたいと努力を続けた「ぼく」の気持ちや行動について考えることをとおして、くじけずに努力を続けることの大切さに気づき、自分の目標をもち、どんなにつらくとも諦めないで自分で立てた目標を達成しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 努力を続けている経験について考える。 ○できるようにになりたいことや、難しいけれどがんばっていることは、ありますか。 2. 『あと 少し』を読んで、くじけずに努力を続け、やり遂げることのよさについて考える。 【考えよう】 ○練習を続けても、うまくできなかったとき、「ぼく」はどのような気持ちだったでしょう。 ★「あと 少し。あと 少し。」とがんばって「できた」とき、「ぼく」はどのようなことを考えていたのでしょうか。 3. 努力を続けることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたががんばり続けていることはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *苦しいことに対しても諦めずに努力を続けることの大切さに気づき、くじけずに努力することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *目標に向かって努力することの大切さを理解し、も諦めないで目標を達成しようとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。
	＜コラム＞ ◆がんばりつづける カ		『あと 少し』で学習したことを踏まえて、これまでの生活でがんばり続けていることを思い起こし、自分にはがんばり続ける力があることに気づかせる。		
	7 もう やらない！ 「みんなと 楽しく 生活する」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	自分の思いどおりにいかなかったときのかずとくんの言動について考えることをとおして、周りにいる人々と楽しく学校生活をおくるために大切なことに気づき、みんなと楽しく遊ぶためにはどうしたらいいかを考え、実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 楽しい学校生活について考える。 ○かずとくんは、どうして走って行ってしまったのでしょうか。 2. 『もう やらない！』を読んで、学校のみんなと楽しく生活することの大切さについて考える。 【もんだいを見つける】 ○このお話で、問題だと思ったことはなんですか。 ○どうして、そのような問題が起きたのでしょうか。 【かいけつほうほうを 考える①】 ○どうしていれば、問題が起きずにすんだのでしょうか。 【かいけつほうほうを 考える②】 ○みんなのところへ駆け出したかずとくんは、なんと言えばよいのでしょうか。また、みんなはかずとくんになんと言えればよいのでしょうか。 【考えた ことを 生かす】 ○みんなと遊ぶとき、大切にしたいことはなんですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *先生や友達とともに、楽しい学校生活をおくるために大切なことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *先生や友達など、周りの人とよい関係を築き、よりよい学校生活をおくるために大切にしたいことについて、自分との関わりで考えることができているか。
8 金のおの 「いつも 正直に」 【A 正直、誠実】	1	きこりと、その仲間のもう一人のきこりの行動について考えることをとおして、正直に生きることの大切さに気づき、うそをついたり、ごまかしたりせず正直に生活していこうとする判断力を育てる。	1. うそをついた経験や、どうしてうそをついてしまうのかについて考える。 ○みんなは、うそをついたことがありますか。どうしてうそをついてしまうのでしょうか。 2. 『金のおの』を読んで、うそをつかず、正直に生きることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○どのような気持ちから、きこりは金と銀のおのではなく、自分のおのを選んだのでしょうか。 ★仲間のきこりは、女神様が二度と現れなかったとき、どのようなことを考えたのでしょうか。 【やってみよう】 ○女神様の役になって、二人のきこりに言う言葉を考えて、演じてみましょう。 3. 正直に生きることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○うそやごまかしをせずに、生活することのよさはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *うそをつかず、正直に生きることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *うそをついたり、ごまかしたりせずに、正直に生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
7月②	ユニット:いじめをなくす 9 みほちゃんと、となりのせきのますだくん 「友だちの気持ちになって」 【B 友情、信頼】	1	みほちゃんとますだ君のそれぞれの気持ちや行動について考えることをとおして、自分の思いだけでなく友達の気持ちも考えて行動することの大切さに気づき、互いの気持ちを理解しながら接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 友達と仲よくすることについて考える。 ○みんなは、友達と仲よくしていますか。 2. 『みほちゃんと、となりのせきのますだくん』を読んで、二人の立場と気持ちを考え、お互いを理解しようとする大切さについて考える。 【もんだいを 見つける】 ○ますだ君がしていることで、問題なのはどのようなことでしょうか。みほちゃんが行っていることで、問題なのはどのようなことでしょうか。 ○ますだ君もみほちゃんも、どうしてそのようなことをしたのでしょうか。 【かいけつほうほうを 考える①】 ○自分がますだ君の立場だったら、このあとどうしますか。 【かいけつほうほうを 考える②】 ○二人が仲よくなるためには、どうしたらよいのでしょうか。 【考えたことを 生かす】 ○友達と仲よくするために、大切なことはなんですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *話し合いをとおして、友達の気持ちを考えることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分の思いだけでなく、友達の気持ちを考えることも大切にし、互いの気持ちを理解しながら接することについて、自分との関わりで考えることができているか。
	10 ごみすて 「公正・こうへいな たいどで」 【C 公正、公平、社会正義】	1	一人になったかすみは、ごみ捨てに行く二人の後ろ姿を見ながらどんなことを考えたのかについて話し合うことをとおして、人によって態度を変えないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 困っている人も立ちへの対応について考える。 ○困っている友達がいるとき、あなたはどのようにしますか。 2. 『ごみすて』を読んで、自分の勝手で人への対応を変えず、誰に対しても公正・公平に接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○ゆかちゃんは、どのような気持ちで、さつきちゃんを手伝ったのでしょうか。 ★一人になったかすみは、ごみ捨てに行く二人の後ろ姿を見ながら、どのようなことを考えたのでしょうか。 3. 自分の好き嫌いとらわれずに接することのよさについて確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○人と関わるときに大切なのは、どのようなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の好き嫌いとらわれずに接することのよさに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *人によって態度を変えないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で関わろうとするよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
	〈コラム〉 知らないうちにだれかをきずつけているかも……	—	『みほちゃんと、となりのせきのますだくん』、『ごみすて』で学習したことを踏まえて、知らないうちに友達を傷つけているかもしれないということに気づかせ、これからの生活でいじめにつながる言動に気をつけ、お互いを理解し、思いやることの大切さに気づかせる。		
9月③	11 すてきな二年生 「きそく正しく、気持ちよく」 【A 節度、節制】	1	「すてきな二年生」になるために行動する登場人物のよいところについて考えることをとおして、規則正しく、気持ちのよい、節度ある生活をする大切さに気づき、規則正しい生活をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分のこれまでの生活について考える。 ○学校や家での生活を思い出してみよう。規則正しい生活ができていますか。 2. 『すてきな二年生』を読んで、規則正しく、気持ちよく、節度ある生活をするよさについて考える。 【考えよう】 ○お話を読んで、みんなのどのようなところが素敵だと思いましたか。 ★素敵な2年生とは、どのような2年生のことなのでしょう。 3. 規則正しく、気持ちよく、節度ある生活をする大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○素敵な2年生になるために、どのようなことを心がけたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *健康に気をつけ、身のまわりを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *規則正しく、気持ちのよい、節度ある生活をする大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
10月 ④ ■	12 電車の中で 「あたたかい心で」 【B 親切、思いやり】	1	電車の中の男の人の行動について考えることをとおして、他者に対して思いやり行動をとることのすばらしさに気づき、温かい心ですすんで他者に親切にしていこうとする心情を育てる。	1. これまで他者に対して行った親切について考える。 ○困っている人に優しくすることができていますか。 2. 『電車の中で』を読んで、他者に対して思いやり、行動することのよさについて考える。 【考えよう】 ○どうして、たかしさんは(少しつめてくれればいいのに。)と思ったのでしょうか。 ★(そうだったのか……。)と、訳がわかったとき、たかしさんは、男の人のことをどのように思ったのでしょうか。 3. 他者に対して思いやり、行動することの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○困っている人に優しくすることが大切なのは、どうしてでしょう。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○今日の学習で考えたことは、どのようなときに生かしていけるのでしょうか。	【多面的・多角的に考える】 * 親切にすることや相手を思いやることのすばらしさに気づき、困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切に接することについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 * 困っている相手のことを思いやり、温かい心で親切に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。
	13 もったいない 「みのまわりにあるものを大切に」 【A 節度、節制】	1	「もったいない」と言うおばあさんの行動について話し合うことをとおして、物は限りある資源と人の努力によって作られていることに気づき、身のまわりにある物を大切に生活していこうとする道徳的心情を育てる。	1. 物を大切にすることについて考える。 ○「もったいない」という言葉を聞いたことはありますか。 2. 『もったいない』を読んで、身のまわりにある物を大切にすることのよさについて考える。 【考えよう】 ○おばあさんに「もったいない」と言われた「ぼく」は、どんなことを思ったのでしょうか。 ★おばあさんがこんなにも「もったいない」と言うのはどうしてでしょう。 3. 身のまわりにある物を大切にすることについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○身のまわりで、物やお金が「もったいない」と思ったことはありますか。それはどんなときでしたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 物を大切に扱うことのよさに気づき、身のまわりにある物を大切に生活することについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 * 物は限りある資源と人の努力によって作られていることに気づき、身のまわりにある物を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができていますか。
	14 みんなのものって？ 「みんなのものを大切に」 【C 規則の尊重】	1	「ぼく」の行動をもとに約束やきまりについて体験的に学ぶことをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、みんなが使うものやみんなのものを大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. みんなのものを大切にすることについて考える。 ○みんなのものを大切にすることって、どういうことでしょう。 2. 『みんなのものって？』を読んで、体験的に学ぶことをとおして、「みんなのものを大切にすることの意味とよさについて考える。 ○「ぼく」になって、先生に言われた場面をやってみましょう。 ○「ぼく」になって、おじさんに言われた場面をやってみましょう。 3. 「みんなのものを大切にすることの大切さについて確かめる。 ★他にもみんなのものにはどのようなものがありますか。それは、どうすることで大切にしていけるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 約束やきまりを守ることを理解し、みんなが使うものやみんなのものを大切に、約束やきまりを守ることについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 * 約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にすることについて、自分との関わりで考えることができていますか。
ユニット:じょうほうとむき合う					
	15 しんじていいのかな 「みのあんぜんをまもる」 【A 節度、節制】	1	「わたし」の行動について考えることをとおして、情報の扱い方について考え、個人情報流出などの危険を防ぎ、安全に生活することの大切さを理解して、安心・安全な生活をしていこうとする判断力を育てる。	1. 安全について考える。 ○みんなは、安全に気をつけて毎日の生活を送っていますか。 2. 『しんじていいのかな』を読んで、身の安全を守り、情報を慎重に扱うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が、(きつと、だいじょうぶ。)だと思ったのはどうしてでしょう。 ★あなたなら、インターホンに出ようか迷っている「わたし」へ、どのようなアドバイスをしますか。 3. 身の安全を守ることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○安全に生活するためには、どのようなことに気をつけなければならないのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達の考えにふれ、安全に生活することの大切さに気づき、危険を避けて安全に生活するためには、どのようにすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 * 危険を避けて安全な生活を送るために必要なことに気づき、今後どのようにすればよいかについて、自分との関わりで考えることができていますか。
	〈コラム〉 自分や友だちのじょうほう、どうあつかう？	—		『しんじていいのかな』で学習したことを踏まえて、情報の大切さに気づかせ、他者に簡単に個人情報を渡してはいけないということを理解させる。	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	16 ぼんたとかんた 「よいと思うことをすすんで」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	ぼんたとかんたの行動について考えることをとおして、物事のよいことと悪いことに対する考えを深め、よいと思うことをすすんで行おうとする判断力を育てる。	1. よいと思う行動をすることについて考える。 ○よいと思ったことを伝えたり、行ったりできていますか。 2. 『ぼんたとかんた』を読んで、よいと思う行動をすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼくは行かない。」ともう一度、はっきりと言ったとき、ぼんたはどのような気持ちだったでしょう。 ★ぼんたは、どのような気持ちから、にっこり笑ってうなずいたのでしょうか。 3. よいと思う行動をすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○よいことをすすんで行うには、どのようなことを心がければよいのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *よいと思う行動をすることの大切さに気づき、よいことと悪いことを正しく判断するにはどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *善悪を判断することの大切さを理解し、正しいことを自らすすんでしようとするということについて、自分との関わりで考えることができていますか。
11月④	17 いいのかな 「きまりをまもって」 【C 規則の尊重】	1	たつやさんの行動について考えることをとおして、約束やきまりの大切さに気づき、きまりを守って生活しようとする判断力を育てる。	1. 約束やきまりについて考える。 ○約束やきまりは、どうしてあるのでしょうか。みんなで考えてみましょう。 2. 『いいのかな』を読んで、約束やきまりを守ることの大切さについて考える。 【もんだいを見つける】 ○たつやさんがしたこと困ったところはどこでしょう。 ○たつやさんは、どうしてそんなことをしたのでしょうか。 【かいけつほうほうを考える①】 ○たつやさんは、どうすればよかったのでしょうか。 【かいけつほうほうを考える②】 ○（いいのかな。）と悩んでいる二人に、どのようなことを伝えますか。 【考えたことを生かす】 ○みんなのものを使うときに、大切なことはなんなのでしょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自己中心的な発想の問題点に気づくとともに、約束や決まりの大切さについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *楽しく遊ぶためにも約束やきまりが必要であることに気づき、約束やきまりを守って生活することについて、自分との関わりで考えることができていますか。
	18 はりきりパンダとだらだらパンダ 「まけない心を」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	やる気が起こらず、やるべきことに取り組めずに困っているあやちゃんの気持ちや行動について考えることをとおして、怠けたいという気持ちに負けずに、自分のやるべきことを行う大切さに気づき、強い意志をもって行おうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分がやるべきことについて考える。 ○自分がやるべきことには、どのようなことがあるのでしょうか。 2. 『はりきりパンダとだらだらパンダ』を読んで、弱い心に負けずに、自分のやるべきことを行う大切さについて考える。 【考えよう】 ○だらだらパンダに誘われて、自分がやらなければならないことをやらずにいると、どうなるのでしょうか。 ★どうしたら、だらだらパンダをはりきりパンダに変えられるのでしょうか。 【やってみよう】 ○あやちゃんの役になって、だらだらパンダに言う言葉を考えて、伝えてみましょう。 3. 自分のやるべきことを行う大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○みなさんは、自分がやるべきことをしっかりやれていますか。自分がやるべきことをしっかりやるために、大切なことはなんなのでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分のやるべきことをしっかりと行うこと大切さを理解し、怠け心に打ち勝つ方法について、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *怠けたいという気持ちに負けないで、強い意志をもって自分のやるべきことを行うこと大切さや難しさについて、自分との関わりで考えることができていますか。
	＜コラム＞ ◆自分のやるべきこと	『はりきりパンダとだらだらパンダ』で学習したことを踏まえて、自分がやるべきことをしっかりやること大切さに気づかせる。			
19 ありがとうはだれが言う？ 「まわりの人にありがとう」 【B 感謝】	1	お客さんも店員さんにお世話になっていることに気づいた「ぼく」の心情の変化について考えることをとおして、日頃からお世話になっている全ての人に感謝の気持ちをもつことの大切さに気づき、日常生活のさまざまな場面で感謝の気持ちを表そうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 周りの人に感謝をすることについて考える。 ○あなたは、誰に対して「ありがとう」と言っていますか。 2. 『ありがとうはだれが言う？』を読んで、周りの人に感謝をすることについて考える。 【考えよう】 ○スーパーマーケットからの帰り道におばあちゃんの話聞いて、「ぼく」は、どのように思ったでしょう。 ★バスを降りたあと、「ぼく」がちょっぴりさわやかな気持ちになったのはどうしてでしょう。 3. 感謝をすること、感謝をされることについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○「ありがとう」と言われたことはありますか。そのとき、どんな気持ちでしたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○あなたは、生活の中で、どのようなときに「ありがとう」と言いますか。	【多面的・多角的に考える】 *お世話になっている身近な人々に対して感謝の気持ちを伝えること意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *日頃からお世話になっている身近な人々に対してどのような態度で接したり、どのような言葉かけをしたらよいかについて、自分との関わりで考えることができていますか。	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
12月③	20 ゆかみがき 「はたらくことのよさ」 【C 勤労、公共の精神】	1	床磨きをする二人の気持ちや行動について考えることをとおして、自ら働くことの楽しさやよさに気づき、すすんでみんなのために働くこととする実践意欲と態度を育てる。	1. 登場人物の行動を予想し、働くことについて考える。 ○友達は、先に遊びに行ってしまったようです。なおやさんは、どうするのでしょうか。 2. 『ゆかみがき』を読んで、働くことのよさについて考える。 【考えよう】 ○あやかさんとなおやさんのすごいところはどこでしょう。 ★先生やみんなを見て、二人がますます笑顔になったのは、どうしてでしょう。 3. 働くことのことのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○働くこと、どうしてよい気持ちになるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○二人のような人が、みなさんのクラスにもいるのでしょうか。みんなで話し合ってみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *働くことのよさに気づき、みんなのために働くことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *みんなのために働くことのよさを理解し、すすんで仕事をしようとするについて、自分との関わりで考えることができているか。
	21 わたしの町のあんこ屋さん 「国やちいきのよさに気づく」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	日本の伝統的な食べ物のあんこを作る地域のお店について考えることをとおして、自分たちが住む国や町のよさに気づき、国や郷土に愛着をもって親しもうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の町のよさについて考える。 ○自分の町の素敵なお店は、どんなところでしょうか。 2. 『わたしの町のあんこ屋さん』を読んで、国や地域に昔から伝わる伝統的なものやお店について考える。 【考えよう】 ○おいしいあんこを作るためにがんばるお店の人の話を聞いて、「わたし」はどのように思ったのでしょうか。 ★あんこを食べたとき、どうしていつもよりもおいしく感じたのでしょうか。 3. 自分の国や地域に昔から伝わるものやお店について、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○昔からある日本の食べ物で、好きな物はありますか。また、あなたの住んでいる町に、ずっと続いているお店や、これからも続いてほしいお店はありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *国や郷土のよさに気づき、国や郷土の文化や生活について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *国や郷土の文化や生活のよさを理解し、愛着をもって親しむことについて、自分との関わりで考えることができているか。
	22 くらべてみよう 日本とせかい 「日本とせかいのちがいを知る」 【C 国際理解、国際親善】	1	日本と世界の違いにふれ、その違いを知るよさについて考えることをとおして、他国に対する理解や親しみをもつことのよさに気づき、ほかにも日本と世界ではどんな違いがあるのか調べてみようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 世界の国々について考える。 ○みんなが知っている国の名前はなんですか。 2. 『くらべてみよう 日本とせかい』を読んで、日本と他の国との違いについて考える。 【考えよう】 ○比べてみて、気づいたことや不思議に思ったことはありますか。 ★日本と他の国との違いを知ると、どのようなよいことがありますか。 3. 日本と世界の違いについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○ほかにも、日本と世界で比べてみたいものはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *世界の国々を理解することの大切さに気づき、すすんで世界の国々を知るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *世界のいろいろな国を知ることを大切さを理解し、すすんで世界の国々のことを知ろうとするについて、自分との関わりで考えることができているか。
1月③	23 きつねとぶどう 「ありがとうの気持ち」 【B 感謝】	1	子ぎつねを守った親ぎつねの愛情について考えることをとおして、家族などの日頃お世話になっている人々に、感謝の気持ちを伝えることの大切さに気づき、感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	1. 物語の内容を予想して、考える。 ○きつねの親子がいます。どんなお話なのでしょう。 2. 『きつねとぶどう』を読んで、お世話になっている人々へ感謝の気持ちを伝えることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○このお話を聞いて、感じたことや考えたことは、どのようなことですか。 ★子ぎつねは、どうして「お母さん、ありがとう。」と言ったのでしょうか。 3. お世話になっている人々へ感謝の気持ちを伝えることについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○みなさんは、どのようなときに「ありがとう」と伝えたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *親子のきつねの思いや行動をとおして、家族などの周囲の人々に感謝の気持ちを伝えることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *家族などの身近な人々に感謝の気持ちを伝えることについて、自分との関わりで考えることができているか。
	＜コラム＞ ◆ありがとうのつたえ方		『きつねとぶどう』で学習したことを踏まえて、自分を助けてくれたり、守ってくれたりする人の存在に気づかせ、その人たちへの感謝の気持ちの伝え方について考えさせる。		

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	24 ぼくも手つだうよ 「かぞくとしてできることを」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	あつし兄ちゃんに「たよになるね。」と言われたときのまさるの気持ちについて話し合うことをとおして、自分にできることをすすんで行うことで家族の役に立てることに気づき、家族の一員としてできることをしようとする実践意欲と態度を育てる。	<p>1. 家族と生活するときに大切なことについて考える。 ○家族と生活する中で、大切なことはなんでしょう。</p> <p>2. 『ぼくも手つだうよ』を読んで、家族の役に立つために、自分ができることをすすんで行うことのよさについて考える。 [考えよう] ○まさるが「ぼくも手つだうよ。」と言ったのは、どうしてでしょう。 ★あつし兄ちゃんに「たよになるね。」と言われたまさるは、どのような気持ちだったでしょう。</p> <p>3. 家族の役に立つために、自分にできることをすすんで行うことの大切さについて、自分のこととして考える。 [ふかめよう] ○家族の一人として、あなたができることにはどのようなことがあるでしょう。</p> <p>4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。</p>	<p>【多面的・多角的に考える】 *自分ができることを行うよさに気づき、自分にできることをすすんで行うことについて、多面的・多角的に考えることができているか。</p> <p>【自分のこととして考える】 *自分にできることをすすんで行うことで家族の役に立てることに気づき、家族の一員としてできることをしようとすることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。</p>

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
ユニット:いのちを大切に作る					
	25 やっと会えたね 「はじめまして 小さいのち」 【D 生命の尊さ】	1	「わたし」(みさき)の心の動きを考えると、生命が誕生することのすばらしさに気づき、生命を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 命の誕生について考える。 ○命が生まれてくるとき、周りの人はどう思っていたのでしょうか。 2. 『やっと会えたね』を読んで、命の大切さについて考える。 【考えよう】 ○まゆ叔母さんのお腹を触ったとき、みさきはどんなことを考えていたのでしょうか。 ★「やっと会えたね。」と言ったとき、みさきはどんなことを考えていたのでしょうか。 3. 命の大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたはこのお話を読んで、命についてどんなことを考えましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 生命が誕生することの素晴らしさに気づき、生命の大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 生命のすばらしさ、生命の大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
2月④	26 おむかえ 「かぞくとして」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	お姉ちゃんや「わたし」の気持ちや行動について考えることとおして、家族の愛情に気づき、家族に対する愛情をいっそう深めようとする心情を育てる。	1. 家族について考える。 ○家族とはどのようなものなのでしょうか。みんなで考えてみましょう。 2. 『おむかえ』を読んで、家族の大切さについて考える。 【考えよう】 ○「おせいよ。」と言われたお姉ちゃんは、どのようなことを考えていたのでしょうか。 ★お姉ちゃんがお迎えに来てくれるまでのことや、お兄ちゃんが探してくれたことを知った「わたし」は、どのようなことを考えていたのでしょうか。 3. 家族の大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○このお話のように、家族に大切にされていると感じたことはありますか。また、家族に何かしてあげたいことはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 家族の愛情に気づき、家族が愛情をもって接してくれていることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 家族の愛情を受け止め、家族のためにできることをすすんで行おうとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。
	〈コラム〉 生まれていのちは	—		『やっと会えたね』や『おむかえ』で学習したことを踏まえて、命がさまざまな人に愛され、守られ、支えられていることに気づかせる。	
	27 とおるさんのゆめ 「よいところをのばす」 【A 個性の伸長】	1	友達のよいところについて考えることとおして、自分のよいところに気づき、そうしたよいところを伸ばそうとする心情を育てる。	1. 友達のよいところについて考える。 ○友達のよいところはどこでしょうか。 2. 『とおるさんのゆめ』を読んで、友達のよいところを見つけるよさについて考える。 【考えよう】 ○みんなが話したとおるさんのよいところを聞いて、「ぼく」が驚いていたのはどうしてでしょうか。 ★みんなはどのような気持ちで、とおるさんの話に拍手をしたのでしょうか。 3. 自分や友達のよいところを見つけることのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○友達のよいところを見つけて、お互いのよいところを伝え合いましょ。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自分や友達のよいところを見つけることのよさに気づき、自分や友達のよいところについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 自分のよさについて考える活動とおして、自分のよいところにさまざまな視点から気づき、どのようによいところを伸ばすかについて、自分との関わりで考えることができているか。
	28 つな引き大会 「楽しい学校生活のために」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	「ぼく」が6年生のようなリーダーになりたいと思ったのはどうしてなのかについて考えることとおして、学校のみんなとの関わりを深めることで学校生活を楽しくしていけることに気づき、学校生活を自分たちで楽しくしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 学校生活の中の楽しいことについて考える。 ○学校生活で楽しいのは、どんなことですか。 2. 『つな引き大会』を読んで、学校の人々に親しみ、学校生活を楽しくすることのよさについて考える。 【考えよう】 ○どうして、赤組は負けたのに、「ぼく」は気持ちよかったのでしょうか。 ★「ぼく」が6年生のようなリーダーになりたいと思ったのは、どうしてでしょうか。 3. 学校生活を楽しくすることのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○みんなで楽しい学校生活をつくるために、大切なことはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 学校生活を楽しくすることのよさに気づき、学校生活を楽しくしていくために大切なことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 学校のみんなとの関わりを深めることで学校生活を楽しくしていけることに気づき、学校生活を自分たちで楽しくしていくことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
3月 ②	29 ぐみの木と小鳥 「あいてのことを思って」 【B 親切、思いやり】	1	小鳥やぐみの木が、相手のことを思いやる気持ちについて考えることをとおして、相手のことを考え、親切に、温かい心で接することのよさに気づき、すすんで親切をしようとする心情を育てる。	1. 困っている人への親切について考える。 ○困っている人がいたら、あなたならどうしますか。 2. 『ぐみの木と小鳥』を読んで、相手のことを考え、親切に接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○嵐がやまない中、小鳥はじっと、どのようなことを考えていたのでしょうか。 ★小鳥の優しさ、ぐみの木の優しさは、どのようなものでしたか。 3. 相手のことを考え、温かい心で接することのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○今まで親切にしたり、されたりしたことにはどのようなことがありますか。そのとき、どのようなことを思いましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 親切にすることのよさに気づき、相手を思いやる小鳥やぐみの木の気持ちや、親切な行動をすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 相手のことを思いやり、温かい気持ちで親切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
	30 しあわせの王子 「心のうつくしさ」 【D 感動、畏敬の念】	1	王子とつばめの気持ちや行動について考えることをとおして、美しいものや美しい心についての理解を深め、美しいものや気高いものに感動しようとする心情を育てる。	1. 「しあわせの王子」について予想し、「しあわせ」について考える。 ○「しあわせの王子」とは、どんな王子様なのでしょう。 2. 『しあわせの王子』を読んで、美しい心のよさについて考える。 【考えよう】 ○つばめは、南の国に飛び立とうとしていたのに、なぜ王子のそばで暮らしたのでしょうか。 ★飾りがあったときの王子となくなったときの王子では、美しいのはどちらでしょう。 3. 美しい心のよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○「しあわせの王子」とは、どのような王子でしたか。そう思ったわけも言いましょ。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 美しいものや美しい心についての理解を深め、王子やつばめの心の美しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 美しい心や、美しい心から生まれる行動のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	31 ゆっきとやっち 「友だちとたすけ合う」 【B 友情、信頼】	1	ゆっきとやっちの気持ちや行動について考えることをとおして、友達がいることのよさに気づき、友達と仲よく、助け合おうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 競争をするときの気持ちについて考える。 ○かけっこや競争をするとき、どんな気持ちになりますか。 2. 『ゆっきとやっち』を読んで、友達と助け合うことのよさについて考える。 【考えよう】 ○やっちの苦しそうな顔を見たゆっきは、何を迷っていたのでしょうか。 ★二人はどのような気持ちで、並んで飛んでいったのでしょうか。 3. 友達と助け合うことのよさについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○友達を助けたり、友達に助けられたりしたことはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達がいることのよさに気づき、友達と一緒に仲よく活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 友達と仲よくし、助け合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	32 友だち思い名人 「自分のよさに気づき、のびす」 【A 個性の伸長】	1	先生から褒められたことで自分のよさに気づいたあきらの心の変化について考えることをとおして、自分のよいところに気づき、それを伸ばしていこうとする心情を育てる。	1. 今まで褒められたことから、自分のよさについて考える。 ○おうちの人や先生に、褒められたことはありますか。どんなことを褒められましたか。 2. 『友だち思い名人』を読んで、自分のよさに気づき、伸ばしていくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○どうして「わたし」は、ゆうとさんの分まで掃除をがんばろうと思ったのでしょうか。 ★先生から「『友だち思い名人』だね。」と言われたとき、「わたし」はどのようなことを考えたのでしょうか。 3. 自分のよさに気づき、伸ばしていくことの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたは、どのようなよさを伸ばしていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自分のよさに気づき、自分のよさを伸ばしていこうとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 自分のよさに気づき、伸ばしていこうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	33 ぼくたちのハッピーエール 「だれにでも」 【C 公正、公平、社会正義】	1	真剣な顔で苦手なことに取り組む友達を見て、自然に応援の言葉を発した「ぼく」の心の変化を考えることをとおして、自分の好き嫌いにとらわれずに友達と接することの大切さに気づき、自分の好みや利害によらず、誰にでも公平・公平に接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の好き嫌いにとらわれずに友達に接することができるかについて考える。 ○友達を笑顔にする言葉を、誰にでも同じようにかげられますか。 2. 『ぼくたちのハッピーエール』を読んで、自分の好き嫌いにとらわれずに友達に接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○ななみさんが、「ぼく」にもりょうさんにもハッピーエールをかける姿を見て、「ぼく」はどのように思ったのでしょうか。 ★「ぼく」は、どのような思いから「りょうさん、がんばって。」と言ったのでしょうか。 3. 自分の好き嫌いにとらわれずに友達に接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○今日の学習で、誰にでも同じように接することの大切さについて、どのように考えましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自分の好き嫌いにとらわれず、誰にでも公正・公平に接することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 誰とでも分け隔てなく接していこうという気持ちを高めるなど、誰にでも公正・公平に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
適時	34 虫が大きい ——アンリ・ファーブル—— 「しぜんに親しむ」 【D 自然愛護】	1	身のまわりの虫たちに対するファーブルの姿勢について考えることをとおして、身近な自然や動植物に対する興味・関心を高め、自然や動植物を大切にしようとする心情を育てる。	1. 虫について不思議に思った経験について考える。 ○虫について、不思議に思ったことはありますか。 2. 『虫が大きい』を読んで、ファーブルが虫と関わるときに大切にしていたことについて考える。 【考えよう】 ○ファーブルのすごいところはどこでしょう。 ★ファーブルは、虫と関わるときに、どのようなことに気をつけていたのでしょうか。 3. 生き物と関わるときに大切なことについて、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○あなたは、生き物と関わるときに気をつけていることはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *身近な自然や動植物に対する理解を深め、自然や動植物との関わりについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自然や動植物に親しむことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	35 日本のたから 富士山 「国やふるさとのよさ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	富士山やその周りの自然についてよいと感じているまなさんの気持ちについて考えることをとおして、国や地域のよさに気づき、国や郷土に親しもうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 富士山について考える。 ○富士山について、知っていることはありますか。 2. 『日本のたから 富士山』を読んで、日本や地域のよさを大切にすることについて考える。 【考えよう】 ○まなさんが「富士山、おはよう。行ってきます。」と挨拶をしているのは、どのような気持ちからでしょう。 ★まなさんは自分の町が大好きだと思っていますが、それはどうしてでしょう。 3. 自分の国や町にあるよさについて確かめ、自分のこととして考える。 【ふかめよう】 ○もし、まなさんが、あなたの町にやってきましたら、どのようなところを好きになってくれると思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○あなたの生まれ育ったふるさとや、住んでいる町のよさを、友達や先生、家族に伝えましょう。	【多面的・多角的に考える】 *国や郷土のよさに気づき、国や郷土の文化や生活について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *国や郷土の文化や生活のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	【しりょう】 みに つけよう れいぎ・マナー	適時	学校や家庭、学校でのマナーを知るとともに、なぜ礼儀やマナーを守ることが大切なのかについて考えることをとおして、日常生活のさまざまな場面で礼儀正しくふるまおうとしたり、マナーをすすんで守ったりしようとする実践意欲と態度を育てる。		【多面的・多角的に考える】 *マナーを守って生活することの大切さについて考え、礼儀やマナーを守って生活していくことについて多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *正しいマナーを身につけ、実際の場面で実践してみたいという気持ちや、マナーを守って生活していこうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	学しゅうを ふりかえろう	適時	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。		*心に残った話(教材)とそれを選んだ理由をまとめることができるか。 *一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。

他教科等との関連
—
生活
生活
学級活動
生活、挨拶運動

他教科等との関連

国語、音楽

体育

—

学級活動

国語

他教科等との関連

国語、生活

学級活動

—

生活

他教科等との関連

—

図画工作

生活

情報モラル教育

—

他教科等との関連

国語、生活

生活、法教育

生活、家庭学習

—

生活、社会参画教育

他教科等との関連

学級活動

生活、伝統文化教育

国際理解教育

国語

他教科等との関連

—

他教科等との関連

生活

生活、キャリア教育

学級活動

他教科等との関連

国語

国語

国語、体育

学級活動

体育

他教科等との関連

生活

伝統文化教育

生活

—

令和6年度版『小学どくとく3 はばたこう明日へ』 年間指導計画・評価の視点表

○本表では、5・6・10・11・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。（「学習月」欄の「■」のところです。）
 ○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
4月	どうとくで学習すること どうとくではこんな学び方をしよう どうとくの学習をもっと広げよう	適時	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		* 友達との対話をおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 * 自分自身を見つめ、自分の考えとは違う意見を大切にすることについて考えることができているか。
4月③	1 あなたならできる 「自分でできることをふやす」 【A 節度、節制】	1	はるかが毎日作戦を実行することができたことについて話し合うこととおして、自分でできることを考えて行動することのよさや難しさに対する考えを深め、自分でできることは自分であろうとする判断力を育てる。	1. 自分でできることについて考える。 ○自分でできることは、自分でしていますか。 2. 『あなたならできる』を読んで、自分でできることを増やすことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○はるかには、どのようなことを思っていたらいいのでしょうか。 ★はるかは、忘れ物をしないようになりました。はるかはどのようなことを考えながら、毎日一つ一つの作戦を実行していたのでしょうか。発表しましょう。 3. 自分でできることを増やすことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分でできることが増えると、どのようないいことがあるのでしょうか。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○自分のはるかだったら、どのような「わすれ物ゼロ作戦」を考えますか。	【多面的・多角的に考える】 * 自分でできることを考えて行動することのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 主体性のある行動の大切さを理解し、自分から生活を整えて自律して行動することについて、自分との関わりで考えることができているか。
	2 気持ちのいいあいさつ 「心をこめて」 【B 礼儀】	1	気持ちのいい挨拶とはどういうものかについて考えたり、話し合ったりすることとおして、礼儀の大切さに気づき、すすんで気持ちのいい挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 挨拶について考える。 ○元気に挨拶すると気持ちがいいと思ったことはありますか。 2. 『気持ちのいいあいさつ』を読んで、礼儀の大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」の挨拶と、りょうくんの挨拶は、それぞれどのようなところがいいと思いますか。考えを発表しましょう。 ★気持ちのいい挨拶がどういものかわかった「わたし」は、登校してくるみんなにどのような挨拶をしたのでしょうか。 3. 真心を態度で示すことについて確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○すがすがしい気持ちになれる挨拶とは、どのような挨拶のことだと思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 礼儀の大切さに気づき、気持ちのいい挨拶とはどういうものかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 真心を態度で示すとはなにかについて、自分との関わりで考えることができているか。
	3 貝がら 「友達とのかいし合う」 【B 友情、信頼】	1	「ぼく」と中山君の関係について話し合うこととおして、友達のよさを発見し理解することのよさに気づき、友達と理解し合い、仲よくしようとする心情を育てる。	1. 友達と理解し合うことについて考える。 ○友達と、どのようにして仲よくなりましたか。仲よくなるために大切なことはなんなのでしょう。 2. 『貝がら』を読んで、友達と理解し合うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○いつも黙っていた中山君が、貝がらを持ってきてくれて、「ぼく」はどう思ったのでしょうか。考えて話し合しましょう。 ★「ぼく」が、今度こそ、中山君と仲よしくなれると思ったのはどうしてでしょうか。 3. 友達と理解し合うことの大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○友達と仲よしくなるために大切なことはなんなのでしょう。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達と理解し合うことの大切さに気づき、友達のよさを発見し理解することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 友達と理解し合い仲よくすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
5月③	ユニット:日本のよさ 世界のよさ				
	4 ふろしき 「つたえられてきた文化」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	古くから伝えられてきたふろしきのよさについて学ぶことをとおして、わが国や郷土の伝統と文化への理解を深め、それらを大切にしようとする心情を育てる。	1. 伝えられてきた文化について考える。 ○ふろしきという、魔法の布のことを知っていますか。 2. 『ふろしき』を読んで、わが国の伝統と文化に親しむことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」は、ふろしきのどのようなところを好きになったのでしょうか。 ★ふろしきが、今も日本の文化として伝わっているのはどうしてでしょう。 3. わが国の伝統と文化について確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○日本や地域の文化として伝わっているものについて、話し合ひましょう。また、それらの中で、大切にしていきたいものを発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *わが国の伝統と文化のよさに気づき、国や郷土を愛することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *わが国や郷土の伝統と文化に関心をもち、親しみをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。
	5 ライラックのさく庭で 「ほかの国の人たちともなかよく」 【C 国際理解、国際親善】	1	「わたし」とリラちゃんとの交流について考えることをとおして、他国の人や文化に親しむことの大切さに気づき、他国の文化を理解し親しもうとする心情を育てる。	1. 他国の人たちと仲よくすることについて考える。 ○外国の文化で、知っているものはありますか。 2. 『ライラックのさく庭で』を読んで、他国の人たちとも仲よくすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○リラちゃんが話しかけてきたとき、逃げてしまったことを「わたし」はどう思っていたのでしょうか。 ★リラちゃんは、どんな思いで「わたし」にライラックの花束をくれたのでしょうか。 3. 他国の人や文化に親しむことについて確かめ、その大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「わたし」とリラちゃんは、これからどのような友達になれるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *他国の人や文化に親しむことの大切さに気づき、自国の文化との共通点や相違点について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *他国の人や文化に親しむことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
〈コラム〉 フランスってどんな国？	—	—	『ふろしき』や『ライラックのさく庭で』で学習したことを踏まえて、他国の文化に親しむことのよさを知ることで、わが国の文化に親しみをもつとともに、わが国の文化を伝えていくことの大切さに気づかせる。	—	
6月④	6 ヒキガエルとロバ 「命あるものを大切に」 【D 生命の尊さ】	1	ロバの行動を見たアドルフたちの気持ちについて話し合うことをとおして、命の尊さに対する考えを深め、命あるものを大切にしようとする心情を育てる。	1. 命の大切さについて考える。 ○動物や植物を見て、すごいなあと思ったことはありますか。 2. 『ヒキガエルとロバ』を読んで、生命あるものを大切にすることの重要性について考える。 【考えよう】 ○アドルフたちはどのような気持ちで、ヒキガエルに石を投げつけていたのでしょうか。 ★ロバによってヒキガエルが助かったのを見て、アドルフたちはどのような思いになったでしょう。考えて話し合ひましょう。 3. 生命あるものを大切にすることの重要性について、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○ロバの行動からどのようなことを学びましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *命の尊さに対する考えを深め、生命を大切にすることのよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *生命の大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
	ユニット:じょうほうと向き合う				
	7 新聞係 「きまりを守ることの意味」 【C 規則の尊重】	1	新聞作りのきまりについて話し合うことをとおして、きまりを守ることの大切さに対する考えを深め、きまりを大切にしようとする判断力を育てる。	1. きまりを守ることの意味について考える。 ○どうしてきまりを守ることが大切なのでしょうか。 2. 『新聞係』を読んで、きまりを守ることの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○新聞係の問題点はどこにあるか、考えて発表しましょう。 【かいつ方法を考える①】 ○新聞係の目的はなんなのでしょう。 【かいつ方法を考える②】 ○新聞係のみんなは、どうして問題を解決することができたのでしょうか。 【かいつ方法を考える③】 ○どのようなきまりを守れば、みんなに喜ばれる新聞ができるか、考えて話し合ひましょう。 【考えたことを生かす】 ○今日学んだことは、学校生活のどのような場面で生かすことができるでしょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *きまりを守ることに對する考えを深め、きまりを守ることの意義や大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *きまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
	〈コラム〉 じょうほうを発信するときには	—	—	『新聞係』で学習したことを踏まえて、情報を発信する際に守らなければならないきまりについて理解させる。	—

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	8 「えがおいっぱい」 「楽しいクラスをつくる」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	あおいのクラスの「えがおいっぱいせんげん」について話し合うことをとおして、笑顔がいっぱいのクラスによさ気づき、みんなで協力し合って楽しいクラスをつくろうとする心情を育てる。	1. 楽しいクラスについて考える。 ○クラスが楽しいと思えるのは、どんなときですか。 2. 『えがおいっぱい』を読んで、みんなで協力し合って楽しいクラスをつくることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○休み時間に、けんかをする男の子たちや、こそこそおしゃべりする女の子たちを見て、あおいはどのようなことを思っていたのか、考えて話し合しましょう。 ★あおいは学級会で、どのようなことを思いながら『えがおいっぱい』になっていないと思います。」と言ったのでしょうか。 3. みんなで協力し合って楽しいクラスをつくることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分たちのクラスのよいところはどのようなところですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○自分たちのクラスを「笑顔いっぱいクラス」にするためにはどうすればよいか、考えてみましょう。また、みんなで意見を出し合って、書き出してみよう。	【多面的・多角的に考える】 *笑顔がいっぱいのクラスによさ気づき、みんなで協力し合って楽しいクラスや学校をつくっていくことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *楽しいクラスや学校をみんなで協力し合っつていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
7月②	9 エプロン 「自分のよさに気づき、のばす」 【A 個性の伸長】	1	いつきが自分の特技に気づけたことについて考えることをとおして、自分の長所を伸ばすことの大切さに気づき、長所を伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の長所について考える。 ○みんなのよさは、なんだと思いますか。 2. 『エプロン』を読んで、自分のよさに気づき、長所を伸ばすことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○はるとに「気にすることないよ。」と言われたあと、いつきはどのようなことを考えていたのでしょうか。 ★はるとにケーキ作りやエプロンのことを話しているとき、いつきはどのような気持ちだったか、考えを発表しましょう。 3. 長所を伸ばすことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○おばあちゃんの画面に映る笑顔のいつきは、どのようなことを考えていたのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の長所を伸ばすことの大切さに気づき、長所を伸ばしていくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自分の特徴に気づき、長所を伸ばすことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	10 気づく心 「相手の立場になって」 【B 親切、思いやり】	1	お母さんを助けたあとのあつしの気持ちについて話し合うことをとおして、困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づき、思いやりのある行動をしようとする心情を育てる。	1. 相手の立場になることについて考える。 ○相手の立場になって行動するとは、どういうことでしょうか。 2. 『気づく心』を読んで、すすんで親切にすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○あつしは「いいんだ。ぼくはあとから追いかけるよ。みんなは先に行ってて。」と言いました。あつしはどのようにしてこのような行動をとったのでしょうか。 ★あつしは店に向かっていったとき、どのようなことを思っていたのでしょうか。 3. すずんで親切にすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○どのような心が、親切な行動を生み出すのでしょうか。考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *困っている相手の気持ちを考えることの大切さに気づき、相手の気持ちを自分のこととして想像することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *親切にすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
9月③	11 おそろしいゲームいぞん 「けんこうに気をつけて生活する」 【A 節度、節制】	1	ともあきが生活を整えることができた理由について話し合うことをとおして、自分の生活を整えることのよさや難しさに対する考えを深め、安全に気をつけ、節度のある生活をしようとする心情を育てる。	1. 規則正しい生活について考える。 ○生活を整えることのよさはなんですか。 2. 『おそろしいゲームいぞん』を読んで、健康に気をつけて規則正しく生活することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○ともあきの生活のどのようなところが問題だったのでしょうか。考えを発表しましょう。 ★ゲーム依存になっていたともあきは、生活を整えることができました。生活を整えながら、ともあきはどのようなことを思っていたのでしょうか。 3. 規則正しく生活することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○ともあきから学んだことで、自分の生活に生かしたいことは何か、自分の考えをまとめよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○自分だったら、ゲーム依存にならないためにどのようなことに気をつけるか、考えてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *規則正しく生活することの大切さに気づき、自分の生活を整えることのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自分の生活を振り返り、自分から生活を整えて、自律していこうとすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
ユニット:いじめをなくす					
	12 悪いのはわたしじゃない 「あやまちをみとめてすなおに」 【A 正直、誠実】	1	なおたちがれなにしたことの問題点について話し合うことをとおして、正直に明るい心で生活することの大切さに気づき、過ちは素直に改め、誠実な態度で接しようとする心情を育てる。	1. 正直に明るい心で生活することについて考える。 ○自分の気持ちに正直に行動できなかったことはありますか。 2. 『悪いのはわたしじゃない』を読んで、まちがった行動をとってしまったときに、それを認め、改めることの大げささについて考える。 [考えよう] ○一人でぼつんと立っているれなの姿を見て、「わたし」はどのようなことを思ったのでしょうか。考えて話し合しましょう。 ★先生の話を聞きながら涙を流した「わたし」は、このあとどうするといいいでしょう。 [やってみよう] ○演じた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみましょう。 3. 過ちは素直に改め、誠実な態度で接することの大げささについて、自分のこととして考える。 [深めよう] ○このお話のようにならないようにするために、自分にできることはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 過ちを素直に改めることの大げささに気づき、誠実な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 過ちは素直に改め、誠実な態度で接することの大げささについて、自分との関わりで考えることができているか。
	13 仲間だから 「友達のためにできること」 【B 友情、信頼】	1	たくやさんの気持ちとゆいの思いについて話し合うことをとおして、本当の友達に対する考えを深め、友達と理解し合い助け合おうとする心情を育てる。	1. 友達について考える。 ○仲間とはどのようなものなのでしょう。 2. 『仲間だから』を読んで、友達と互いに理解し、助け合うことの大げささについて考える。 [問題を見つけよう] ○たくやさんたちの班の問題だと思うところはどこでしょう。 [かいけつ方法を考える①] ○たくやさんたちの班のみんなは、どうすればいい仲間になれるのでしょうか。 [かいけつ方法を考える②] ○自分だったら、どうやって解決しますか。 [考えたことを生かす] ○たくやさんたちがいい仲間になれば、どのようなクラスになると思いますか。発表しましょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 本当の友達とは何かに対する考えを深め、友達と信頼し、助け合っていくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 本当の友達になるために大切なことを理解し、友達と信頼し、助け合っていくことの大げささについて、自分との関わりで考えることができているか。
	<コラム> いじめって何？	—	『悪いのはわたしじゃない』や『仲間だから』で学習したことを踏まえて、いじめにつながるさまざまな行動を理解し、自分の周りにいじめがないか考えさせる。		
10月④■	14 何がいけないのかな 「真心をもって」 【B 礼儀】	1	まなみさんの行動について体験的に学ぶことをとおして、相手の立場や気持ちに応じて接することの大げささに気づき、丁寧な言葉づかいで真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 真心について考える。 ○真心とは、どのような「心」でしょう。 2. 『何がいけないのかな』を読んで、真心をもって接することの大げささについて考える。 ○まなみさんと店員さんの役を演じてみましょう。 ○まなみさんとお客さんの役を演じてみましょう。 3. 真心をもって接することの大げささについて確かめる。 ★みんなが気持ちよく生活するためには、どのような言葉を使えばいいでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 相手の立場や気持ちに応じて接することの大げささに気づき、丁寧な言葉づかいで周りの人に接することについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 丁寧な言葉づかいで、真心をこめて接することについて、役割演技をとおして自分との関わりで考えることができているか。
	15 楽しめばすきになる 「努力は楽しんで」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	漢字練習に対するこうたの姿勢が変化したことについて話し合うことをとおして、苦手なことも楽しんで取り組むことよさに気づき、目標に向かってやり抜こうとする実践意欲や態度を育てる。	1. 努力するということについて考える。 ○嫌なことを後回しにしていますか。どうしたら気持ちよくできるのでしょうか。 2. 『楽しめばすきになる』を読んで、嫌いなことでも楽しみながら努力することの大げささについて考える。 [考えよう] ○こうたは、ただしの話の何に感心したのでしょうか。 ★どうしてこうたは変わったのでしょうか。理由を話し合しましょう。 3. 嫌いなことも目標をもって楽しみながら努力することの大げささについて、自分のこととして考える。 [深めよう] ○苦手なこともできるようになるにはどうしたらよいか、考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 嫌いなことも楽しんで取り組むことよさに気づき、努力するということについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 目標をもって努力し続けることの大げささについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	16 ドッジボール大会 「男女で分けへだてをせずに」 【C 公正、公平、社会正義】	1	しゅうへいのしたことの問題点について話し合うことをとおして、偏見をもたないことの大切さに気づき、誰に対しても分け隔てをしないで公正・公平な態度で接しようとする心情を育てる。	1. 公正・公平な態度について考える。 ○きめつけられないことのよさを考えてみましょう。 2. 『ドッジボール大会』を読んで、誰に対しても分け隔てをしないで公正・公平な態度で接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○女子が弱いときめつけたとき、しゅうへいはどのようなことを思っていたのでしょうか。 ★しゅうへいが、「ぼくがまちがっていた。」と言ったのはどうしてでしょう。考えて話し合いましょう。 【やってみよう】 ○演じた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみましょう。 3. 公正・公平な態度で接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○きめつけられないことのよさについて、自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 勝手な決めつけをしないことの大切さに気づき、偏見をもたないで、公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 誰に対しても偏見をもたずに公正・公平な態度で接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
11月④■	17 どうしよう…… 「明るい心で正直に」 【A 正直、誠実】	1	「わたし」が、中村先生に正直に話すかどうか葛藤する様子をおして、正直であることに対する理解を深め、過ちを素直に反省し、正直に伝えるようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 過ちについて考える。 ○失敗をしてしまったことはありますか。そのときのことを思い出してみましょう。 2. 『どうしよう……』を読んで、正直であることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」の頭の中では、いろいろな考えがぐるぐる回っていました。どのような考えだったのでしょうか。考えを発表しましょう。 【やってみよう】 ○「わたし」は、中村先生に正直に話してどう感じたでしょう。 ★「わたし」は、中村先生にどのように話したでしょう。また、中村先生は「わたし」に何と言ったのでしょうか。 3. 過ちを素直に反省し、正直に伝えることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○正直な行動ができたときとできなかったときの気持ちは、どのように違うでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 正直であることの大切さに気づき、正直であるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 過ちを素直に反省し、正直に伝えることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	18 わたしの妹、加奈 「家族みんなで協力し合う」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	加奈に対する由衣の思いの変化について話し合うことをとおして、家族で支え合うことのよさに気づき、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくらうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族について考える。 ○家族のために、どんなことをしていますか。 2. 『わたしの妹、加奈』を読んで、家族と協力して楽しい家庭をつくることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○加奈の体を押して、お母さんに叱られたあと、おばあちゃんの話聞きながら、「わたし」はどのようなことを思ったでしょう。 ★「わたし」は、変わりました。何が「わたし」を変えたのでしょうか。考えて話し合いましょう。 【やってみよう】 ○演じた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。発表してみましょう。 3. 家族と協力して楽しい家庭をつくることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○家族のよさを感じたことはありますか。家族のよさをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 家族で支え合うことのよさに気づき、家族を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 父母や祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	19 よわむし太郎 「正しいと思ったことを行う」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	太郎の考えと行動について話し合うことをとおして、正しくないことをしている人を止めることの大切さに気づき、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする判断力を育てる。	1. 正しいと思うことについて考える。 ○「よわむし」とは、どのような人のことをいいますか。 2. 『よわむし太郎』を読んで、正しくないことをしている人を止めることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○立ちがだかっていた太郎をにらんでいた殿様が、白い大きな鳥を捕らないことにしたのは、どうしてでしょう。 【やってみよう】 ○演じてみて、感じたことや考えたことを発表してみましょう。 ★太郎は、本当に「よわむし太郎」なのでしょうか。みんなで話し合いましょう。 3. 正しいと判断したことは自信をもって行うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○正しいと思ったことができる人とはどのような人なのでしょう。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 正しくないことをしている人を止めることの大切さに気づき、正しいと思ったことは自信をもって行うことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 正しいと思ったことをすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
12月 ③	20 ぴっかぴか 「みんなのためにはたらくとは」 【C 勤労、公共の精神】	1	「わたし」が変わった理由について話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づき、自分でできる仕事を見つけて、すすんでみんなのために働くとする実践意欲と態度を育てる。	1. 働くということについて考える。 ○任された当番の仕事をするときには、どのような気持ちが必要でしょう。 2. 『ぴっかぴか』を読んで、みんなのために働くことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○5年生に注意されたとき、「わたし」はどのような気持ちだったでしょう。 ★今までの「わたし」と、これからの「わたし」は、どこが違うでしょう。また、なぜ変わったのでしょうか。 3. みんなのために働くことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○任された仕事は、どのように取り組んでいくといいでしょう。考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○これから係や当番の仕事をするとき、どのように取り組んでいきたいか、考えてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *すすんでみんなのために働くことのよさを理解し、みんなのために働くことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *働くことの意義を理解し、積極的に働くことのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
	21 なんて言っただええ？ 「気持ちをつたえ合う」 【B 相互理解、寛容】	1	みかさんのこれからの行動について考えることをとおして、意見を伝えるときに大切なことに気づき、自分の意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見も大切にしようとする心情を育てる。	1. 気持ちの伝え方について考える。 ○友達に言いづらいことには、どのようなことがありますか。 2. 『なんて言っただええ？』を読んで、意見を伝えるときに大切なことについて考える。 【問題を見つける】 ○みかさんが、自分の意見をなかなか言い出せないのはどうしてでしょう。 【かいけつ方法を考える①】 ○自分の考えと違う意見が出たとき、あなたならどうしますか。 【かいけつ方法を考える②】 ○どのように話せば、みんなに嫌な思いをさせずに、気持ちを伝えることができるでしょう。 【考えたことを生かす】 ○このお話で学んだことを、これからの生活のどんな場面で生かそうと思いますか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *意見を伝えるときに大切なことに気づき、相手の理解を得られるような思いの伝え方について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *相手の理解を得られるような思いの伝え方について、自分との関わりで考えることができるか。
	＜コラム＞ ◆相手に気持ちをつたえるには		『気持ちをつたえ合う』で学習したことを踏まえて、自分の気持ちを相手に伝えるときに、大切なことについて理解させる。		
	22 おにのかんたのゆめあんない 「家族で協力し合って」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	家族で協力し合って暮らしているめぐみやひろゆきの様子を考えることをとおして、自分が家族の一員であることに気づき、積極的に協力し合って楽しい家庭をつくらうとする心情を育てる。	1. 協力するということについて考える。 ○協力するとは、どういうことでしょうか。 2. 『おにのかんたのゆめあんない』を読んで、家族で協力し合って楽しい家庭をつくることについて考える。 【考えよう】 ○ちはるが、夢の中で見た家族の素敵なところはどこですか。考えを發表しましょう。 ★ちはるは、どうして「これからは家族のためにがんばろう。」と思ったのでしょうか。 3. 家族で協力し合うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○あなたは、家族のためにどのようなことをがんばりたいですか。それはどうしてですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族で協力し合うことの大切さに気づき、自分が家族のためにどのようなことができるかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *楽しい家庭をつくることのよさに気づき、それぞれができることについて、自分との関わりで考えることができるか。
1月 ③	23 金色の魚 「節度を守って」 【A 節度、節制】	1	次々と欲張ってしまったおばあさんが、最後には元に戻ってしまった話をとおして、節度を守ることの大切さについて理解を深め、節度のある生活をしようとする心情を育てる。	1. 節度について考える。 ○欲張って、失敗したことはありますか。 2. 『金色の魚』を読んで、節度を守ることの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○この教材の中で、問題なのはどのようなことか、考えて話し合しましょう。 【かいけつ方法を考える①】 ○自分がおじいさんだったらどうしますか。 【かいけつ方法を考える②】 ○自分がおばあさんだったらどうしますか。 【考えたことを生かす】 ○この教材から何を学びましたか。また、自分の生活に生かせることはどのようなことですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *節度を守ることの大切さに対する理解を深め、わがままをせずに生活していくためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *節度を守って生活することの大切さを理解し、どのような心がけが必要か、自分との関わりで考えることができるか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
2月 ④ ■	24 光祐くんのアサガオ 「命を受けついで」 【D 生命の尊さ】	1	光祐くんの生き方やお母さんの思いについて話し合うことをとおして、命を受け継いでいくことのすばらしさに気づき、命を大切にしようとする心情を育てる。	1. 命について考える。 ○命の大切さについて考えてみましょう。 2. 『光祐くんのアサガオ』を読んで、一生懸命生きることのすばらしさについて考える。 【考えよう】 ○光祐くんは、どうして50メートル走に出たいと思ったのでしょうか。 ★お母さんは、どうしてアサガオを育て続けたのでしょうか。考えて話し合みましょう。 3. 一生懸命生きることのすばらしさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○光祐くんのアサガオに名前をつけたら、どのような名前をつけますか。考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 命を受け継いでいくことのすばらしさに気づき、生命が尊いものであることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 命を受け継いでいくことのすばらしさを理解し、かけがえのない自他の生命について、自分との関わりで考えることができているか。
	25 ひと言の勇氣 「正しいことは自信をもって」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	としみちの考えと行動について話し合うことをとおして、正しいと思ったことを実行することのよさや難しさに対する考えを深め、正しいと判断したことは自信をもって行おうとする判断力を育てる。	1. 勇氣について考える。 ○勇氣を出して、何か言ったことはありますか。 2. 『ひと言の勇氣』を読んで、正しいと判断したことは自信をもって行うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○としみちは、上手にラジコンカーを走らせるたけしさんを見ながら、どのようなことを考えていたでしょう。 ★としみちは、どうしてたけしさんに「やめなよ！」と言えたのでしょうか。 3. 正しいと判断したことは自信をもって行うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○やりたいことが正しいことではないと思ったとき、どうしたらいいと思いますか。考えて話し合みましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 正しいと思ったことを実行することのよさや難しさに気づき、正しい行動をとることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 正しいと思ったことをするために大切なことについて、自分との関わりで考えることができているか。
	26 花さき山 「美しい心」 【D 感動、畏敬の念】	1	花さき山に花を咲かせたあやの心について話し合うことをとおして、美しい心に対する考えを深め、美しいものに感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	1. 美しさについて考える。 ○「美しいな。」と感じたことはありますか。 2. 『花さき山』を読んで、美しいものに感動する気持ちについて考える。 【考えよう】 ○自分が咲かせた花のことを山ンばに教えてもらったあやは、どのようなことを思ったでしょう。 ★「つらいのをしんぼうして、……さきだすのだ。」という山ンばの言葉から、どのようなことが大切だと思うか、みんなで話し合みましょう。 3. 美しいものに感動することのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○お話ではたくさんの人々が花を咲かせましたが、学校やクラスや家で、自分が咲かせた花があったら、紹介しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 美しいものに対する考えを深め、美しいものに感動する気持ちについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 美しいものに感動することのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
27 手伝う心 「こまっている人のために」 【B 親切、思いやり】	1	ひろみさんを見守る「わたし」の行為について体験的に学ぶことをとおして、「わたし」とひろみさんの気持ちを理解し、相手の状況や気持ちを考えて行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 助けるということについて考える。 ○困っている人がいたら、どうしていますか。 2. 『手伝う心』を読んで、相手のことを思いやることの大切さについて考える。 ○「わたし」とひろみさんの役を演じてみましょう。 ○ひろみさんが断る場面を演じてみましょう。 ○「わたし」を演じてみましょう。 3. 相手を思いやることの大切さについて確かめる。 ★相手のことを思いやって行動するとは、どのようなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 親切にすることについて理解を深め、相手のことを考えた行動について、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 相手のことを考えた行動について理解を深め、役割演技をとおして自分との関わりで考えることができているか。	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	28 タンタンタンゴはパパふたり 「すてきな動物たち」 【D 自然愛護】	1	ロイとシロの行動と、それを見守るグラムジーさんの行いとおして、動物に親しみ、動植物を愛護しようとする心情を育てる。	1. 動物について考える。 ○身のまわりで、かわいがっている動物はいますか。 2. 『タンタンタンゴはパパふたり』を読んで、動物に親しむことのよさについて考える。 【考えよう】 ○石を温め続けるロイとシロを見て、グラムジーさんはどのようなことを考えていたでしょう。考えて話し合しましょう。 ★グラムジーさんは、どのような思いから、ロイとシロの巣に卵を運んだのでしょうか。 3. 動植物を愛護することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○身近な動物のことで、「すごいな」「不思議だな」と思ったことはありますか。どうしてそう思ったのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 動植物に親しむことに対して理解を深め、動植物を愛護することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 自分たちを取り巻く自然環境を大切にしたり、動植物を愛護したりすることの大切さを理解し、自分との関わりで考えることができているか。
3月②	29 公園のひみつ 「ささえてくれている人へのかんしゃ」 【B 感謝】	1	おじいちゃんへの「わたし」の感謝の気持ちについて話し合うこととおして、身近な人々が生活を支えてくれていることに気づき、尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	1. 自分のことを支えてくれている人について考える。 ○みんなの生活を支えてくれている人には、どのような人がいるでしょう。 2. 『公園のひみつ』を読んで、生活を支えてくれている人に感謝することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○おじいちゃんのお手伝いをしながら、「わたし」はどのようなことを考えていたでしょう。 ★「わたし」が、心の中でつぶやいた「ありがとう」には、どのような気持ちがこめられているのか、考えて話し合しましょう。 3. 生活を支えてくれている人に感謝することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分の生活を支えてくれている人には、どのような人がいますか。発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○自分の生活を支えてくれている人に、何を伝えたいですか。	【多面的・多角的に考える】 * 身近な人々が自分たちの生活を支えてくれていることに気づき、自分たちの生活を支えてくれているさまざまな人々への感謝の気持ちについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 自分たちの生活を支えてくれている人たちに尊敬と感謝の気持ちをもって接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
	30 自分たちにできること 「いろいろな国に関心を」 【C 国際理解、国際親善】	1	ゆうきがSDGsをきっかけに、他国の取り組みや文化に関心をもちた理由について話し合うこととおして、日本と他国とで違いがあることに気づき、他国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。	1. 他国のことについて考える。 ○世界にはいろいろな国がありますね。どんな国を知っていますか。 2. 『自分たちにできること』を読んで、他国の文化に関心をもちたことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○SDGsのポスターを見て、ゆうきは、どのようなことを思ったでしょう。 ★どうしてゆうきは、フィリピンや日本、その他の国での取り組みを調べようと思ったのでしょうか。考えを発表しましょう。 3. 他国の文化に関心をもちたことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○SDGsの目標を調べて、自分たちにできることを考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * SDGsをきっかけに他国の取り組みについて知ること、他国の文化に関心をもち、日本と他国で違いがあることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 他国では、その特徴やよさを生かしてSDGsに取り組んでいることに気づき、日本ではどのような特徴を生かして、何ができるかについて、自分との関わりで考えることができているか。
適時	31 心のこもった給食 「かんしゃの気持ち」 【B 感謝】	1	宇佐美さんの思いについて話し合うこととおして、自分の生活がさまざまな人々に支えられていることに気づき、感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	1. 給食について考える。 ○みなさん給食は好きですか。給食は誰が作ってくれているか、知っていますか。 2. 『心のこもった給食』を読んで、自分たちの生活を支えてくれている人に感謝の気持ちをもつことの大さについて考える。 【考えよう】 ○宇佐美さんは、どのようなことを考えながら小松菜を作っているのでしょうか。 ★「ごちそうさま。」には、どのような意味がこめられているのでしょうか。 3. 生活を支えてくれている人に感謝の気持ちをもつことについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○今日の授業で、自分が考えたことや感じたことをまとめて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * さまざまな人々が自分たちの生活を支えてくれていることに気づき、日常生活において他者が自分のためになしてくれていることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 他者に感謝することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
適時	32 お祭りにこめられている思い 「ちいきにつたわる文化を大切に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	二つのお祭りにこめられている思いについて考えさせることをとおして、地域で大切にされている行事のよさに気づき、国や地域の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。	1. 地域の行事について考える。 ○みんなは、町のどのようなお祭りに参加したことがありますか。 2. 『お祭りにこめられている思い』を読んで、郷土の文化を大切にすることのよさについて考える。 【考えよう】 ○昔の人たちは、どうして「のぼり祭り」や「本郷ししもみ行事」を始めたのでしょうか。 ★なぜ、「のぼり会」の会長さんは、その町のお祭りを大切にしていってほしいと思っているのか、考えて話し合しましょう。 3. 郷土の文化を大切にすることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分たちが住んでいる地域のお祭りや行事について調べましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 国や地域で大切にされている行事のよさに気づき、地域の伝統や文化を大切にし、伝えていきたいという人々の願いについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 国や地域の一員であることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
適時	33 つなみてんでんこ ——走れ、上へ—— 「命を守る」 【D 生命の尊さ】	1	東日本大震災で被災したときの「ぼく」や周りの人の行動や気持ちについて考えることをとおして、命を守ることの大切さに気づき、与えられた命を大切にしようとする心情を育てる。	1. 命について考える。 ○もしも大きな地震が起きたら、命を守るために何ができるといいますか。 2. 『つなみてんでんこ』を読んで、命を守ることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○地震が起きて、津波が迫ってきたとき、「ぼく」はどのようなことを思ったでしょう。 ★二日ぶりに父さんと会ったとき、「ぼく」はどのような気持ちだったでしょう。考えを発表しましょう。 3. 命を守ることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「命さえあれば、これからなんだってできるものな。」と言うじいちゃんという言葉について、あなたはどのようなことを考えましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 命を守ることの大切さに気づき、命を守るためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 命を守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
適時	34 音のこうずい 「きまりを守って」 【C 規則の尊重】	1	電車でのマナーについて話し合うことをとおして、社会のきまりの意義に対する考えを深め、きまりを守って生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 公共の場でのマナーについて考える。 ○たくさんの方がいる場所では、どのようなことに気をつけていますか。 2. 『音のこうずい』を読んで、社会のきまりを守ることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○電車に乗っている人たちを見て、「ぼく」はどのようなことを考えていたでしょう。 ★悪いのは誰でしょう。そして、それはどうしてでしょう。考えて話し合しましょう。 3. きまりを守ることの大切さを確かめ、きまりを守って生活することのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○電車の他にも、みんなのことを考えなくてはいけない場所がありますか。また、それはどうしてですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 社会のきまりに対する理解を深め、人に迷惑をかけずに、すすんで社会のきまりを守ることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 人に迷惑をかけずに、すすんで社会のきまりを守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	35 昔からの味をつたえる野菜 「文化をつたえる」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	伝統野菜を守る取り組みについて話し合うことをとおして、国や地域の伝統や文化を守り伝えていくことの大切さに気づき、国や地域の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。	1. 地域の伝統料理や特産品について考える。 ○自分たちの地域の食べ物にはどのようなものがありますか。 2. 『昔からの味をつたえる野菜』を読んで、地域の伝統や文化を守り、伝えていくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○子どもたちが、いつのまにか「吹田くわい」を好きになっていくのはなぜか、考えを発表しましょう。 ★なぜ、「ほぞん会」の人々は、伝統野菜を守り、伝えようとしているのでしょうか。 3. 地域の伝統や文化を守り、伝えていくことの大切さを確かめ、そのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分たちが住んでいる地域では、どのような伝統野菜や郷土料理があるか、調べましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 国や地域の伝統と文化を守り伝えていくことの大切さに気づき、伝統と文化を大切にし、先人の努力を引き継ぐことの意義について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 国や地域の伝統や文化を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
適時	【しりょう】 おたがいの考え・意見をりかいし合う	適時	気持ちのいいコミュニケーションのとり方を知ることとおして、自分の気持ちを正しく伝えたり、相手のことを理解することの大切さに気づき、日常生活のさまざまな場面でコミュニケーション力を高めようとする実践意欲と態度を育てる。	【多面的・多角的に考える】 * 自他の考えや意見の伝え方について、多くの考え方にふれ、他者の理解を得られるような思いの伝え方について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 日常生活のさまざまな場面でコミュニケーション力を高め、相手の理解を得られるような思いの伝え方を自分との関わりで考えることができているか。	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
適時	学習をふり返ろう	適時		学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。	* 心に残った話(教材)とそれを選んだ理由をまとめることができるか。 * 一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。

他教科等との関連
—
生活、学級活動
生活、学級活動、挨拶運動
図画工作

他教科等との関連

生活、伝統文化教育

外国語活動、国際理解教育

社会

理科

国語、学級活動、係活動、情報モラル教育

—

他教科等との関連

学級活動

体育

総合的な学習

他教科等との関連

学級活動

学級活動

—

国語、社会

国語、家庭学習

他教科等との関連

体育、学校行事

総合的な学習

国語

他教科等との関連

学級活動、清掃活動

他教科等との関連

国語、理科

—

国語

総合的な学習、福祉教育

他教科等との関連

理科

総合的な学習、ボランティア活動

社会、国際理解教育

学級活動、食育

他教科等との関連

社会、伝統文化教育、地域行事

理科、総合的な学習、防災教育

社会、伝統文化教育

他教科等との関連

—

令和6年度版『小学道徳4 はばたこう明日へ』 年間指導計画・評価の視点表

○本表では、5・6・10・11・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。（「学習月」欄の「■」のところです。）
 ○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
4月	道徳で学習すること 道徳ではこんな学び方をするよ 道徳の学習をもっと広げよう	適時	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		*友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 *友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にできる態度で学習することができているか。
4月③	1 ここまでもどってこれた、今がとって幸せ ——池江 璃花子—— 「努力するすがたから感じるもの」 【D 感動、畏敬の念】	1	池江璃花子選手が、病を乗り越え目標を達成させた姿とおして、ひたむきに努力することに対する考えを深め、気高い姿に感動する心を大切にしようとする心情を育てる。	1. 努力することについて考える。 ○何か目標に向かって努力していることはありますか。また、努力を続けることが難しいと感じたことはありますか。 2. 『ここまでもどってこれた、今がとって幸せ』を読んで、努力する姿の美しさについて考える。 【考えよう】 ○レースのあと、池江選手の「なみだがあふれた」のは、どうしてでしょう。 ★池江選手が病気を克服し、オリンピックの代表選手に選ばれるまでに復活できたのは、どうしてでしょう。 3. 努力する姿の美しさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○目標に向かってがんばり、やり抜く姿を見ると、感動するのはどうしてでしょう。考えて話し合いましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *努力を続けることの大切さに気づき、努力する姿にどうして感動するのかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *努力する姿の美しさを理解し、その気高さに感動することのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。
	2 目覚まし時計 「自分でできることは自分で」 【A 節度、節制】	1	りかの心情と行動について話し合うことをとおして、自分でできることは自分ですることのよさや難しさに気づき、自分でできることは自分でしようとする心情を育てる。	1. 自立した生活について考える。 ○自分でできることを、増やすことができているか。 2. 『目覚まし時計』を読んで、自分でできることは自分ですることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が、今の自分が悲しくなったのは、どうしてでしょう。 ★「わたしのきまり」を守っていた「わたし」と、保健室のベッドで寝ている「わたし」の違いは何か、話し合いましょう。 3. 自分でできることは自分ですることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○このあと、「わたし」がよりよい生活を取り戻すためには、何が大切だと思いますか。話し合いましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分でできることは自分ですることの大切さに気づき、自分でできることを自分ですることのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分でできることを自分ですることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
	3 つながるやさしさ 「相手を思いやって」 【B 親切、思いやり】	1	しおりの気持ちや行動の変化について話し合うことをとおして、思いやりの気持ちをつなげることのよさに気づき、自分にできることを考えて親切にしようとする判断力を育てる。	1. 思いやりについて考える。 ○優しい人とは、どのような人でしょう。 2. 『つながるやさしさ』を読んで、思いやりの気持ちをつなげることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○泣いているくみちゃんを見て、しおりはどう思ったでしょう。 ★次の日、しおりがくみちゃんに声をかけたのはどうしてか、考えて発表しましょう。 3. 思いやりの気持ちをつなげることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○優しさが「つながる」とはどういうことか、考えて話し合いましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *思いやりの気持ちをもつことの大切さに気づき、思いやりをもって優しく接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *思いやりの気持ちをつなげていくことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
5月③	ユニット:じょうほうと向き合う				
	4 かわいくない? 「自分の気持ちを正しく伝える」 【A 正直、誠実】	1	千里がしたことの問題点と、このあとどうすればよいのかについて話し合うことをとおして、相手のことを考えた言葉づかいの大切さに気づき、誰に対しても誠実に接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 言葉の行き違いについて考える。 ○自分の言葉が誤解されてしまったことはありますか。 2. 『かわいくない?』を読んで、相手のことを考えた言葉づかいの大切さについて考える。 【考えよう】 ○美咲の様子がおかしくなったのは、どうしてでしょう。 ★「わたし」は、どうすればよかったのか、考えて話し合しましょう。 【やってみよう】 ○千里が美咲にメールで謝った次の日、二人はどのような話をしたでしょう。千里と美咲の役になって演じてみましょう。 3. 相手のことを考え、誠実に接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○インターネットで誰かとやりとりをするときに、気をつけることはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *相手のことを考えた言葉づかいの大切さに気づき、挨拶や言葉づかいなど、相手に対して誠実に対応することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *日常生活の中で、相手に対して誠実に接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	〈コラム〉 インターネットは便利だけれど	—	『かわいくない?』で学習したことを踏まえて、インターネットで誰かとやりとりをする際に注意すべき点について理解させる。		
6月④	ユニット:いじめをなくす				
	6 ほっとけないよ 「見て見ぬふりはしない」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	ゆかさんの気持ちをの変化について話し合うことをとおして、みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで働くこととする実践意欲と態度を育てる。	1. みんなのために働くことについて考える。 ○みんなのために働いている人は、どうしてかっこいいのでしょうか。 2. 『かっこいいせなか』を読んで、みんなのためにすすんで働くことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」は、どうして5・6年生の動きが気になったのでしょうか。 ★しょうさんの背中を見て、「ぼく」は何がかっこいいと思ったのでしょうか。 3. みんなのためにすすんで働くことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○みんなのために働くことの大切さについて、考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *みんなのために働くことのよさに気づき、すすんで働くことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *すすんで働くことのよさを理解し、みんなのために働くことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	7 プロレスごっこ 「いじめをゆるさない心」 【C 公正、公平、社会正義】	1	えみの行動とクラスの変化について話し合うことをとおして、誰に対しても差別したり、偏見をもったりすることなく、公正・公平に接しようとする判断力を育てる。	1. 友達に言い出せなかった経験がないか想起する。 ○友達に対しても、「言いづらいな」と感じたことはありますか。 2. 『ほっとけないよ』を読んで、正しい判断と行動をすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が、すぐにゆかさんに声をかけられなかった理由を話し合しましょう。 ★声をかけられなかった「わたし」と、声をかけた「わたし」の違いは何でしょう。 3. 正しい判断と行動をすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○正しいことをすると、どのような気持ちになりますか。また、正しいと思っていても、できないのはなぜでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *正しいと思ったことは自信をもって行うことの大切さに気づき、正しいと思ったことを行うことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *よいことと悪いことを判断して、正しいと思ったことを行うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
〈コラム〉 いじめをなくすためにできること	—	『ほっとけないよ』や『プロレスごっこ』で学習したことを踏まえて、いじめ問題の難しさに気づき、いじめをなくすためにどうすればよいかを考えさせる。			

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	8 雨のバスでいりゆう所で 「きまりがある理由」 【C 規則の尊重】	1	よしさんの行動について話し合うことをとおして、きまりを守ることの大切さに気づき、きまりを大切に生活していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. きまりについて考える。 ○きまりは、誰が決めたのでしょうか。 2. 『雨のバスでいりゆう所で』を読んで、きまりを大切に生活することの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○お母さんの横顔を見ていたよしさんは、何を考えていたのでしょうか。 【解決方法を考える①】 ○自分がよしさんだったら、どうしますか。考えを發表しましょう。 【解決方法を考える②】 ○どうすれば、このような問題はなくなると思えますか。 【考えたことを生かす】 ○日常生活に生かしたいことはありますか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *きまりの意義やきまりを守ることの大切さに気づき、きまりを守ることに ついて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *きまりを守ることの大切さについて、なぜ大切なのかを自分との関わりで考えることができているか。
7月②	9 どう言えばいいのかな 「相手のことを気づかして」 【B 礼儀】	1	いろいろな断る場面について体験的に学ぶことをとおして、相手を気づかして言葉を選ぶことの大切さに気づき、誰に対しても真心をこめて接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 言葉づかいや伝え方について考える。 ○伝え方をまちがえて失敗したことはありますか。 2. 『どう言えばいいのかな』を読んで、相手を気づかして言葉を選ぶことの大切さについて考える。 ○幸司が、良平に断る場面を演じてみましょう。 ○あさひが、真一に断る場面を演じてみましょう。 3. 真心をこめて接することの大切さについて確かめる。 ★断る返事をするときには、どのようなことに気をつけるといいでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *相手を気づかして言葉を選ぶことの大切さに気づき、誰に対しても真心をこめて接することについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *誰に対しても真心をこめて接することの大切さについて、役割演技をとおして自分との関わりで考えることができているか。
	10 守りたい自分のじょうほう 「自分のじょうほうを守る」 【A 節度、節制】	1	あきらの行動の問題点について話し合うことをとおして、自分で正しく判断することの難しさや自分のじょうほうを守ることの大切さに気づき、安全に気をつけてよく考えて行動しようとする判断力を育てる。	1. インターネットの利用と個人情報について考える。 ○自分には、どのような情報があるのでしょうか。 2. 『守りたい自分のじょうほう』を読んで、安全に気をつけることの大切さと難しさについて考える。 【考えよう】 ○あきらは、どうして怖くなったのでしょうか。 ★あきらは、どのようなことに気をつければよかったのか、考えて話し合しましょう。 3. 自分で正しく判断することの難しさや自分の情報を守ることの大切さを確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分の情報を守るために大切なことは何か、考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○普段の生活の中で、自分の情報を教える場面がありますか。そのときには、どのようなことに気をつけますか。話し合ってみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の情報を守ることの大切さと、正しい判断をすることの難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *安全に気をつけ、自分の情報を守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
9月③	11 心と心のあくしゅ 「本当のやさしさとは」 【B 親切、思いやり】	1	「心と心のあくしゅ」とはどういうことかについて話し合うことをとおして、本当の親切とは何かを考え、相手のことを思いやりとする判断力を育てる。	1. 親切にするとは何かについて考える。 ○「親切」って、どのようなことでしょうか。 2. 『心と心のあくしゅ』を読んで、本当の親切とは何かについて考える。 【考えよう】 ○おばあさんに声をかけた「ぼく」は、どのような気持ちだったでしょうか。 ★「声をかけたぼく」と「後ろをついて歩いたぼく」の、同じところと違うところはどこでしょうか。考えて話し合しましょう。 【やってみよう】 ○演じた人はどのようなことを思いましたか。見ていた人はどのようなことを感じましたか。發表してみましょう。 3. 親切な行いには、相手のことを思う気持ちが大切だということについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○親切にするときに、大切なことはなんでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *親切とは何かということについて理解を深め、相手のことを思って行動するとはどういうことか、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *相手のことを思いやる気持ちの大切さを理解し、すすんで親切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	12 また、試合しようね 「大切なれいぎ」 【B 礼儀】	1	よしあき君の話聞いて、「ぼく」がどう変わったのか話し合うことをとおして、礼儀の大切さに気づき、誰に対しても真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 礼儀について考える。 ○スポーツやゲームなどで誰かに勝ったとき、どう感じますか。 2. 『また、試合しようね』を読んで、真心をもって接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○よしあき君のお兄さんの話を聞いて、「ぼく」は何を考えたのか、話し合いました。 ★1か月後の試合のあと、「ぼく」はなぜ、「また、試合しようね。」と言ったのでしょう。 3. 相手のことを考えて礼儀正しく接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○相手の気持ちを考えて行動すると、どのようないいことがあるでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 礼儀の大切さに気づき、気持ちのいい接し方について、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 * 誰に対しても真心をもって接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。
	13 命 ——せいっぱい生きる—— 「大切な命」 【D 生命の尊さ】	1	由貴奈さんが考える「命」について話し合うことをとおして、一つしかない命の尊さに対する考えを深め、精いっぱい生きようとする心情を育てる。	1. 生きるということについて考える。 ○「せいっぱい生きる」って、どういうことでしょうか。 2. 『命』を読んで、生命の尊さについて考える。 【考えよう】 ○由貴奈さんの詩を読んで、心に残ったことはなんですか。発表しましょう。 ★由貴奈さんにとって「命」とはなんだったのか、考えて話し合いました。 3. 精いっぱい生きることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「せいっぱい生きる」とはどういうことか、自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 命の尊さに対する理解を深め、「生きること」や「命」について、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 * 命の大切さを理解し、「せいっぱい生きること」について、自分との関わりで考えることができていますか。
10月④■	14 だまっていればわからない 「正直でいることの大切さ」 【A 正直、誠実】	1	「ぼく」の立場になって演じてみて、体験的に学ぶことをとおして、正直であることの大切さに気づき、過ちや失敗は素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 過ちを犯したときのことを考える。 ○悪いことをしたのに、黙っていてどきどきしたことはありませんか。 2. 『だまっていればわからない』を読んで、過ちは素直に改めるといふことの大切さについて考える。 ○心の中の自分との話し合いを演じてみましょう。 ○「ぼく」になって、おばあさんに謝ってみましょう。 3. 正直に明るい心で生活することの大切さについて確かめる。 ★みんなが気持ちよく生活するためには、どのようなことに気をつけなければいいでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 正直に明るい心で生活することについて理解を深め、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 * 正直であることの大切さを理解し、うそや偽りのない明るい生活をしようとすることについて、役割演技をとおして自分との関わりで考えることができていますか。
	15 ティーボールのできごと 「自分のよさをのびす」 【A 個性の伸長】	1	「ぼく」が自分のよさに気づくことができた理由について考えることをとおして、自分の個性や長所に気づき、それを伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 長所について考える。 ○自分のよさや、友達のよさについて考えてみましょう。 2. 『ティーボールのできごと』を読んで、自分の個性や長所に気づき、それを伸ばすことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○どうして「ぼく」は自分の「よさ」について考えたのでしょうか。 ★どうして「ぼく」は自分の「よさ」を見つけることができたのか、話し合いました。 3. 個性や長所を伸ばすことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「ぼく」は、どうして自信をもてたのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自分の個性や長所に気づき、自分の個性や長所を伸ばすことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 * 自分の個性や長所を自覚し、積極的に伸ばしていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。
	16 泣いた赤おに 「友達を大切に」 【B 友情、信頼】	1	青おにが、赤おにのことを思っただけの行動や、それに気づいた赤おにの気持ちについて考えることをとおして、友達のことを思い、助け合っていくことのよさに気づき、友達と良い関係を築いていこうとする心情を育てる。	1. 友達について考える。 ○友達を大切にしていますか。 2. 『泣いた赤おに』を読んで、友達と助け合うことのよさについて考える。 【考えよう】 ○青おには、どうして赤おにのために協力したのか、考えて話し合いました。 ★赤おには、どうして涙を流したのでしょうか。考えを発表しましょう。 3. 友達と良い関係を築くことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○友達とよりよい関係をつくっていくためには、どのようなことが大切でしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達のことを思い、助け合っていくことのよさに気づき、友達と良い関係を築くためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 * 友達のことを大切にし、良い関係を築いていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができていますか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
11月④■	17 学校のれきし 「感謝の心」 【B 感謝】	1	ひかるたちの感謝の気持ちについて考えることをとおして、自分の生活がたくさんの人たちに支えられていることに気づき、生活を支えてくれている人たちに感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。	1. 感謝の気持ちについて考える。 ○人に「ありがとう」と言いたくなるときは、どのようなときですか。 2. 『学校のれきし』を読んで、自分の生活を支えてくれている人たちに感謝することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○学校や学校への歩道が、地域のかたがたの力で作られたものであることを知ったとき、教室中が大騒ぎになったのはどうしてでしょう。 ★みんなが、感謝の気持ちをいっぱいこめて挨拶したのは、どうしてでしょう。 3. 自分の生活を支えてくれている人たちに感謝することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○感謝の気持ちを伝えたい人はどのような人か、考えて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の生活が多くの人たちによって支えられていることに気づき、生活を支えてくれている人たちに感謝することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自分の生活を支えてくれる多くの人たちに感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	18 学校のじまんを大切に 「よりよい学校のために」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	学校の自慢を大切にしていきたいという「わたし」の思いについて話し合うことをとおして、自分の学校によさに気づき、よりよい学校をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 学校の自慢について考える。 ○みんなが思う、学校の自慢はなんですか。 2. 『学校のじまんを大切に』を読んで、よりよい学校をつくっていくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が傘をきれいに揃えて入れられない子に声をかけるようになったのは、どうしてでしょう。 ★校長先生のお話を思い出して、「わたし」はどのようなことを考えたでしょう。 3. みんなで協力し合って、よりよい学校やクラスをつくることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分たちのクラスの自慢にはどのようなことがあるか、考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○自分たちの学校をよりよくしていくために、どのようなことをしたいですか。発表してみよう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の学校によさに気づき、より楽しい学校をつくることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自分の学校によさを理解し、よりよい学校をつくっていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。
	19 絵はがきと切手 「友達だからこそ」 【B 友情、信頼】	1	「友達」に対するひろ子の母と兄の考え方の違いについて話し合うことをとおして、友達とのよりよい関係のあり方について考えを深め、友達と信頼し、助け合おうとする心情を育てる。	1. 友達を信頼することについて考える。 ○友達だからこそ、できることとはどのようなことでしょうか。 2. 『絵はがきと切手』を読んで、友達と信頼し、助け合うことによさについて考える。 【問題を見つける】 ○ひろ子は何に迷っていたのでしょうか。また、そのときの気持ちを考えて話し合しましょう。 【解決方法を考える①】 ○自分だったら、正子さん宛ての手紙をどのように書きますか。 【解決方法を考える②】 ○ひろ子の手紙を読んで、正さんはどう思うでしょう。 【考えたことを生かす】 ○友達とよい関係でいるために、何が大切なのでしょう。考えを発表しましょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *本当の友達というものに対する考えを深め、友達とよりよい関係を築くことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *友達と信頼し、助け合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
12月③	20 人によって態度を変えるのはだめ？ 「公正・公平な態度でせつする」 【C 公正、公平、社会正義】	1	人によって態度を変えることについて考えることをとおして、公平とは何かについて理解し、好き嫌いにとらわれず、公正・公平な態度でいるためにできることは何か、考えようとする判断力を育てる。	1. 公正・公平な態度について考える。 ○相手によって態度が変わる理由はなんだと思いますか。 2. 『人によって態度を変えるのはだめ？』を読んで、好き嫌いにとらわれず、分け隔てなく接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○人によって態度が変わってしまうのは、どのようなときか、発表しましょう。 ★好き、嫌いなどによって態度を変えてはいけないのは、どうしてでしょう。 3. 公正・公平な態度でいることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○人と接するとき、大切にしないといけないことは、どのようなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *公平とは何かについて理解を深め、公正・公平な態度でいるためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *分け隔てなく接することの大切さを理解し、公正・公平な態度で接することによさについて、自分との関わりで考えることができるか。
	＜コラム＞ ◆だれもが安心して生活できる社会に		『人によって態度を変えるのはだめ？』で学習したことを踏まえて、バリアフリーの設備やサポートの例を知り、自分の身のまわりでは、さまざまな立場の人も公平に、安心して生活できるような工夫がされていることに関心をもたせる。		

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	21 おばあちゃんとの思い出 「つながり、ささえ合う命」 【D 生命の尊さ】	1	つよしのおばあちゃんが残してくれたものについて話し合うことをとおして、命が周りの人に支えられていることに気づき、命を大切に生きていく心育を育てる。	1. 家族との思い出について考える。 ○大切にしている、家族との思い出はありますか。 2. 『おばあちゃんとの思い出』を読んで、命が周りの人によって支えられていることについて考える。 【考えよう】 ○おばあちゃんが亡くなったとき、つよしの涙が止まらなかったのはどうしてか、考えて話し合いましょう。 ★これからつよしは、どのようなときにおばあちゃんのことを思い出すでしょう。 3. 命を大切に生きていくことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○あなたを支えてくれる、大切な思い出はなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 命の大切さに気づき、命が周りの人によって支えられているということについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 自分の命は多くの人たちによって支えられているということについて、自分との関わりで考えることができるか。
	22 オムライス 「家族でささえ合う」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	「ぼく」に対するお母さんの思いについて考えることをとおして、家族みんなで協力し合うことのよさに気づき、家族と協力し合って楽しい家庭をつくらうとする心育を育てる。	1. 家族でささえ合うとはどういうことか考える。 ○「家族でささえ合う」とは、どのようなことでしょうか。 2. 『オムライス』を読んで、家族で協力し合うことのよさについて考える。 【考えよう】 ○たけるは、お父さんと夕飯を作ったり、洗濯物を畳んだりしながら、どのようなことを考えていたでしょうか。 ★お母さんとそうやが病院から帰ってきたとき、たけるはどうしたでしょうか。 3. 家族と協力し合って楽しい家庭をつくることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分にとって家族とはどのような存在ですか。また、これからどのように関わっていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 家族と協力し合うことのよさに気づき、家族への愛情や家族のよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 家族のよさについて理解し、家族と協力し合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
1月③	23 見方を変えて前向きに 「正しいことはむねをはって」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	「ぼく」がA君の行いに注意することができたのはなぜか考えることをとおして、正しいと判断したことは自信をもって行うことの大切さを理解し、自らもそうしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 正しいことを行うことの難しさについて考える。 ○正しいとわかっていても、できなかったことはありますか。 2. 『見方を変えて前向きに』を読んで、正しいことは自信をもって行うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○A君がその場にごみを捨てていたのを見て、「ぼく」はどうして注意できなかったのか、考えを發表しましょう。 ★「護美箱」の意味を知る前と、知った後で、「ぼく」のごみに対する考え方はどう変わったのでしょうか。 3. 正しいことは自信をもって行うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○どうして美しさを「護る」ことが大切なのでしょう、考えて話し合いましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 正しいと判断したことを行うことの大切さに気づき、自信をもって行うためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 正しいと判断したことは自信をもって行うことのよさを理解し、どのように実践していくか、自分との関わりで考えることができるか。
	24 ○○のくせに 「相手とわかり合って」 【B 相互理解、寛容】	1	実里と勇太の関係について考えることをとおして、相手のことを理解することの大切さに気づき、相手への理解を深めようとする心育を育てる。	1. 相手とわかり合うことについて考える。 ○「○○のくせに」と言われたことはありますか。 2. 『○○のくせに』を読んで、相手を理解することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○実里と勇太は、どうして仲直りができたのでしょうか。 ★どうして、「○○のくせに」がだめなのか、考えを發表しましょう。 3. 相手への理解を深めることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「○○のくせに」と言われたり、言ってしまうことがありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 相手のことを理解することの大切さに気づき、相互に理解し合ってよい関係を築くためにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 相手のことを理解することの大切さについて考え、よりよい関係を築くためにはどうしたらよいかについて、自分との関わりで考えることができるか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
ユニット: 日本のよさ 世界のよさ					
	25 赤飯 「日本の文化に親しむ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	日本の食文化である赤飯について考えることをとおして、わが国や郷土の文化について関心をもち、それらを大切にしていきたいという心情を育てる。	1. 赤飯について考える。 ○赤飯を食べたことはありますか。どのようなときに食べましたか。 2. 『赤飯』を読んで、わが国や郷土の文化を大切にすることのよさについて考える。 【考えよう】 ○赤飯が、今も食べ続けられているのはどうしてか、考えて話し合しましょう。 ★「わたし」は、赤飯が日本の伝統の食べ物だとわかって、どうしてうれしかったのでしょうか。 3. わが国や郷土の文化を大切にすることの重要性について、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○赤飯は、日本の伝統文化であって、同時に、地域によっていろいろな違いがあります。日本や地域の伝統の食べ物で、好きなものとその理由を発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 国や郷土の文化を大切にすることの重要性に気づき、それらを大切にすることはどういうことか、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 国や郷土の文化について考えを深め、どのように大切にしていこうかについて、自分との関わりで考えることができているか。
2月④	26 世界の子どもたちのために 「世界の人々に目を向けて」 【C 国際理解、国際親善】	1	マーサちゃんの行動について話し合うことをとおして、日本と他国の文化の違いがあることに気づき、世界の人々や文化への理解を深めようとする心情を育てる。	1. 世界の人々の暮らしについて考える。 ○日本とは違う、他の国の生活について、知っていることはありますか。 2. 『世界の子どもたちのために』を読んで、世界の国々に関心をもち、理解することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○マーサちゃんの行動の中で、特にすごいと思うところはどこか、考えを発表しましょう。 ★マーサちゃんはどうしてこのような行動をとることができたのでしょうか。 3. 世界の国々に関心をもち、理解することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○マーサちゃんから学んだことを、自分の行動にどのように生かしていけるか、考えて話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 世界を知ることの大切さに気づき、世界の国々を理解することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 世界を知ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
	〈コラム〉 世界のお祝い料理	—	『赤飯』や『世界の子どもたちのために』で学習したことを踏まえて、他国の文化に親しむことのよさを知ること、他国に対する理解や親しみをもち、あわせてわが国の文化への親しみを深めるとともに、わが国の文化を伝えていくことの大切さに気づかせる。		
	27 受けつがれてきた命 ——屋久島三代杉—— 「自然のすばらしさ」 【D 自然愛護】	1	屋久島三代杉の美しさや不思議さについて話し合うことをとおして、自然の偉大さに気づき、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	1. 自然のすばらしさについて考える。 ○自然の力を感じたことはありますか。それはどのようなときですか。 2. 『受けつがれてきた命』を読んで、自然のすばらしさを感じ取ることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」が、三代杉の幹に触れてみたときに感じた不思議な気持ちとは、どのような気持ちでしょうか。 ★三代杉のすばらしさについて話し合しましょう。 3. 自然を大切にすることの重要性について、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○身のまわりにある植物がもつ力のどのようなところが、すばらしいと思いますか。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自然や植物の美しさや不思議さに気づき、自然や植物のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 自然や植物のすばらしさを理解し、自然や植物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
	〈コラム〉 ◆日本の「世界自然遺産」		『受けつがれてきた命』で学習したことを踏まえて、世界自然遺産に登録されている日本の地域のことを知り、自然のすばらしさについて関心をもちさせる。		
	28 わかってくれてありがとう 「わかり合えるうれしさ」 【B 相互理解、寛容】	1	互いの考えを交流させた「わたし」とまささんとについて話し合うことをとおして、互いに理解し、尊重し合うことのよさに気づき、自他の意見を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 「わかり合うこと」について考える。 ○人とわかり合うためには、何が大切だと思いますか。 2. 『わかってくれてありがとう』を読んで、互いに理解し、尊重し合うことのよさについて考える。 【考えよう】 ○みんなが話を聞こうとしてくれなかったとき、「わたし」はどのような気持ちだったでしょうか。考えて話し合しましょう。 ★「わたし」が、もう一度発表したのは、どのようなことを考えたからでしょうか。 3. 互いに理解し、尊重し合うことのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○みんなとわかり合えるクラスにしていこうために、自分には何ができるでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達の意見を尊重することの大切さに気づき、自分と違う意見について理解することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 友達の意見を尊重することの大切さを理解し、互いにわかり合うために大切なことについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
3月②	29 ブラッドレーのせいきゅう書 「家族のためにできること」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	請求書にこめられたお母さんの思いについて話し合うことをとおして、家族の大切さに気づき、自分が家族のためにできることを考えて役立とうとする判断力を育てる。	1. 家族のためにしていることについて考える。 ○家族のために、どのようなことをしていますか。 2. 『ブラッドレーのせいきゅう書』を読んで、家族のためにできることについて考える。 【問題を見つける】 ○ブラッドレーは、どのような思いでお母さんのところへ走っていったのでしょうか。 【解決方法を考える①】 ○自分がお母さんの立場なら、ブラッドレーの書いた紙を見て、どう思うでしょうか。 【解決方法を考える②】 ○自分がブラッドレーなら、どうしますか。考えを発表しましょう。 【考えたことを生かす①】 ○家族とは、何でつながっているのでしょうか。 【考えたことを生かす②】 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族の大切さに気づき、家族のためにできることについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *家族の大切さを理解し、家族のために何ができるかについて、自分との関わりで考えることができていますか。
	30 ゆうびんの父 ——前島 密—— 「目標に向かってやりぬく」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	前島密のすごいところについて話し合うことをとおして、目標に向かってやり抜くことの大切さに気づき、自分の目標に向かって努力しようとする心情を育てる。	1. 郵便の仕組みについて考える。 ○手紙のやりとりをしたことはありますか。ポストに入れば、どこにでも届けてくれる「ゆうびんの仕組み」は、誰が作ったのでしょうか。 2. 『ゆうびんの父』を読んで、目標に向かって努力することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○佐々木荘助は、どうして前島密に協力することにしたのでしょうか。 ★新しい郵便の仕組みを作った密の、特にすごいところは、どこだと思いますか。 3. 目標に向かって努力することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○目標に向かってやり抜くために、大切にしたいことはなんですか。自分の考えを発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○密のように、目標に向かってがんばりたいことはありますか。	【多面的・多角的に考える】 *努力することの大切さに気づき、目標に向かって努力することについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *目標に向かってやり抜くことのよさについて、自分との関わりで考えることができていますか。
適時	31 十さいのプレゼント 「言葉では表しきれない感動」 【D 感動、畏敬の念】	1	プレゼントにこめられていた父の思いについて話し合うことをとおして、身のまわりに美しいものがあることや美しいものに感動することがあることに気づき、美しいものや気高いものに感動する心をもとうとする心情を育てる。	1. 感動した経験について想起する。 ○自然の美しさや不思議さに、驚いたり、感動したりしたことはありますか。 2. 『十さいのプレゼント』を読んで、美しいものや気高いものに感動することのよさについて考える。 【考えよう】 ○空の色がだんだん変わっていくのを見たとき、「わたし」はどのような気持ちだったのでしょうか。 ★お父さんは、どうして「わたし」にこのプレゼントをあげたかったのでしょうか。 3. 美しいものや気高いものに感動することのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自然の美しさなどを見て、心を動かされるのはどうしてでしょうか。美しいものに感動した体験を思い出して発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *美しいものや美しいものに感動することのよさに気づき、美しいものに感動する心について、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *身近な美しいものに感動することのよさについて、自分との関わりで考えることができていますか。
適時	32 いつも心に「ファイト！」 「ありがとうの気持ちをもって」 【B 感謝】	1	あきらが、自分を支えてくれている人たちに感じた感謝の気持ちについて考えることをとおして、日頃から世話をしてくれている家族や、生活を支えてくれている人々への感謝の気持ちを表そうとする心情を育てる。	1. 感謝の気持ちについて考える。 ○感謝の気持ちをもっている相手はいますか。 2. 『いつも心に「ファイト！」』を読んで、生活を支えてくれている人々に感謝の気持ちをもつことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」はどうして、「ありがとう。」と思ったのでしょうか。考えを発表しましょう。 ★「ぼく」はどうして変わったのでしょうか。 3. 生活を支えてくれている人々に感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分を支えてくれている人に対して、自分には何ができるか考えて、話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *感謝の気持ちをもつことに対して理解を深め、日頃から世話をしてくれている人々への感謝の気持ちを表すにはどうしたらよいかについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *日頃から、家族や身のまわりの人々に支えてもらっていることを理解し、身のまわりの人に感謝することについて、自分との関わりで考えることができていますか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
適時	33 日本人の手でオルガンを ——山葉 寅楠—— 「ねばり強くやりぬく」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	目標に向かってがんばる人や応援してくれる人について話し合うことをとおして、目標を実現するためには周りの人の励ましも大切であることに気づき、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	1. 努力して、つらさを感じた経験を想起する。 ○目標に向かってがんばっていたけれど、途中で諦めてしまったことはありますか。 2. 『日本人の手でオルガンを』を読んで、粘り強くやり抜くことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○山葉寅楠は、なぜ最後まで諦めることなく、オルガンを作り続けることができたのでしょうか。考えて話し合しましょう。 ★寅楠のような生き方を、どう思いますか。 3. 粘り強くやり抜くことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○がんばり続けるときに、大切なことはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○寅楠のように、努力を続けていきたいことはありますか。考えてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 努力することの大切さに気づき、目標達成のために支え合うことのおよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 目標実現のために他者と関わり合いながら向上していくことのおよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	34 タイガとココア 「生き物を大切にすること」 【D 自然愛護】	1	タイガとココアの姿や動物園の職員の思いについて話し合うことをとおして、動物の命のいとおしさに気づき、動物を大切にしようとする心情を育てる。	1. 自然や動植物について考える。 ○自然や動植物の大切さを感じたことはありますか。それはどのようなときでしたか。 2. 『タイガとココア』を読んで、自然や動植物を大切にすることのおよさについて考える。 【考えよう】 ○教材を読んで、「いいな、すごいな。」と思ったところを発表しましょう。 ★どうして多くの人が、タイガとココアを大事にしたのでしょうか。 3. 自然や動植物を大切にすることのおよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自然や動物を大切にするために、自分ができることはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自然や動植物を大切にすることのおよさに気づき、自然や動植物のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 自然や動植物のすばらしさを理解し、自然や動植物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	35 やっべし 「地いきでのふれ合いを大切に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	東日本大震災後にボランティアに行った「先生」の体験と思いについて話し合うことをとおして、地域を大切にすることのおよさに気づき、伝統と文化を大切にしようとする心情を育てる。	1. 地域との交流について考える。 ○自分の住んでいる地域の活動に参加したことはありますか。 2. 『やっべし』を読んで、地域の伝統や文化を大切にすることのおよさについて考える。 【考えよう】 ○ボランティア体験を終えたとき、先生はどのようなことを考えていたのでしょうか。 ★ボランティア体験をきっかけに、先生が変わったのはなぜか、話し合しましょう。 3. 地域の伝統や文化を大切にすることのおよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○先生がいちばん伝えたかったことはなんでしょう。考えてまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○最近ではどこでどのようなボランティアが活躍していますか。調べてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 郷土や伝統・文化を守ることのおよさに気づき、郷土や伝統・文化を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * わが国や郷土を愛し、地域を大切にすることのおよさについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	【資料】 節度をもって、落ち着いた行動を	適時	いらいらした気持ちをそのまま人にぶつけることで、相手を嫌な気持ちにさせてしまわないよう、気持ちを落ち着かせて行動することの大切さを理解し、日常生活のさまざまな場面に生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。		【多面的・多角的に考える】 * 気持ちを落ち着かせて行動することのおよさに気づき、自分の気持ちをコントロールすることのおよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 気持ちを落ち着かせて行動することの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
適時	学習をふり返ろう	適時	学期末・学年末に道德の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。		* 心に残った話(教材)とそれを選んだ理由をまとめることができるか。 * 一年間の道德の学習をおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて考え、まとめることができるか。

他教科等との関連
-
体育
体育
-

他教科等との関連

学級活動、情報モラル教育

—

学校行事(運動会)

学級活動

学級活動

—

他教科等との関連

—

—

情報モラル教育

総合的な学習

他教科等との関連

—

国語、理科

—

体育

国語

他教科等との関連

学級活動、防災教育

学級活動

国語、書写

福祉教育

他教科等との関連

—

—

—

体育

他教科等との関連

体育、外国語活動、伝統文化教育、食育

総合的な学習、国際理解教育

社会

理科

理科、社会

学級活動

他教科等との関連

—

社会

国語

社会参画教育

他教科等との関連

社会、音楽

—

総合的な学習、防災教育、伝統
文化教育、地域行事

—

—

令和6年度版『小学道徳5 はばたこう明日へ』 年間指導計画・評価の視点表

2023年9月

○本表では、5・6・10・11・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。(「学習月」欄の「■」のところです。)
○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
4月	道徳で学習すること 道徳ではこんな学び方をするよ 道徳の学習をもっと広げよう	適時	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることをとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		*友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 *友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。	—
4月③	1 今度こそ！ 「責任ある行動とは」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	集会委員会での失敗から「ぼく」が学んだことについて考えることをとおして、自由と自分勝手の違いを理解し、自他の自由を尊重しつつ責任ある行動をとろうとする判断力を育てる。	1. 責任をもつということについて考える。 ○自分の行動に責任をもつとは、どういう意味でしょう。 2. 『今度こそ！』を読んで、自由と責任の大切さについて考える。 【考えよう】 ○自分の他にもリハーサルに来ていない人がいたことを知ったとき、「ぼく」はどのようなことを考えていたでしょう。 ★次の集会が大成功だったのは、「ぼく」がどのようなことに気づいたからでしょう。 3. 自由と自分勝手の違いを理解し、責任ある行動をとることの大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自由を優先してしまっ、責任ある行動をとれなかったことはありますか。また、そのときの自分にアドバイスするとしたら、どのような言葉をかけたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○責任ある行動をとることについて、高学年として、これからどのような場面で、どのように生かしていきたいですか。	【多面的・多角的に考える】 *自由と自分勝手の違いに気づき、責任ある行動をとるためにはどうすればよいかということについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自由と自分勝手の違いを区別して、責任ある行動をとることの大切さを理解し、任された役割を責任をもってやり遂げることについて、自分との関わりで考えることができているか。	特別活動、児童会活動
	2 たからもの 「自分のよさを見つめて」 【A 個性の伸長】	1	自分のよいところに気づき、自信を取り戻していく「わたし」の姿について考えることをとおして、自分の長所を知り、それを伸ばすことへの考えを深め、自信をもって前向きに生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分のよさについて考える。 ○自分の長所と短所はどんなところでしょう。 2. 『たからもの』を読んで、自分の長所について考える。 【考えよう】 ○算数のノートを放り投げたとき、「わたし」はどのような気持ちだったでしょう。 ★5冊の日記帳を読んだ「わたし」の心の中のもやもやが晴れていったのは、「わたし」がどのようなことに気づいたからでしょう。 3. 長所を伸ばしていく大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分の長所を伸ばしていくと、どのようなよいことがあるのでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○友達にはどのような「よいところ」がありますか。グループの中でお互いに伝え合ってみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の長所と短所に気づき、短所を改め長所を伸ばしていくにはどうしたらよいかということについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分の長所と短所を理解し、短所を改め長所を伸ばしていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動
	3 場面に合わせたあいさつ 「心のこもったあいさつ」 【B 礼儀】	1	病院や学校の廊下などでの挨拶のしかたを体験的に学ぶことをとおして、場面に応じた挨拶をすることの大切さに気づき、真心をもって礼儀正しく挨拶する実践意欲と態度を育てる。	1. 場面による挨拶の違いについて考える。 ○場面によって、挨拶のしかたが変わるのでしょうか。 2. 『場面に合わせたあいさつ』を読んで、場面に合わせて挨拶をすることの大切さについて考える。 ○病室での挨拶をしてみましょう。 ○廊下で笑いながら話をしている校長先生とお客さんに、挨拶をしてみましょう。 ○廊下で大切そうな話をしている校長先生とお客さんに、挨拶をしてみましょう。 3. 場面に合わせて挨拶をすることの大切さについて確かめる。 ★場面によって、挨拶の仕方が変わるのなぜか、考えてみましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *場面に合わせた挨拶をすることの大切さに気づき、真心をもって礼儀正しく挨拶することについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *場面に合わせた挨拶をすることを理解し、真心をこめて礼儀正しく挨拶することについて、自分との関わりで考えることができているか。	学校行事、挨拶運動

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
5月③	4 よさこいソーラン祭り 「郷土の人を元気に」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	「ぼく」が自分の町を誇りに思う気持ちについて話し合うことをとおして、日本や地域の伝統や文化を受け継ぐことの大切さに気づき、その文化を発展させようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 郷土に受け継がれている伝統や文化について考える。 ○みんなが住むところでは、どんな祭りがあるでしょう。 2. 『よさこいソーラン祭り』を読んで、郷土に受け継がれる行事や文化を受け継いでいくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○どうして「ぼく」とつとむさんは、6月には札幌の「よさこいソーラン祭り」、夏休みには高知の「よさこい祭り」を一緒に見に行こうと約束したのでしょう。 ★「ぼく」が「よさこいソーラン祭り」がある札幌に住んでいることをうれしく思ったのは、どうしてでしょう。みんなで話し合ひましょう。 3. 郷土に受け継がれている伝統や文化の大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○日本や地域の伝統、文化を受け継ぐときに大切にしたいことはどのようなことか、自分の考えをまとめよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○日本や自分たちの住む地域に、昔から受け継がれている祭りはありますか。その祭りの歴史などを調べてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 国や郷土に受け継がれている伝統や文化の大切さに気づき、それらを受け継いでいくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 国や郷土に受け継がれている伝統や文化を理解し、それらを受け継ぐことについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、伝統文化教育、地域行事
	5 位置について！ 「公正・公平な態度で」 【C 公正、公平、社会正義】	1	大輔が練習しているところを見て考えを変える「ぼく」と信二について話し合うことをとおして、差別したり、偏見をもったりしないようにすることの大切さに気づき、公正・公平に接しようとする判断力を育てる。	1. 公正・公平な態度について考える。 ○どんな人にも、公正・公平な態度で接することができるのでしょうか。 2. 『位置について！』を読んで、公正・公平な態度で人と接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」と信二が、思わず顔を見合わせたのはどうしてでしょう。 ★大輔に対して不満だった「ぼく」と信二が、最後に大きな声で応援したのはどうしてでしょう。 3. 公正・公平な態度で接することの大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「ぼく」と信二のように、人に対して、見方や考え方が変わったことはありますか。それはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 誰に対しても差別したり、偏見をもったりしないことの大切さに気づき、公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 誰に対しても差別することや偏見をもつことのないようにすることを理解し、公正・公平な態度で接することについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動、法教育、福祉教育
6月④	6 公益のために生きる —— 渋沢 栄一 —— 「生き方を見つめて」 【D よりよく生きる喜び】	1	公共の発展のために力を尽くした渋沢栄一の生き方について話し合うことをとおして、よりよく生きようとする人の強さや気高さに気づき、夢や希望をもって生きようとする心情を育てる。	1. 日本のために力を尽くした人の生き方から学ぶ。 ○「公益のために生きる」って、どういうことでしょう。 2. 『公益のために生きる』を読んで、みんなのために生きようとする人の気高さについて考える。 【考えよう】 ○渋沢栄一が、多くの事業で成功したのはどうしてでしょう。 ★栄一の生き方からどのようなことを学び、どのようなことを考えましたか。 3. みんなのために生きることの大切さについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○栄一の生き方から学んだことを、自分の生活にどのように生かしたいと思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 人間の強さや気高さを、誇りある生き方や他の諸価値の視点から捉え直し、喜びのある生き方について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * よりよく生きようとすることを理解し、夢や希望をもって生きることについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、キャリア教育、福祉教育
	＜コラム＞ ◆ 渋沢栄一ゆかりの地		『公益のために生きる』で学習したことを踏まえて、渋沢栄一に関する施設にはどのようなものがあるのかについて知り、渋沢栄一の生き方や渋沢栄一が残した貴重な足跡を理解させる。			社会
ユニット：いじめをなくす						
	7 言葉のおくりもの 「みんなで力を合わせて」 【B 友情、信頼】	1	周囲の声などに左右されずに人と接するすみ子や態度を変えてしまう一郎について話し合うことをとおして、友達と互いにわかり合い、関係を築いていくことの大切さに気づき、互いに助け合い、友情を深め合っていくこととする心情を育てる。	1. 友達の大切さについて考える。 ○友達のいいところを紹介し合ひましょう。 2. 『言葉のおくりもの』を読んで、友達を信頼し、助け合うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○すみ子の考えについて、どのように思いますか。 ★すみ子の「言葉のおくりもの」のあと、一郎はすみ子に対してなんと話しかけるでしょう。 3. 友達を信頼し、助け合うことについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○みんなが力を合わせていけるようになるためには、どのようなことが大切でしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達と互いにわかり合うことの大切さに気づき、互いに助け合い友情を深め合っていくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 友達と互いにわかり合うことを理解し、互いに助け合い友情を深め合っていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。	学級活動

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	8 SNSいじめ 「あなたならどうする」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	いじめを受けて「わたし」の姿について話し合うことをとおして、自律的に判断することの大切さに気づき、自分で判断して行動しようとする心情を育てる。	1. SNSについて考える。 ○SNSのいいところって、なんでしょう。 2. 『SNSいじめ』を読んで、いじめられているときにはどのような判断をすればよいかについて考える。 【考えよう】 ○「わたし」が先生や親に相談できなかったのは、どのような気持ちからだったのでしょうか。 ★このようなことが起こったとき、誰かに相談するとよいのはなぜでしょう。話し合ってから発表しましょう。 3. いじめを受けている人がいるときには、どのような判断をすればよいかを自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分が「わたし」から相談されたとしたら、どうしますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自律的に判断することの大切さに気づき、自分で判断して行動することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 自律的に判断することを理解し、自分で判断して行動することについて、自分との関わりで考えることができているか。	総合的な学習、学級活動、児童会活動、情報モラル教育
	〈コラム〉 ひとりがかかえこまないで！	—	『言葉のおくりもの』や『SNSいじめ』で学習したことを踏まえて、「いじめ」で悩んでいるときは、できるだけ早く、誰かに相談することが大切であることを理解させる。			特別活動
7月②	9 横浜港のガンマンの思い 「みんなのために働く」 【C 勤労、公共の精神】	1	仕事に対する上坪茂さんの考え方について話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づき、公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	1. みんなのために働くということについて考える。 ○学校の係や委員の仕事をするとき、どう取り組んでいるでしょう。 2. 『横浜港のガンマンの思い』を読んで、みんなのために働くことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○上坪茂さんが、作業が一時中止したときに「気長に待つか」と言えるようになったのは、どのようなことに気づいたからでしょう。 ★仕事に対する上坪さんの考え方にふれて、どのようなことを考えましたか。 3. みんなのために働くということについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○働くことの大切さとはなんでしょう。みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○自分は将来、どのような仕事に就き、どのように仕事をしたいと思いますか。就きたい仕事について、いろいろ調べてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 働くことの大切さに気づき、公共のために役に立つことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 仕事に対する考え方を話し合うことをとおして、働くことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、キャリア教育
	10 参考にするだけなら 「自分の心に正直に」 【A 正直、誠実】	1	知子さんの行動や心情について話し合うことをとおして、うそやごまかしをせず正直に生活することの大切さに気づき、誠実に生きる心で生活しようとする判断力を育てる。	1. 正直にしていることについて考える。 ○うそやごまかしをして、そのあと正直に言い出しにくくなってしまったとき、どうしますか。 2. 『参考にするだけなら』を読んで、正直にしていることの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○知子さんのしたことの問題は、どこにあるでしょう。 【解決方法を考える①】 ○知子さんがベッドの上で想像している二通りの姿について、どのように思いますか。 【解決方法を考える②】 ○自分が知子さんだったら、このあとどのようにしますか。みんなで話し合しましょう。 【考えたことを生かす】 ○うそをつかずに、正直に生きていくために、自分はこれからどのようなことに気をつけたいですか。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * うそやごまかしをせず正直にしていることの大切さに気づき、誠実に生きる心で生活することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * うそやごまかしをせず正直にしていることを理解し、誠実に生きる心で生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。	国語、法教育、読書感想文
9月③	11 わたしにできることを 「家族のためにできること」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	おじいちゃんへの「わたし」の思いについて話し合うことをとおして、家族に対する敬愛を深めること大切さに気づき、家族の幸せのためにすすんで役に立とうとする心情を育てる。	1. 家族のためにできることについて考える。 ○みんなが家族のためにやっていることはありますか。 2. 『わたしにできることを』を読んで、家族のためにできることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○おじいちゃんに頭をなでてもらったとき、「わたし」の目から自然と涙があふれ出たのはどうしてでしょう。 ★「わたし」は、どのような思いでおじいちゃんに話しかけているのでしょうか。 3. 家族のためにできることについて確かめ、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分が家族のためにしたいことは、どのようなことですか。また、それはどうしてですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 家族に対する敬愛を深めることの大切さに気づき、家族の幸せのためにすすんで役に立とうすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 家族に対して敬愛の念をもち、家族の幸せのためにすすんで役に立とうすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	福祉教育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	12 図書館はだれのもの 「自他の権利を大切に」 【C 規則の尊重】	1	みんなの態度や「わたし」の気持ちについて話し合うことをとおして、きまりやマナーの意義に気づき、自他の権利を尊重し義務を果たそうとする実践意欲と態度を育てる。	1. きまりを守るについて考える。 ○知らず知らずのうちに、きまりを破ってしまっていることってないでしょうか。 2. 『図書館はだれのもの』を読んで、きまりを守ることの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○「わたし」は、何を言おうかと迷っているのでしょうか。また、それはどうしてでしょう。 【解決方法を考える①】 ○自分が「わたし」だったら、このあとどのようにしますか。みんなで話し合しましょう。 【解決方法を考える②】 ○誰もが図書館を気持ちよく利用するために、どのようなことが大切なのでしょう。 【考えたことを生かす】 ○身のまわりにあるきまりは、なんのために作られているのか考えましょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *きまりやマナーを守ることの大切さに気づき、自他の権利を尊重し、義務を果たすことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *きまりやマナーを理解し、自他の権利を尊重し義務を果たすことについて、自分との関わりで考えることができるか。	学級活動
	13 稲むらの火 「大切な命を守る」 【D 生命の尊さ】	1	村人を救おうとして行動する五兵衛について話し合うことをとおして、命の大切さに気づき、かけがえのない命を守り、尊重しようとする心情を育てる。	1. 命について考える。 ○人の命を守ったり、救ったりすることに力を尽くした人を知っていますか。 2. 『稲むらの火』を読んで、命の大切さについて考える。 【考えよう】 ○津波が来るとわかったとき、五兵衛はどのようなことを考えたでしょう。 ★五兵衛はどのようなことを考えながら、高台に上がってくる村人の数を数えたのでしょうか。 3. 命の大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分が五兵衛だったら、どのような行動をとったと思いますか。みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *生命をさまざまな視点から捉え、かけがえのない命を守り尊重することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *生命の尊さを理解し、かけがえのない命を守り尊重することについて、自分との関わりで考えることができるか。	学校行事、防災教育
10月④■	14 二億人を救った化学者——大村 智—— 「探究心をもち続ける」 【A 真理の探究】	1	大村先生の生き方について話し合うことをとおして、探究心をもち続けることの大切さに気づき、真理を追究していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 探求するということについて考える。 ○「二億人を救った」とは、どういう意味でしょう。 2. 『二億人を救った化学者』を読んで、物事を探求しようとする心をもつことについて考える。 【考えよう】 ○研究者となり、自分も泥をかぶる覚悟で新しい物質を発見する仕事をしようと思いついたとき、大村智先生はどのような気持ちだったでしょう。 ★どうして大村先生はイベルメクチンを開発することができたのでしょうか。みんなで話し合しましょう。 3. 探究心をもち続けることのよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○大村先生の生き方から学んだことはどのようなことですか。また、これからの生活の中で生かしてみたいと思ったのはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *探究心をもち続けることの大切さに気づき、真理を追究していくことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *探究心をもち続けることを理解し、真理を追究していくことについて、自分との関わりで考えることができるか。	理科、キャリア教育
	〈コラム〉 ◆未来をになう子どもたちに ◆未来の自分のために今できることを		『二億人を救った化学者』で学習したことを踏まえて、身のまわりのいろいろな物事に興味や関心をもつこと、それらを追究していくことの大切さについて理解させる。			理科、社会
	15 わたしとあなたの「ふつう」はちがう 「公正・公平な社会とは」 【C 公正、公平、社会正義】	1	みんなが感じている「ふつう」について考えることをとおして、一人一人の違いを理解して尊重することの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接する実践意欲と態度を育てる。	1. 「公正・公平」について考える。 ○ふだんの生活で、「公平」だと感じるのは、どんなときでしょう。 2. 『わたしとあなたの「ふつう」はちがう』を読んで、誰に対しても公正・公平な態度でいることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○自分の「ふつう」と、他の人の「ふつう」が違うと感じたことはありますか。 ★みんながそれぞれの違いを尊重して生きるために大切なことは、どのようなことでしょうか。 3. 公正・公平な態度でいることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○みんなが幸せに生きる社会を実現するために、どのようなことを大切にしたいと思いませんか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *誰でも一人一人に違いがあることに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *誰でも一人一人が違うことを理解し、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、総合的な学習
〈コラム〉 ◆バリアフリーな社会へ		『わたしとあなたの「ふつう」はちがう』で学習したことを踏まえて、一人一人の立場や事情の違いを考え、誰もが安心して生活していける社会をみざして、「心のバリアフリー」化を進めることの大切さを理解させる。			社会、総合的な学習	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	16 森の絵 「自分の役割を考えて」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	えり子さんの考え方の変化について話し合うことをとおして、クラスや学校で役割を果たすことの大切さに気づき、自分の役割を自覚しながらみんなで協力し合ってよりよいクラスや学校をつくらうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の役割について考える。 ○自分は、クラスや学校の中で、どんな役割を果たしているでしょう。 2. 『森の絵』を読んで、自分の役割の大切さについて考える。 【考えよう】 ○えり子さんの考え方は、どのように変化したのでしょうか。 ★えり子さんの考え方は、どうして変わったのでしょうか。 3. 自分の役割を果たすことの大切さについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○クラスや学校で自分の役割を果たしていくときに、どのようなことに気をつけていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○クラスの中で、自分の役割をしっかりと果たしている人に感謝の手紙を書いてみましょう。書いた手紙は相手に渡しましょう。	【多面的・多角的に考える】 *クラスの中で自分が果たすべき役割などに気づき、役割を自覚しながらみんなで協力し合ってよりよいクラスなどをつくることについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *クラスの中で自分が果たすべき役割を理解し、役割を自覚しながらみんなで協力し合ってよりよいクラスなどをつくらうことについて、自分との関わりで考えることができていますか。	学級活動、学習発表会
11月④■	17 ルールを守る 「法やきまりを守って」 【C 規則の尊重】	1	日常生活の場面における「わたし」の言動を体験的に学ぶことをとおして、ルールやマナーの意義や大切さに気づき、すすんでそれらを守らうとする判断力を育てる。	1. 法やきまりの大切さについて考える。 ○「少しぐらいいいだろう」と思って、ルールを守らなかったことはないでしょうか。 2. 『ルールを守る』を読んで、ルールを守ることの大切さについて考える。 ○「ぼく」を演じてみましょう。 ○「わたし」とお母さんになって、二人のやりとりを演じてみましょう。 3. ルールを守ることの大切さについて確かめる。 ★ルールを守って生活することの大切さについて、話し合ってみましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *場面に合わせたルールやマナーを守ることに大切さに気づき、すすんでそれらを守らうすることについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *場面に合わせたルールやマナーを守ることを理解し、すすんでそれらを守らうすることについて、自分との関わりで考えることができていますか。	学級活動、法教育
ユニット: 人と人がみとめ合う社会						
	18 モントゴメリーのバス 「差別のない社会へ」 【C 公正、公平、社会正義】	1	パークスさんの行動やキング牧師がボイコット運動を続けた理由について話し合うことをとおして、差別をしないことや偏見をもたないようにすることの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接しようとする判断力を育てる。	1. 差別について考える。 ○差別をなくすには、どうしたらいいでしょう。 2. 『モントゴメリーのバス』を読んで、差別をなくすにはどうしたらよいかについて考える。 【考えよう】 ○席を立たなかったパークスさんをどのように思いますか。また、どうしてそのように思いますか。 ★バスのボイコット運動を続けたキング牧師をどのように思いますか。また、どうしてそのように思いますか。 3. 差別をなくすことについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○差別のない社会を実現するために、自分が大切にしたいことはなんですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *差別をしないことや偏見をもたないことの大切さに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *差別をしないことや偏見をもたないことの大切さを理解し、誰に対しても公正・公平な態度で接することについて、自分との関わりで考えることができていますか。	社会、人権教育
	〈コラム〉 現代社会にも残る差別の問題	—		『モントゴメリーのバス』で学習したことを踏まえて、誰もが自由に安心して生活できる社会を実現していくために、決して差別をしない・させないようにすることが大切であることを理解させる。		社会、総合的な学習
	19 ロレンゾの友達 「本当の『友情』とは」 【B 友情、信頼】	1	アンドレ、サバイユ、ニコライの3人のそれぞれの「友達」に対する考え方の違いについて話し合うことをとおして、友情の大切さに気づき、友達と互いに信頼し合って友情を育もうとする心情を育てる。	1. 友情について考える。 ○誰かを友達だと感じるの、どんなときでしょう。 2. 『ロレンゾの友達』を読んで、本当の「友情」について考える。 【考えよう】 ○もし夜中にロレンゾが訪ねてきたらどうするかということに対して、3人の考え方はどのように違っていたでしょう。 【やってみよう】 ○ロレンゾが訪ねてきたら、三人はどのように話すでしょう。それぞれの役を演じて、3人がそう話す理由を考えてみましょう。 ★3人の考え方のうち、自分の考え方にいちばん近いものはどれでしょう。その理由も考えましょう。 3. 本当の「友情」について確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○本当の「友情」とは、どのようなものでしょう。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *友情の大切さに気づき、友達と互いに信頼し合って友情を育むことについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *友情について理解し、友達と互いに信頼し合って友情を育むことについて、自分との関わりで考えることができていますか。	国語

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
12月③	20 お父さんのすがたから 「感謝の気持ちを伝えるには」 【B 感謝】	1	餅つき大会の準備で一生懸命に働くお父さんの姿やそれを見る「ぼく」について話し合うことをとおして、感謝の気持ちを表すことの大切さに気づき、自分の生活を支えてくれている人たちに対して、すすんで感謝しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 感謝するということについて考える。 ○日頃、どんな人たちが、みんなの生活を支えてくれているか考えましょう。 2. 『お父さんのすがたから』を読んで、感謝の気持ちを伝えることよさについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」がいつも以上に大きな声で「いただきます。」と言ったのは、どうしてでしょう。 ★お父さんは、どのような思いで餅つき大会の手伝いをしていたのでしょう。 3. 感謝の気持ちを伝えることよさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分の生活を支えてくれている人々に対して、どのようなことができるか考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *身のまわりの人たちに感謝の気持ちを表すことの大切さに気づき、自分の生活を支えてくれている人たちにすすんで感謝しようとすることについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *身のまわりの人たちに感謝の気持ちを表すことを理解し、自分の生活を支えてくれている人たちにすすんで感謝しようとすることについて、自分との関わりで考えることができていますか。	特別活動、社会参画教育、学校行事
	21 トキのまう空 「自然を大切に」 【D 自然愛護】	1	近辻宏婦さんを取材した「わたしたち」が、自然環境を守るためにやるべきことをどのように考えたかについて話し合うことをとおして、自然環境を守る大切さに気づき、自然と調和しながら生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自然を大切にすることについて考える。 ○トキの保護と自然環境保護の関係について考えてみましょう。 2. 『トキのまう空』を読んで、自然環境を守る大切さについて考える。 【考えよう】 ○トキを自然に帰すために活動し続けた近辻宏婦さんを支えていたのは、どのような思いでしょう。 ★取材を終えた「わたしたち」は、環境を守るということについてどのように考えているでしょう。 3. 自然環境を守る大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○環境を守るために自分たちができることは、どのようなことでしょうか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *一度失われた自然環境を取り戻すには困難が伴うことに気づき、環境保護の大切さについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *身のまわりの自然環境を守ることを理解し、自然を守って生活することについて、自分との関わりで考えることができていますか。	理科、自然環境保全教育
ユニット: 情報と向き合う						
1月③	22 ネット上の友達 「節度を守って安全に」 【A 節度、節制】	1	インターネットの世界と現実でのさやかかの行動について話し合うことをとおして、節度を守って安全に生活することの大切さに気づき、自分の生活を見直ししながら、安全に生活しようとする判断力を育てる。	1. インターネットを使うときの注意点などについて考える。 ○スマートフォンやパソコンを使うとき、家の人とどんなルールを決めているでしょう。 2. 『ネット上の友達』を読んで、インターネットを活用しながら、節度を守って安全に生活することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○さやかかの行動の問題となる点について、みんなで話し合しましょう。 ★さやかにアドバイスをするとしたら、どのようなアドバイスをしますか。 3. インターネットを活用しながら、節度を守って安全に生活することについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○さやかかの行動から、今後気をつけていきたいと考えたことはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *節度を守って安全に生活することの大切さに気づき、自分の生活を見直ししながら、安全に生活することについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *節度を守って安全に生活することを理解し、自分の生活を見直ししながら安全に生活することについて、自分との関わりで考えることができていますか。	総合的な学習、学級活動、情報モラル教育
	〈コラム〉 インターネットの落としあな	—	『ネット上の友達』で学習したことを踏まえて、インターネットを活用する際の危険性に気づき、注意して活用していく必要があることを理解させる。			総合的な学習
1月③	23 パール富士のかがやき 「大自然の美しさにふれて」 【D 感動、畏敬の念】	1	自然が作り出す美しさにふれた「わたし」の気持ちについて考えることをとおして、人間の力を超えたものに対する理解を深め、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりする心を大切にしようとする心情を育てる。	1. 身のまわりの自然やそれ以外のもの美しいものについて考える。 ○「美しいもの」として思い浮かぶのは、どのようなものでしょう。 2. 『パール富士のかがやき』を読んで、自然の美しさについて考える。 【考えよう】 ○寒さの中、「わたし」はどのような思いで月が昇るのを待っていたのでしょう。 ★シャッターを切るのも忘れて「パール富士」を見ていた「わたし」は、どのような気持ちだったでしょう。 3. 自然の美しさについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「自然の美しさ」に出合って感動した経験について、みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *美しいものに感動することの大切さに気づき、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりすることについて、多面的・多角的に考えることができていますか。 【自分のこととして考える】 *美しいものに感動することよさを感じ取り、美しいものや気高いものに感動したり、畏敬の念をもったりすることについて、自分との関わりで考えることができていますか。	理科
	〈コラム〉 ◆大自然の造形美	—	『パール富士のかがやき』で学習したことを踏まえて、大自然が作り出すさまざまな造形美に気づき、その美しさや気高さに感動する心を理解させる。			社会、理科

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
ユニット：自然を大切に作る						
	24 食品ロスをどう防ぐ？ 「生活を見直してむだをなくす」 【A 節度、節制】	1	生活を見直し、無駄をなくすことについて話し合うことをとおして、節制をすることの大切さに気づき、すすんで節度を守り節制を心がけようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 無駄をなくすことについて考える。 ○これまでの生活で「もったいない」と感じたのはどんなことでしょうか。 2. 『食品ロスをどう防ぐ？』を読んで、生活を見直し、節制をすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○112ページの三つの絵を見て、考えたことや感想を話し合ひましょう。 ★食品ロスを減らす取り組みに共通しているのは、人々のどのような思いなのでしょう。 3. 生活を見直し、節制をすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○食品ロスを減らすために、自分にできることはなんでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 節制をすることの大切さに気づき、すすんで節度を守り節制を心がけることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 節制をすることを理解し、すすんで節度を守り節制を心がけることについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、体育、食育
	25 一木一石運動 ——自然保護活動のさきがけ—— 「みんなで自然を守る」 【D 自然愛護】	1	一木一石運動の成果について話し合うことをとおして、自然環境を守ることの意義や大切さに気づき、自然を大切に生活しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自然環境を守ることに考える。 ○自分たちが住んでいるところには、どんな自然があるでしょう。 2. 『一木一石運動』を読んで、自然環境を守ることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「自然が大切だ」と言われるのは、どうしてだと思いますか。 ★どうして、多くの人々が一木一石運動に協力したのでしょうか。その行動を支えた思いについて、みんなで話し合ひましょう。 3. 自然環境を守ることに確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○身近な自然を守るために、どのようなことができるでしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○自分たちの地域で行われている自然保護活動について調べてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自然環境を守ることの意義や大切さに気づき、自然を大切に生活することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 自然環境を守ることの意義を理解し、自然を大切に生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、理科、総合的な学習、自然環境保全教育
	〈コラム〉 環境を守るために、できることから始めよう	—	『食品ロスをどう防ぐ？』や『一木一石運動』で学習したことを踏まえて、自然環境を守ることの大切さに気づき、自分ができることからその取り組みを進めていく必要があることを理解させる。			社会、理科、総合的な学習
2月④■	26 青い目の人形 「国をこえた友情」 【C 国際理解、国際親善】	1	土居村の小学校の子どもの人形に対する思いや、人形を処分しなかった先生たちについて話し合うことをとおして、他国の人たちと心を通わせて交流することの大切さに気づき、すすんで他国の人々と親しくしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 国どうしの交流について考える。 ○人形をとおした国際交流があったことを知っているでしょうか。 2. 『青い目の人形』を読んで、国際交流のよさについて考える。 【考えよう】 ○歓迎式をしたとき、学校のみんなはどのような気持ちだったでしょう。 ★どうして、土居村の小学校では人形を処分しなかったのでしょうか。学校中を一つにした思いについて、みんなで話し合ひましょう。 3. 国際交流について確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○外国の人たちと心を通わせて交流するために、大切にしたいことについて、自分の考えをまとめて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 他国の人たちと心を通わせて交流することの大切さに気づき、すすんで他国の人たちと親しくしようすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 他国の人たちと心を通わせて交流することを理解し、現代社会に生きる一人の人間としてすすんで他国の人たちと親しくすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、総合的な学習、国際理解教育
	27 新幹線開発物語 「目標に向かって進む」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	多くの困難に直面しながらも新幹線の開発を進めた三木忠直さんの思いについて話し合うことをとおして、希望をもつことの大切さを知り、困難があってもくじけずに目標に向かって努力し、物事をやり抜こうとする心情と実践意欲を育てる。	1. 目標に向かって努力し続けることについて考える。 ○目標に向かって努力し続けるには、どんな考えが大切でしょう。 2. 『新幹線開発物語』を読んで、目標に向かって努力し続けることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○講演会で夢の超特急列車の話をして、大きな拍手をもらった三木忠直さんは、どのようなことを考えていたでしょう。 ★三木さんががんばることができた理由を考えてみましょう。また、どうしてそう思うのかについても考え、話し合ひましょう。 3. 目標に向かって努力し続けることについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○三木さんたちから学んだことは、どのようなことですか。自分の考えをまとめて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * くじけずに努力し続けることの大切さに気づき、希望をもって物事をやり抜こうすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * くじけずに努力し続けることを理解し、希望をもって物事をやり抜こうすることについて、自分との関わりで考えることができているか。	社会、キャリア教育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
	28 百の診療所よりも一本の用水路を ——中村 哲—— 「他国の人たちのために」 【C 国際理解、国際親善】	1	アフガニスタンの人々のために働いた中村哲さんの生き方について話し合うことをとおして、他国の人々や文化を理解して人々のために力を尽くすことよさに気づき、すすんで他国の人々と親しもうとする心情を育てる。	1. 他国の人たちのために活躍した人について考える。 ○世界で活躍する日本人について、知っていることはあるでしょうか。 2. 『百の診療所よりも一本の用水路を』を読んで、他国の人たちのために働くことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「だれもがそこに行かぬから、……」にこめられた中村哲さんの思いについて、どのように思いますか。 ★アフガニスタンの人々と一緒に井戸掘りや用水路建設に取り組んだ中村さんについて、どのように思いますか。 3. 他国の人たちのために働くことについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○他国の人たちとつながり合うことについて、中村さんの生き方から学んだのはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *他国の人々のために力を尽くすことよさに気づき、すすんで他国の人々と親しもうとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *他国の人々のために力を尽くすことを理解し、すすんで他国の人々と親しもうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、総合的な学習、国際理解教育
3月②	29 世代をこえた思いやり 「思いやりの心を大切に」 【B 親切、思いやり】	1	長い間寄付をし続けたA子さんとS子さんたちの行動について話し合うことをとおして、他者を思いやる心をもつことの大切さに気づき、すすんで他者に親切にしていることとする実践意欲と態度を育てる。	1. 他者を思いやることについて考える。 ○世代を超えて受け継がれる思いについて考えましょう。 2. 『世代をこえた思いやり』を読んで、他者を思いやることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○50年もの間、A子さんたちは、どうして寄付をし続けたのでしょうか。 ★A子さんとS子さんの思いが、Y子さんやY子さんの娘さんなどに受け継がれていることについて、どのように思いますか。 3. 他者を思うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○誰かのために、自分にできることをしようと思ったことはありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *他者を思いやる心をもつことの大切さに気づき、思いやりの心をもった行動をすすんですることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *他者を思いやる心をもつことを理解し、すすんで他者に親切にしていることについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
	30 銀のしょく台 「相手を許す心をもつ」 【B 相互理解、寛容】	1	ミリエル司教が、ジャン・バルジャンに銀の食器だけでなく銀のしょく台まで与えた理由について話し合うことをとおして、広い心で許し合っていくために大切なことへの考えを深め、広い心で相手を受け止めようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 相手を許すということについて考える。 ○相手を許すことができるのは、どうしてでしょう。 2. 『銀のしょく台』を読んで、相手を許すということの大切さについて考える。 【考えよう】 ○心に残ったのはどこですか。また、なぜそこが心に残ったのでしょうか。 ★なぜミリエル司教は銀の食器だけでなく、銀のしょく台まで与えたのでしょうか。 3. 相手を許すということについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○広い心で相手と接するために大切なのは、どのような考え方でしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分と異なる意見や立場であっても広い心で許し合うことの大切さに気づき、広い心で相手を受け止めることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自分と異なる意見や立場であっても広い心で許し合うことを理解し、広い心で相手を受け止めることについて、自分との関わりで考えることができるか。	国語
適時	31 東の羽生、西の村山 ——天才棋士 村山 聖—— 「くじけずに努力する」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	「それが人間の宿命であり、幸せだ。」という村山聖の言葉の意味について話し合うことをとおして、自分の生き方や進路などについて考えることの大切さに気づき、困難があってもくじけずに物事をやり抜こうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 目標に向かって努力することについて考える。 ○今、自分ががんばっているのは、どんなことでしょう。 2. 『東の羽生、西の村山』を読んで、目標に向かって努力することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○村山聖が名人に挑戦することを諦めなかったのは、どうしてでしょう。 ★村山は、自分の人生に悔いはなかったのでしょうか。みんなで話し合おう。 3. 目標に向かって努力することについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○村山の生き方から学んだことをまとめよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の生き方などについて考えることの大切さに気づき、くじけずに物事をやり抜こうとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自己の生き方を重ね合わせながら、困難があってもくじけずに物事をやり抜こうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。	キャリア教育

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	32 この空は遠い日本とつながっている ——和田 重次郎—— 「家族の幸せのために」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	遠く離れている母のことを大切に思う和田重次郎の思いについて話し合うことをとおして、家族を大切にすることのよさに気づき、家族のためにすすんで役に立ちようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族について考える。 ○和田重次郎って、どんな人だったのでしょうか。 2. 『この空は遠い日本とつながっている』を読んで、家族のことを思うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○和田重次郎は、どのようなことを思いながら母に手紙を書いていたのでしょうか。 ★なぜ、重次郎は「母がわたしを支えてくれている」と考えることができたのでしょうか。 3. 家族を思うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○家族を大切にしようと思ったり、家族のためにがんばろうと思ったりしたことはありますか。また、それはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 家族を大切にすることのよさに気づき、すすんで家族のために役に立ちようとするについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 家族を大切にすることを理解し、すすんで家族のために役に立ちようとするについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
適時	33 世界にひびく伝統の音 「伝統を受けつぐ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	昔からの伝統の技術を受け継ぐ明珍さんの姿について話し合うことをとおして、伝統を守ることの意義や大切さを理解し、長く受け継がれてきたわが国や郷土の伝統的な文化を守っていくこととする実践意欲と態度を育てる。	1. 伝統を守るということについて考える。 ○「伝統」という言葉から、どんなことを考えるでしょう。 2. 『世界にひびく伝統の音』を読んで、伝統を守っていくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○明珍宗理さんは、どのような気持ちで「明珍火箸風鈴」を作り出したのでしょうか。 ★明珍家の人々にとって、伝統とはどのようなものなのでしょう。 3. 伝統を守っていくということについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○「伝統を受けつぐ」ということについて、どのようなことを学びましたか。みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 伝統を受け継ぐことの意義や大切さに気づき、長く受け継がれてきたわが国や郷土の伝統的な文化を守っていくことについて、多角的・多面的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 伝統を守ることの意義や大切さを理解し、多くの人々によって長く受け継がれてきたわが国や郷土の伝統的な文化を守っていくことについて、自分との関わりで考えることができるか。	社会、伝統文化教育
適時	34 希 ——光の中を歩んだきょうだい—— 「命をかがやかせる」 【D 生命の尊さ】	1	短い人生を懸命に生きた二人について話し合うことをとおして、生命の大切さは家族などとのつながりの中にあることに気づき、かけがえのない生命を尊重しようとする心情を育てる。	1. 生命の尊さについて考える。 ○「生命って大切なな」と感じるの、どんなときでしょう。 2. 『希』を読んで、生命の尊さや大切さについて考える。 【考えよう】 ○光希君はどのようにして「学校に行きたい。」と言ったのでしょうか。 ★歩希ちゃんと光希君のお父さんとお母さんが、この文章を書いたのは、どうしてでしょう。 3. 生命の尊さについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○「生命を大切にすること」ということについて、どのようなことを学びましたか。みんなで話し合しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 生命の大切さや自分がつながりの中にあることに気づき、かけがえのない命を尊重することについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 生命の大切さや自分がつながりの中にあることを理解し、かけがえのない命を尊重することについて、自分との関わりで考えることができるか。	—
適時	35 天から送られた手紙 「真理を探究する」 【A 真理の探究】	1	真理を追い求めた中谷宇吉郎の姿勢について話し合うことをとおして、物事を探究するために必要な考え方に気づき、真理を探究していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 真理を追い求めるということについて考える。 ○わからないことに出会ったとき、どうしているでしょう。 2. 『天から送られた手紙』を読んで、真理を追い求めることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○何度も失敗を繰り返しながらも、上空と同じように水蒸気の温度や量を調節できる実験装置を作り上げることができたのは、中谷宇吉郎にどのような考えがあったからでしょう。 ★遠い遠い空の彼方から舞い降りてくる雪を見ながら、宇吉郎はどのようなことを考えていたでしょう。 3. 真理を追い求めることについて確かめ、その大切さについて考える。 【深めよう】 ○「まだよくわかっていないこと」を探究するために大切なのは、どのような考え方でしょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 真理を探究するために必要な考え方に気づき、真理を探究し続けることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 真理を探究する心をもち続けるということについて、自分との関わりで考えることができるか。	理科
適時	【資料】 SDGsってなんだろう(自分のこと、周りの人のこと、みんなや社会のこと、命や自然のこと)	適時	SDGsについて理解し、興味・関心を高めながら、道徳で学ぶさまざまな事柄との関連を踏まえ、自分は何なことができるのかを考え、取り組みようとする判断力や心情、実践意欲・態度を養うことを理解させる。	【多面的・多角的に考える】 * SDGsの目ざす目標を、自分たちがその達成後の社会に生きることを意識しながら捉え、自分たちにできることを多面的・多角的に考えることができたか。 【自分のこととして考える】 * SDGsの目ざす目標について、さまざまな角度からその必要性、大切さについて考えを広げ、深めることができたか。	—	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点	他教科等との関連
適時	学習をふり返ろう	適時		学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。	<p>* 心に残った話(教材)とそれを選んだ理由について、友達と互いの考えを交流し、自分の学びを振り返ることができているか。</p> <p>* 一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて友達と意見を交流することで、一年間の学びの自己評価ができているか。</p>	—

令和6年度版『小学道徳6 はばたこう明日へ』 年間指導計画・評価の視点表

○本表では、5・6・10・11・2月に、それぞれ1時間のゆとりの時間を想定して作成しています。（「学習月」欄の「■」のところです。）
 ○ゆとりの時間では、学校の実情に応じて補充教材を活用したり、それにかえて自作教材や郷土資料などを活用したりすることを想定しています。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
4月	道徳で学習すること 道徳ではこんな学び方をするよ 道徳の学習をもっと広げよう	適時	自分で考えたり、友達と話し合ったりすることとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもつ。		*友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているかどうかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 *友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。
4月③	1 負けずぎらいの心根をもって ——藤井 聡太—— 「自分の長所をのびす」 【A 個性の伸長】	1	将棋に取り組む藤井聡太さんの姿勢について話し合うこととおして、長所とそれを伸ばしていく大切さに気づき、自分の特徴を知って長所を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 藤井聡太さんのすごいところについて考える。 ○藤井聡太さんのすごいところは、どんなところでしょう。 2. 『負けずぎらいの心根をもって』を読んで、長所とそれを伸ばしていくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○藤井聡太さんは、連敗をしてしまったとき、どのようにして自分を変えていったのでしょうか。 ★藤井さんの将棋への姿勢から、どのようなことを学びましたか。 3. 長所とそれを伸ばしていくことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分にはどのような長所がありますか。また、それをどのように伸ばしていこうと思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *長所とそれを伸ばしていくことの大切さに気づき、短所を改めながら長所を伸ばしていくことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *長所を知り、それを今後どのように伸ばしていくかについて、自分との関わりで考えることができているか。
	2 ブランコ乗りとピエロ 「広い心をもって」 【B 相互理解、寛容】	1	ピエロの気持ちの変化について話し合うこととおして、異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することの大切さに気づき、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情を育てる。	1. 寛容について自分の経験を振り返る。 ○自分とは違う考え方を受け入れることについて、考えを深めましょう。 2. 『ブランコ乗りとピエロ』を読んで、異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○サムの良い演技が終わり、大王アレキスがサーカス小屋から帰ったあと、舞台へ向かうピエロは、どのような気持ちだったでしょう。 ★ピエロの心から、サムを憎む気持ちが消えてしまったのは、どうしてでしょう。 3. 異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○これまで、友達と意見が対立したとき、どのように解決してきましたか。振り返って話し合いましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○自分が正しいと思う意見を相手を受け入れてくれないと感じたとき、どのように考え、行動しようと思いますか。また、それはどうしてですか。	【多面的・多角的に考える】 *異なる意見をもつ相手に対して互いの立場や考えを尊重することの大切さに気づき、広い心をもって接するにはどうすればいいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *異なる意見をもつ相手に対して互いに理解し合い、広い心で接することの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
	3 だまって借りてもいいのかな 「責任ある行動をする」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	他の人の物を黙って借りることについて話し合うこととおして、自律的に判断し、責任をもって行動しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 責任という言葉について考える。 ○責任という言葉から、どのようなことがイメージできるでしょう。 2. 『だまって借りてもいいのかな』を読んで、自律的に判断し、責任をもって行動することの大切さについて考える。 ○瞳と瑠衣の役を演じてみましょう。 ○修の役を演じてみましょう。 3. 自律的に判断し、責任をもって行動することの大切さについて確かめる。 ★他の人の物を黙って借りることをどう思いますか。みんなで話し合ってみましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *他の人の物を黙って借りることについてどうすればいいかを自律的に判断し、責任をもって行動することの大切さに気づき、責任のある行動をとることについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *何かを借りたいときに、責任のある行動をとることについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
5月③	4 人生を変えるのは自分 ——秦由加子—— 「夢の実現に向けて」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	つらいトレーニングに耐えながら、東京パラリンピックを目指す秦由加子選手の生き方について話し合うこととおして、高い目標を立て、困難があってもくじけずに努力しようとする心情を育てる。	1. 夢や将来の目標について考える。 ○自分を高めることができる夢をもっていますか。 2. 『人生を変えるのは自分』を読んで、高い目標を立て、くじけずに努力しようとする大切さについて考える。 【考えよう】 ○義足になった秦由加子さんがスポーツを再開した時、どのような思いだったのでしょうか。 ★どうして、秦さんはつらいトレーニングに耐えながら競技を続けているのでしょうか。秦さんを支えている思いについて、みんなで話し合しましょう。 3. 高い目標を立て、くじけずに努力しようとするについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○秦さんの生き方で、自分も大切にしたいと思ったのはどのようなことですか。自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *高い目標を立て、くじけずに努力しようとする大切さに気づき、自らの夢に向かって前向きに生きることのすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *夢や希望の実現に向けて目標を設定し、その達成を目指すことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	5 応援団の旗 「集団の中で役割を果たす」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	「ぼく」の気持ちや行動の変化について話し合うこととおして、学校の中で果たす役割の大切さに気づき、みんなで協力し合ってよりよい学校をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 学校の中での役割について考える。 ○みなさんは学校の中でどのような役割を果たしていますか。 2. 『応援団の旗』を読んで、学校の中で果たす役割の大切さについて考える。 【考えよう】 ○どうして「ぼく」は応援団に立候補したのでしょうか。 ★兄の話を聞いて、「ぼく」はどのようなことに気づいたのでしょうか。 3. 学校の中で果たす役割の大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○6年生として、学校でどのような役割を果たしていきたいですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分にできることは何かを理解し、その役割をしっかりと果たすために必要なことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *役割を自覚し、集団生活の充実のために責任を果たすことについて、自分との関わりで考えることができるか。
ユニット:いじめをなくす					
6月④	6 友達だからこそ 「友情を深める」 【B 友情、信頼】	1	友美さんと今日子さんの考え方の違いについて話し合うこととおして、友達と互いに信頼し学び合って友情を深めることの大切さに気づき、よりよい人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 本当の「友達」について考える。 ○本当の「友達」とは、どのような友達でしょう。 2. 『友達だからこそ』を読んで、友達と互いに信頼し学び合って友情を深めることの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○友美さんは正直な行動をただけなのに、どうして今日子さんは怒ったのでしょうか。 【解決方法を考える①】 ○友美さんと今日子さんは、どうすればよかったのでしょうか。みんなで話し合しましょう。 【解決方法を考える②】 ○友美さんや今日子さんにアドバイスをするとしたら、どのような言葉をかけますか。 【考えたことを生かす】 ○よりよい友達関係をつくるために大切なのは、どのようなことですか。自分の考えをまとめましょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *友達と互いに信頼し学び合って友情を深めることの大切さに気づき、よりよい人間関係を築くことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *仲のよい友達でも、まちがいはしっかり正しながら学び合ってよりよい人間関係を築くことについて、自分との関わりで考えることができるか。
	7 ひきょうだよ 「正義の実現のために」 【C 公正、公平、社会正義】	1	たかひろさんの言葉に対して「ぼく」が感じたことについて話し合うこととおして、いじめを傍観することのひきょうさに気づき、差別したり偏見をもったりせずに人間関係を築こうとする判断力を育てる。	1. いじめが起こる原因を考える。 ○どうしていじめが起こるのでしょうか。 2. 『ひきょうだよ』を読んで、差別したり偏見をもったりせずに人間関係を築くことについて考える。 【考えよう】 ○ゆみさんが勇気を出して言った時、「ぼく」はどのようにすべきだったのでしょうか。 ★たかひろさんの言葉に対して、「ぼく」はどのように感じたのでしょうか。みんなで考えましょう。 3. 差別したり偏見をもったりせずに人間関係を築くことについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○いじめをなくすために、自分にできることはどのようなことでしょうか。自分の考えをまとめて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *いじめを傍観するひきょうさに気づき、誰に対しても公正・公平な態度で接することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *誰に対しても公正・公平な態度で接して正義の実現に努めることについて、自分との関わりで考えることができるか。
	〈コラム〉 広い海へ出てみよう	—	『友達だからこそ』や『ひきょうだよ』で学習したことを踏まえて、友達と互いに信頼し学び合って友情を深めることの大切さに気づかせ、差別したり偏見をもったりせずに人間関係を築くことについて考えさせる。		

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	8 父の言葉 「相手を思いやる」 【B 親切、思いやり】	1	父の言葉を思い出して、今「私」が気がついたことについて話し合うことをとおして、思いやりをもって接することの大切さに気づき、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。	1. 思いやりのある行動について考える。 ○思いやりのある行動とは、どのような行動のことをいうのでしょうか。 2. 『父の言葉』を読んで、思いやりをもって接することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○「私」と父との考え方の違いはどこにあるのでしょうか。みんなで話し合みましょう。 ★父の言葉を思い出して、今「私」が気がついたことはどのようなことでしょうか。 【やってみよう】 ○「私」が赤い松葉づえをついた女の子に声をかけるとしたら、どのように話すかといと思いますか。それぞれの役になって演じてみましょう。 3. 思いやりをもって接することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○本当の「思いやり」とは何か、自分の考えをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 思いやりをもって接することの大切さに気づき、他人に対する親切で思いやりのある接し方について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 他人に対し親切で思いやりをもって接することの大切さを理解し、自分との関わりで考えることができるか。
7月②	9 米百俵 「国や郷土を愛する心」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	地域の未来を考えてあえて苦しい道を進もうとした虎三郎の思いについて話し合うことをとおして、先人の努力を知り、わが国や郷土の伝統と文化を尊重し、国や郷土を大切にしようとする心情を育てる。	1. 地域にある誇れるものについて考える。 ○みなさんの住む地域には、どのような素敵なものがありますか。 2. 『米百俵』を読んで、国や郷土を大切にしようとする心について考える。 【考えよう】 ○虎三郎と三左衛門の考え方には、どのような違いがあるのでしょうか。 ★虎三郎は、どのような思いで、送られた百俵の米を売って学校を建てることを話したのでしょうか。 3. 国や郷土を大切にしようとする心について、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○日本や自分の住む地域に伝えられてきた文化には、どのようなものがありますか。話し合みましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * わが国や郷土の伝統と文化を尊重することの大切さに気づき、わが国や郷土の発展に尽くした人物の生き方から、国や郷土を思う心のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * わが国や郷土の一員であることを自覚し、わが国や郷土を発展させていくこととすることの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
ユニット：情報と向き合う					
	10 個人の権利って？ 「権利を守る大切さ」 【C 規則の尊重】	1	法やきまりの意義について話し合うことをとおして、すすんでそれらを守り、自他の権利を大切にしながら情報と関わろうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 誰もが幸せに生きるために大切な権利について考える。 ○誰もが幸せに生きるために大切な権利とはなんですか。 2. 『個人の権利って？』を読んで、自他の権利を大切にしながら情報と関わることについて考える。 【考えよう】 ○お兄ちゃんと「ぼく」の考え方には、どのような違いがあるのでしょうか。 ★個人の権利を守るということに対して、どのように考えますか。 3. 自他の権利を大切にしながら情報と関わることについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自分が情報を発信しようとするときには、どのようなことに気をつけたいと思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 法やきまりの意義について理解を深め、自他の権利を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * これまでの行動を振り返り、法やきまりを守ることを大切にし、自他の権利を大切にしながら情報と関わることについて、自分との関わりで考えることができるか。
	〈コラム〉 インターネットとプライバシー	—		『個人の権利って？』で学習したことを踏まえて、インターネットで情報をやりとりする際、自他の権利を大切にしながら情報と関わることについて理解させる。	
9月③	11 真琴と勇介 「友達と助け合って」 【B 友情、信頼】	1	真琴と勇介の交流について考えることをとおして、異性の間であっても信頼し、学び合うことの大切さについて考えを深め、よりよい人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 友達と協力して取り組んでいることについて考える。 ○今、友達と協力して取り組んでいることはありますか。 2. 『真琴と勇介』を読んで、互いに信頼し学び合って友情を深めることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○勇介と真琴は、どのような気持ちで算数やバスケットボールを教え合ったのでしょうか。 ★勇介がシュートを決めた時、二人はどのような気持ちでサインを交わしたのでしょうか。 3. 互いに信頼し学び合って友情を深めることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○友情を深めるために、二人の友達関係から学ぶことができるのはどのようなことですか。また、そのような経験はありますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 異性間であっても、互いに信頼し学び合うことによって友情・信頼を深めることの大切さに気づき、よりよい人間関係を築くことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 * 異性間であっても、友達と互いに信頼し学び合って友情を深め、よりよい人間関係を築こうとするものの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	12 雨上がりの朝に 「家族の一員として」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	「ぼく」が家族のことを思う心について話し合うことをとおして、家族の中での自分の立場や役割を自覚し、感謝の思いをこめて、家族や家庭生活を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族を誇らしく感じるときについて考える。 ○家族を誇らしく感じるのは、どんなときでしょう。 2. 『雨上がりの朝に』を読んで、家族のために役割を果たそうとすることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○どうして、「ぼく」は「胸がいっぱい」になったのでしょうか。 ★翔のおじさんの話を聞いて、「ぼく」はどのような気持ちになったでしょう。 3. 家族のために役割を果たそうとすることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○家族が助け合っていくために、自分にはどのようなことができますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *家族の中での自分の立場や役割を自覚し、感謝の思いをこめて、家族の幸せのためにすすんで役に立つことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *家族の幸せを求めて、家族や家庭生活を大切にしようとするについて、自分との関わりで考えることができるか。
	13 山中伸弥先生の快挙 「探究心をもって」 【A 真理の探究】	1	山中伸弥先生が研究をなし遂げることができた理由について話し合うことをとおして、物事を探究するために大切な考え方に気づき、真理を探究しようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 研究をなし遂げた人物について考える。 ○ノーベル賞を受賞するほどの研究は、どのような気持ちをもって行っているのでしょうか。 2. 『山中伸弥先生の快挙』を読んで、物事を探究するために大切な考え方について考える。 【考えよう】 ○先輩の医師たちから邪魔者扱いをされていた山中伸弥先生は、どのような気持ちだったでしょう。 ★山中先生がiPS細胞を開発し、ノーベル賞を受賞することができたのは、山中先生がどのような考えをもっていたからでしょう。 3. 物事を探究するために大切な考え方について、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○真理を探究するということについて、山中先生の生き方からどのようなことを学びましたか。自分の考えをまとめてみんなで話し合ひましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *物事を探究するために大切な考え方に気づき、真理を探究し続けることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *物事を探究する心をもち続けることの意義を理解し、真理を探究する大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
ユニット：自然を大切にする					
10月④■	14 青い海を取りもどせ 「すすんで社会の役に立つ」 【C 勤労、公共の精神】	1	大船渡の海のがれき撤去作業を行う佐藤寛志さんの思いについて話し合うことをとおして、働くことの大切さに気づき、すすんで公共のために役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 社会の役に立つ仕事について考える。 ○社会の役に立つ仕事にはどのようなものがあるでしょう。 2. 『青い海を取りもどせ』を読んで、すすんで社会の役に立つことについて考える。 【考えよう】 ○佐藤寛志さんはどのような思いで大船渡のがれき撤去作業を始めたのでしょうか。 ★たくさんの困難があっても佐藤さんたちががれき撤去作業を続けたのは、佐藤さんたちにどのような考えがあったからでしょう。 3. すすんで社会の役に立つことについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「働く」ということは、どのような思いに支えられているのでしょうか。佐藤さんたちの活動から学んだことをもとに自分の考えをまとめ、みんなで話し合ひましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *働くことの意義に気づき、すすんで公共のために役立とうとすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *勤労、公共の精神の意義について理解し、公共のために役に立とうとすることについて、自分との関わりで考えることができるか。
	15 「ちよつと」の可能性 「自然環境を守るためにできること」 【D 自然愛護】	1	プラスチックごみの問題について話し合うことをとおして、自然環境を守っていくことの大切さに気づき、自然環境を保護していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自然環境について考える。 ○自然環境について、考えたことはありますか。 2. 『「ちよつと」の可能性』を読んで、自然環境を守っていくことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○この文章に出てくる「ちよつとぐらい」と「ちよつとでも」の意味を比べて、その違いを考えましょう。 ★この文章を読んで、気づいたことや考えたこと、また、疑問に思ったことはどのようなことですか。 3. 自然環境を守っていくことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○翔太がとった行動を参考にして、自分にもできる行動を考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自然環境を守ることの大切さを理解し、自然環境保全に向けて自分たちにできることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *人間の活動と自然との関係を考え、自然環境保全に取り組むことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
	〈コラム〉 ごみ問題の解決に向けて ——3Rから4Rへの転換——	—		『青い海を取りもどせ』や『「ちよつと」の可能性』で学習したことを踏まえて、すすんで公共のために役に立とうとしたり、自然環境を保護していこうとすることについて、関心をもたせる。	

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	16 手品師 「誠実に生きる」 【A 正直、誠実】	1	手品師が男の子との約束を果たそうとした思いについて話し合うことをとおして、自分の良心に従って生きることの大切さに気づき、誠実に明るく生きていくことを育てる。	1. 誠実について考える。 ○「誠実」とはどのようなことでしょうか。 2. 『手品師』を読んで、自分の良心に従って生きることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○友人からステージへの出演の電話を受けた時、手品師はどのようなことを考えたでしょうか。 ★手品師の行動について、どのように思いますか。みんなで話し合ってみよう。 3. 自分の良心に従って生きることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○誠実に生きるとは、どのようなことでしょうか。自分の考えをまとめて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *どんなときでも自分の良心に従って生きることの大切さに気づき、誠実に生きることに従って、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *どんなときでも誠実に生きていくことの大切さを理解し、明るく前向きな気持ちで生活していくことについて、自分との関わりで考えることができるか。
11月 ④ ■	17 協力するってどういうこと？ 「みんなで協力し合う」 【C よりよい学校生活、集団生活の充実】	1	希実子と和也のやりとりを体験的に学ぶこととおして、クラスの中で果たす役割の大切さに気づき、みんなで協力し合っ てよりよい学校をつくらうとする実践意欲と態度を育てる。	1. クラスで大切にしている事柄について考える。 ○みなさんのクラスで大切にしていることはなんですか。 2. 『協力するってどういうこと？』を読んで、クラスで協力し合うために大切なことについて考える。 ○希実子と和也の役を演じてみましょう。 ○希実子と和也の役を演じてみましょう。 3. クラスで協力し合うために大切なことについて確かめる。 ★みんなと協力し合うためには、どのようなことに気をつける必要がありますか。みんなで話し合ってみよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自分の役割を理解し、それぞれが協力し合っ て行動することの大切さについて、役割演技をとおして多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *自分の役割を自覚し、集団生活の充実のためにそれぞれが責任を果たすことについて、自分との関わりで考えることができるか。
	＜コラム＞ ◆自分も相手も大切にしたい気持ちの伝え方 ——アサーションのすすめ——		『協力するってどういうこと？』で学習したことを踏まえて、お互いが心地よいと感じる人間関係を築くために、どのように気持ちを伝えるかについて理解させる。		
	18 ○○しながら 「行動を見直して生活を改善する」 【A 節度、節制】	1	登場人物のスマートフォンの使い方について考えることをとおして、自分自身の生活態度を見直し、節度ある生活を過ごそうとする実践態度と態度を育てる。	1. 複数のことを同時に行うことを考える。 ○複数のことを同時に行って、失敗したことはありませんか。 2. 『○○しながら』を読んで、節度ある生活をすることの大切さについて考える。 【問題を見つける】 ○三つのできごとでは、それぞれ何が問題になっていますか。 【解決方法を考える①】 ○三つのできごとの登場人物の行動について、どのように思いますか。 【解決方法を考える②】 ○三つのできごとを比べると、どのような違いが見られますか。共通点、異なる点、問題の重さについて話し合ってみよう。 【考えたことを生かす】 ○三つのできごとの問題について考えたことを、今後の生活にどのように生かしていきたいですか。自分の生活態度と比べながら見つめ直しましょう。 3. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *節度をもった行動の大切さに気づき、自分の行動が周りの人にも影響が及ぶことについて、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *節度をもって行動することの大切さを理解し、すすんで自分の生活を見直すとともに、改善すべき点について、自分との関わりで考えることができるか。
19 礼儀作法と茶道 「相手への真心をもって」 【B 礼儀】	1	茶道が礼儀作法を大切にしている理由について話し合うことをとおして、礼儀作法にこめられた相手を大切に思う気持ちに気づき、真心をもって人と接しようとする実践意欲を育てる。	1. 礼儀作法のイメージを考える。 ○礼儀作法と聞いて、どのようなことをイメージしますか。 2. 『礼儀作法と茶道』を読んで、礼儀作法にこめられた相手を大切に思う気持ちについて考える。 【考えよう】 ○茶わんを下げる時、たかゆきさんがすがすがしい気持ちになったのはどうしてでしょうか。 ★茶道が礼儀作法を大切にしているのは、どうしてでしょうか。みんなで話し合ってみよう。 3. 礼儀作法にこめられた相手を大切に思う気持ちについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○挨拶以外で気をつけたい礼儀作法にはどのようなものがあるか、考えよう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *礼儀作法の形を重んじる理由に気づき、相手の立場を尊重するという礼儀作法の意義について、多面的・多角的に考えることができるか。 【自分のこととして考える】 *日常生活での礼儀作法の、時と場に応じた接し方の大切さを理解し、真心をもって人と接することについて、自分との関わりで考えることができるか。	
	＜コラム＞ ◆おもてなしの心		『礼儀作法と茶道』で学習したことを踏まえて、千利休が広めた「おもてなし」の心を知り、「おもてなし」や「一期一会」について考えさせる。		

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
12月③	ユニット: 人と人が認め合う社会				
	20 みんなが幸せに暮らせる社会へ 「差別のない社会に」 【C 公正、公平、社会正義】	1	差別が存在している実態について話し合うことをとおして、互いの人権を認め合うことの大切さに気づき、みんなが幸せに暮らせる社会を築いていこうとする判断力を育てる。	1. みんなが幸せな社会とはどのような社会なのか考える。 ○「みんなが幸せ」とは、どのような社会でしょう。 2. 『みんなが幸せに暮らせる社会へ』を読んで、人と人が認め合うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○人にさまざまな違いがあることについて、どのように思いますか。 ★人権の大切さが訴えられているのに、それでもいまだに差別が存在しているのはどうしてなのでしょう。 3. 人と人が認め合うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○差別をなくし、みんなが幸せに暮らせる社会にするためには、どのような考え方が大切だと思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *さまざまな差別の実態に気づき、互いの人権を認め合うことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *互いの人権を認め合うことの大切さを理解し、みんなが幸せに暮らせる社会を築いていこうとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。
	〈コラム〉 「世界人権宣言」が示すもの	—	『みんなが幸せに暮らせる社会へ』で学習したことを踏まえて、「世界人権宣言」が出された意義や背景に気づかせ、互いの人権を認め合うことの大切さについて考えさせる。		
	21 六千人の命のビザ ——杉原 千畝—— 「気高い心をもって」 【D よりよく生きる喜び】	1	杉原千畝がユダヤ人たちにビザを出す決断をした時の思いについて話し合うことをとおして、人間の強さや気高さに気づき、よりよく生きようとする心情を育てる。	1. 人のもつ強さや気高さについて考える。 ○人のもつ強さや気高さについて、考えましょう。 2. 『六千人の命のビザ』を読んで、強さや気高さをもつことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○ユダヤ人たちの願いを聞いた時、杉原千畝はどのような思いだったでしょう。 ★千畝は、どうして、ユダヤ人たちにビザを出す決断をしたのでしょうか。千畝の決断を支えた思いについて、みんなで話し合しましょう。 3. 強さや気高さをもつことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○千畝の生き方の中で、自分がいちばん大切にしたいと思ったのはどのようなことですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○難しい決断をしなくてはいけないとき、自分ならどうしますか。	【多面的・多角的に考える】 *困難な状況でも強さや気高さをもつことの大切さに気づき、よりよく生きようとするということについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *人間の強さや気高さを理解し、よりよく生きようとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。
22 ひたすらに、自分の心に従って ——棟方 志功—— 「感謝の気持ちをもって」 【B 感謝】	1	周りの人への感謝の思いを胸に、自分の道をひたすらに進んだ棟方志功の生き方を支えた思いについて話し合うことをとおして、日々の生活が、家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝するとともに、周りの人の思いに応えようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 「感謝」について考える。 ○みなさんは、どのような人に支えられていますか。 2. 『ひたすらに、自分の心に従って』を読んで、志功の生き方を支えた思いについて考える。 【考えよう】 ○両親の墓の前に立った時、棟方志功はどのような思いだったでしょう。 ★志功が、芸術家として自分の道をひたすらに進むことができたのはどうしてでしょう。志功の生き方を支えた思いについて考えましょう。 3. 「誰かに支えられている」と思うことについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○これまで、「誰かに支えられている」と思ったことはありますか。それは、どのようなときですか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。 【つなげよう】 ○志功の生き方から学んだことをもとに、自分を支えてくれている人への思いをまとめてみましょう。	【多面的・多角的に考える】 *日々の生活が、家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、周りの人の思いについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分を支えてくれる人への感謝を表すために、自分なりの具体的な目標をもち、実際の生活で周りの人の思いに応えようとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。	
1月③	23 うばわれた自由 「本当の『自由』とは」 【A 善悪の判断、自律、自由と責任】	1	ジェラール王子に必要な考え方にについて話し合うことをとおして、自由と自分勝手の違いについての考えを深め、自律的で責任のある行動をすすんでしようとする判断力を育てる。	1. 「自由だ」と感じるときについて考える。 ○「自由だ」と感じるのはどのようなときでしょう。 2. 『うばわれた自由』を読んで、自由と自分勝手の違いについて考える。 【考えよう】 ○ガリユーとジェラール王子の「自由」についての考え方は、どのようなところが違うのでしょうか。 ★ジェラール王子には、どのような考え方が必要だったのでしょうか。 3. 自由と自分勝手の違いについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「自由」とは、どのようなものだと思いますか。考えて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *自由と自分勝手の違いに気づき、自律的で責任のある行動について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自由と自分勝手の違いを理解し、すすんで自律的で責任のある行動をしようとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
	24 あかはなそえじ 「かけがえのない命」 【D 生命の尊さ】	1	副島先生と子どもたちとの関わりをとおして、生を全うする大切さや命の継続性について考え、命を大切にしようとする心情を育てる。	1. 命について考える。 ○「命」と聞いて、どのようなことを考えますか。 2. 『あかはなそえじ』を読んで、生を全うする大切さについて考える。 【考えよう】 ○副島賢和先生が、女の子が亡くなる前の日まで一緒に勉強しようとしたのはどうしてでしょう。 ★副島先生は、男の子との約束をどのような思いで守ろうとしているのでしょうか。 3. 生を全うする大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○命について、副島先生と二人の子どもたちとの姿をとおして考えたことをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 生を全うする大切さについて考えを深め、かけがえのない命を大切にすることの意義について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 生命はさまざまな人々とのつながりの中で支えられ、継続していることを理解し、生命を尊重しようとするということについて、自分との関わりで考えることができているか。
	<コラム> ◆院内学級とは ◆クラウンの役割		『あかはなそえじ』で学習したことを踏まえて、院内学級やクラウンについて理解を深め、さまざまな人々とのつながりの中で支えられ、継続している生命について関心を深める。		
	25 地球、その大いなる存在 「感動する美しさ」 【D 感動、畏敬の念】	1	宇宙の中での地球の存在について話し合うこととおして、美しいものや気高いものに感動する心に気づき、感動したり、畏敬の念をもったりすることを大切にしようとする心情を育てる。	1. 地球に生きていることについて考える。 ○「地球に生きている」というあたりまえのことを疑問に思ったことはありますか。 2. 『地球、その大いなる存在』を読んで、宇宙の中での地球の存在について考える。 【考えよう】 ○この文章を読んで、「奇跡の星」と呼ばれる地球について、どのように感じましたか。 ★宇宙の中での地球の存在について、どのようなことに心を動かされましたか。 3. 宇宙の中での地球の存在などについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○自然のはたらきやその存在について、感動したことはありますか。その時に感じたことなどを発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 美しいものや気高いものに感動する心に気づき、大いなるものに畏敬の念をもつことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 美しいものや崇高なものに感動する心を理解し、人間の力を超えたものに対する畏敬の念について、自分との関わりで考えることができているか。
2月④	26 究極の理想「平和」を求めて ——新渡戸 稲造—— 「世界の平和を願って」 【C 国際理解、国際親善】	1	国際平和のために努力した新渡戸稲造の生き方について話し合うこととおして、国を思う心をもって世界で活躍する姿に共感するとともに、日本の文化や伝統に誇りをもって伝えようとする心情を育てる。	1. 他国の人々とふれ合ったり、交流したりした経験について考える。 ○他国の人々とふれ合ったり、交流したりした経験はありますか。 2. 『究極の理想「平和」を求めて』を読んで、新渡戸稲造の生き方を支えた思いについて考える。 【考えよう】 ○新渡戸稲造が『武士道』を書いたのは、どのような思いがあったからでしょう。 ★日本でもアメリカでも敵だと言われながら、稲造が世界に対して日本の立場を訴え続けたのはなぜでしょう。稲造の生き方を支えた思いについて考えましょう。 3. 稲造の生き方を支えた思いについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○稲造の生き方で、「大切だ」と感じたり、「自分もこうありたい」と思ったりしたことを、みんなで話し合います。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 国際理解や国際親善のために、国を思う心をもって世界で活躍することについて、自分との関わりで考えることができているか。
	27 その思いを受けついで 「命のつながり」 【D 生命の尊さ】	1	じいちゃんがのし袋を用意した理由について話し合うこととおして、さまざまな人々とのつながりの中で命が支えられていることへの考えを深め、限りある命を大切にしようとする心情を育てる。	1. 命のつながりについて考える。 ○「命のつながり」と聞いて、どのようなことを想像したり、考えたりしますか。 2. 『その思いを受けついで』を読んで、つながりの中で支えられている命の大切さについて考える。 【考えよう】 ○「ぼく」はどのような思いで、3か月間、病院のじいちゃんのところに行ったのでしょうか。 ★じいちゃんはどうして、のし袋を用意していたのでしょうか。みんなで話し合います。 3. つながりの中で支えられている命の大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○「命のつながり」について、考えたことをまとめましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 命はさまざまな人々とつながり合っていることに気づき、限りある命を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 生命はかけがえのない尊いものであることを理解し、家族や仲間とのつながりの中で支えられている生命を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
ユニット:感謝の気持ちをもつ					
	28 両親からの手紙 「大切な家族への思い」 【C 家族愛、家庭生活の充実】	1	家族の自分に対する思いや願いを話し合う活動をとおして、家族の深い愛情を改めて理解し、家族の一員としてすすんで家族の役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 家族の存在について考える。 ○みなさんにとって、家族はどのような存在ですか。 2. 『両親からの手紙』を読んで、家族の愛情を理解し、家族の役に立とうとすることについて考える。 【考えよう】 ○誕生日の一週間前の夕食の時までは、楓は、どのような気持ちでいたのでしょうか。 ★両親からの手紙を読んで、楓はどのように感じたのでしょうか。 3. 家族の愛情を理解し、家族の役に立とうとすることについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○この話を読んで、自分の家族について、どのようなことを考えましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 自分に対する家族の思いに気づき、家族の一員としてすすんで家族の役に立とうとすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 家族の深い愛情を改めて理解し、家族のために役に立とうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
3月②	29 卒業に向けて 「支えてくれた人たちへの感謝」 【B 感謝】	1	自分たちの学校生活を支えてくれた人たちへの思いや、「ありがとう」の詩の中で心に響いたことについて話し合うこととおして、日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに気づき、支えてくれている人たちに感謝するとともに、その思いに応えようとする実践意欲と態度を育てる。	1. 卒業を前に、自分たちができることについて考える。 ○卒業を前に、自分たちができることについて考えてみましょう。 2. 『卒業に向けて』を読んで、支えてくれた人たちへの感謝の気持ちをもつことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○自分たちの学校生活を支えてくれた人たちには、どのような人がいますか。 ★詩「ありがとう」を読んで、どのようなことを思いましたか。また、特に心に響いたのはどこですか。発表しましょう。 3. 支えてくれた人たちへの感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○卒業に向けて、お世話になった人たちへの感謝の気持ちをどのように表しますか。「学校で」と「学校以外で」の場合に分けて、考えましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに気づき、支えてくれている人たちに感謝することについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることを理解し、支えてくれている人たちに感謝するとともに、その思いに応えようとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
	【コラム】 伝えられていない「ありがとう」の気持ち	—		『両親からの手紙』、『卒業に向けて』で学習したことを踏まえて、日々の生活が家族や多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに気づかせ、感謝の気持ちを伝えることの大切さについて理解させる。	
	30 そこにぼくはいた 「たがいに信頼し合って」 【B 友情、信頼】	1	「ぼく」がああちゃんに対して抱いている気持ちの変化について考えることとおして、友達と互いに信頼し合うことが本当の「友情」につながることに気づき、よりよい人間関係を築いていこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 自分の友達について考える。 ○みなさんには、どのような友達がいますか。 2. 『そこにぼくはいた』を読んで、友達と互いに信頼し合うことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○斜面で手を差し出した時と、田んぼで手を差し出した時では、何が違ったのでしょうか。 ★「ぼく」とああちゃんは、どうして友達になれたのでしょうか。 3. 友達と互いに信頼し合うことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○友達としてつき合っていくときに、大切なことはどのようなことですか。考えて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 友達と互いに信頼し合うことが本当の「友情」につながることに気づき、よりよい人間関係を築いていこうとすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 友達と互いに信頼し合うことの大切さを理解し、友情を深め、よりよい人間関係を築いていこうとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
適時	31 世の中のためになることをしたい ——石橋 正二郎—— 「強い意志で努力を続ける」 【A 希望と勇気、努力と強い意志】	1	石橋正二郎がなぜタイヤ作りに挑戦し続けることができたのか話し合うこととおして、困難があってもくじけずに努力するために何が大切かについての考えを深め、夢や希望をもちながら高い目標に向けて努力しようとする心情を育てる。	1. 努力を続けられる理由について考える。 ○努力を続けることは大変なことなのに、なぜ努力を続けられるのでしょうか。 2. 『世の中のためになることをしたい』を読んで、困難があってもくじけずに努力することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○どうして、石橋正二郎は、周りの反対を押さきってまで、国産タイヤの開発に挑戦し続けたのでしょうか。 ★正二郎がずっと努力を続けられたのは、どうしてでしょう。 3. 困難があっても挫けずに努力することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○正二郎の「世の中のためになることを続ける」という考え方や姿勢について、どのように思いますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 * 困難があってもくじけずに努力することの大切さに気づき、夢や希望をもちながら高い目標に向けて努力し続けることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 困難があってもくじけずに努力することの大切さを理解し、夢や希望をもちながら高い目標に向けて努力しようとすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
適時	32 北海道の名づけ親 ——松浦 武四郎—— 「伝統や文化をつなぐ」 【C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】	1	松浦武四郎が「北海道」の名前にこめた思いについて話し合うことをとおして、郷土の文化を尊重することの大切さについて考え、わが国や郷土の伝統を大切にしようとする心情を育てる。	1. 北海道について考える。 ○北海道について、どのようなことを知っていますか。 2. 『北海道の名づけ親』を読んで、郷土の文化を尊重することの大切さについて考える。 【考えよう】 ○蝦夷地の調査をする時、松浦武四郎がアイヌの言葉を学び、アイヌの人々と暮らしをともにしたのはどうしてでしょう。 ★武四郎が「北海道」の名前にこめた思いは、どのようなものだったのでしょうか。 3. 郷土の文化を尊重することの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○どうして、地域に残る伝統や文化を受け継ぎ、大切にしていける必要があるのか、考えて話し合おう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *わが国や郷土の伝統と文化を尊重することの大切さや先人の努力に気づき、わが国や郷土の伝統と文化を愛する心をもつことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *わが国や郷土の伝統と文化の大切さや先人の努力を引き継ぐことの意義を理解し、わが国や郷土の伝統と文化を愛する心をもつことについて、自分との関わりで考えることができているか。
	〈コラム〉 ◆アイヌの心のよりどころ		『北海道の名づけ親』で学習したことを踏まえて、わが国や郷土の伝統と文化を互いに尊重しながら、つながっていくことについて理解させる。		
適時	33 ベトナムの人に安全な水を 「他国の人たちのために」 【C 国際理解、国際親善】	1	ベトナムの水道から安全な水が出るようにするための横浜市水道局の取り組みについて話し合うことをとおして、国際交流では何が本当に相手の国のためになるか考えることが大切であることを理解し、すすんで国際親善に努めようとする態度を育てる。	1. 日本と世界の国々とのつながりを考える。 ○世界の国々のために、日本が行っていることを知っていますか。 2. 『ベトナムの人に安全な水を』を読んで、相手の国の立場に立った国際交流の大切さについて考える。 【考えよう】 ○水道はあるのに飲める水が出てこないことについて、どのように思いますか。 ★横浜市水道局の人たちが、運営マニュアルをフェ市の人たちが自身で作るように提案したのはどうしてなのか考えましょう。 3. 相手の国の立場に立った国際交流の大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○世界の国々と助け合い、国際親善を進めていくために、みなさんができることにはどのようなことがあるでしょう。自分の考えをまとめて発表しましょう。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *相手の国の立場に立つて国際交流を行うことの大切さに気づき、どのように他国の人々と関わっていくかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *相手の国の立場に立つて国際交流を行うことの大切さを理解し、すすんで国際親善に努めようとする事について、自分との関わりで考えることができているか。
	〈コラム〉 ◆世界の水不足の解消に向けて		『ベトナムの人に安全な水を』で学習したことを踏まえて、日本の技術を生かしたさまざまな国際協力に気づき、国際親善に努めようとする事について、関心をもたせる。		
適時	34 流水とアザラシが伝えるもの 「地球環境を守るには」 【D 自然愛護】	1	地球温暖化の問題について話し合うことをとおして、地球環境を守っていくことの大切さに気づき、積極的に環境を保護していこうとする実践意欲と態度を育てる。	1. 地球温暖化の影響について考える。 ○日々の生活の中で、地球温暖化の影響を感じることはありますか。 2. 『流水とアザラシが伝えるもの』を読んで、地球環境を守ることの大切さについて考える。 【考えよう】 ○流水が少なくなり、アザラシの赤ちゃんの命が奪われていることについて、どのように思いますか。 ★アザラシの赤ちゃんの数が減っていることは、私たちにどのようなことを教えてくれているのでしょうか。 3. 地球環境を守ることの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○地球環境を守るために、どのようなことをしたいといますか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *地球環境を守ることの大切さに気づき、環境保護に向けて自分たちができることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *人間の活動と自然との関係を踏まえ、積極的に環境を保護していこうすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
適時	35 志を得ざれば、再びこの地を踏まず ——野口 英世と母—— 「人の強さと気高さ」 【D よりよく生きる喜び】	1	野口英世の医者を目指した時の思いや母シカの英世を思う心について話し合うことをとおして、自分の弱さを乗り越え、人間の強さや気高さをもつことの大切さに気づき、よりよく生きようとする心情を育てる。	1. 自分の弱さを乗り越えて生きることについて考える。 ○自分の弱さを乗り越えて生きることについて、考えましょう。 2. 『志を得ざれば、再びこの地を踏まず』を読んで、強さや気高さをもつことの大切さについて考える。 【考えよう】 ○野口英世の「志を得ざれば、再びこの地を踏まず」という言葉には、どのような思いがこめられているでしょう。 ★ずっと会いたいと願い、やっと戻ってきた英世に対して、シカはなぜ、「アメリカへ帰りなさい。」と言ったのでしょうか。 3. 強さや気高さをもつことの大切さについて、自分のこととして考える。 【深めよう】 ○英世とシカの生き方から、あなたはどのようなことを学びましたか。 4. 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で学んだことを振り返りましょう。	【多面的・多角的に考える】 *人間の強さや気高さに気づき、よりよく生きようとする事について、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 *自分の弱さを乗り越え、強さや気高さをもつことの大切さを理解し、よりよく生きようとする事について、自分との関わりで考えることができているか。

学習月	教材名 「主題名」 【内容項目】	時数	ねらい	主な学習活動と発問（★は中心発問）	評価の視点
適時	[資料] 世界人権宣言	適時	「世界人権宣言」に示されているような、誰に対しても差別をすることなく、公正・公平な態度で接することの大切さについて、関心をもたせる。		【多面的・多角的に考える】 * 世界人権宣言について、その内容の理解をもとに、友達と感想や考えを交流することによって、人権を尊重して生きることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 【自分のこととして考える】 * 自分が大切だと思う条文を選んで人権標語にまとめる活動をとおして、人権の大切さを理解するとともに、自分との関わりで考えることができているか。
適時	学習をふり返ろう	適時	学期末・学年末に道徳の授業を振り返り、自分の成長を捉えさせる。		* 心に残った話(教材)とそれを選んだ理由について、友達と互いの考えを交流し、自分の学びを振り返ることができているか。 * 一年間の道徳の学習をとおして感じたことや考えたこと、これからの生活に生かしていきたいことについて友達と意見を交流することで、一年間の学びの自己評価ができているか。

他教科等との関連
-
-
-
学級活動

他教科等との関連

体育、福祉教育

学級活動、学校行事

学級活動、学校行事

社会

—

他教科等との関連

福祉教育

国語、伝統文化教育

社会、法教育、情報モラル教育

社会、法教育

算数、体育

他教科等との関連

体育

理科

社会、総合的な学習、ボランティア活動

社会、理科、自然環境保全教育

社会、自然環境保全教育

他教科等との関連

—

学級活動

—

法教育

学校行事

—

他教科等との関連

社会、人権教育

—

社会

図画工作

国語、法教育

他教科等との関連

—

—

理科

社会、国際理解教育

—

他教科等との関連

—

—

学校行事、社会参画教育

—

—

国語、福祉教育

—

—

他教科等との関連
社会、伝統文化教育
社会
社会、国際理解教育
社会
理科、自然環境保全教育
国語

他教科等との関連

社会